
会 告 ・ 通 知

一般社団法人電子情報通信学会平成 24 年定時社員総会報告

平成 24 年 5 月 26 日午後 2 時から、機械振興会館地下 2 階ホールにおいて、一般社団法人電子情報通信学会平成 24 年定時社員総会を開催した。

代議員総数 123 名に対し、出席代議員数 106 名（出席者 40 名、委任状 66 通）で、議決が可能な代議員総数の過半数の出席数に達した。

これにより、会長（理事）安田 浩が議長となって、下記の議案を審議して、いずれも原案どおり満場一致で可決承認した。

記

第 1 号議案 平成 23 年度事業報告（特例民法法人としての最終事業年度に係る事業報告）（616 ページ参照）

第 2 号議案 平成 23 年度決算書（特例民法法人としての最終事業年度に係る計算書類）（646 ページ参照）

第 3 号議案 監査報告

事業報告及び決算書は適法、正確であり、本会事業の運営、財産及び収入支出の管理は正しく運営されていると認める旨の監査報告があった。

第 4 号議案 新任理事・監事の選任

定款第 14 条及び第 19 条に基づき、新任理事 15 名及び新任監事 1 名をそれぞれ満場一致で承認した。

〔新任の理事及び監事〕

理事 井上友二、理事 秋葉重幸、理事 佐藤健一、理事 森川博之、理事 守倉正博、理事 山中直明、
理事 村瀬 淳、理事 佐古和恵、理事 坂庭好一、理事 村上篤道、理事 三木哲也、理事 引原隆士、
理事 笹瀬 巖、理事 榎木孝和、理事 村瀬 洋、監事 吉野秀明

なお、以下の理事及び監事は任期満了により退任した。

理事 安田 浩、理事 中嶋信生、理事 北山研一、理事 江村克己、理事 太田直久、理事 今井 浩、
理事 澤田 寛、理事 荒川 薫、理事 酒井善則、理事 持田侑宏、理事 三木哲也、理事 貴家仁志、
理事 萩本和男、理事 小山二三夫、理事 石田 亨、監事 村上篤道

第 5 号議案 平成 24 年度事業計画（653 ページ参照）

第 6 号議案 平成 24 年度収支予算（666 ページ参照）

以上をもって議事を終了し、午後 3 時 45 分に閉会した。

平成 24 年 5 月 26 日

一般社団法人 電子情報通信学会

議長（理事）安田 浩、書記（理事）江村克己、書記（理事）太田直久

以上定時社員総会の第 6 号議案に続いての式典において、名誉員の推薦（543 ページ参照）、第 73 回功績賞（545 ページ参照）、第 49 回業績賞（550 ページ参照）、第 5 回喜安善市賞（558 ページ参照）、第 68 回論文賞（559 ページ参照）、広告賞がそれぞれの受賞者に贈られた。続いて安田会長から退任役員を代表して挨拶があり、これに対して喜連川副会長が会員を代表して謝辞を述べられた。平成 24 年度第 1 回理事会で就任を可決された吉田新会長から会長就任の挨拶があった。（会長就任あいさつ 575 ページ参照）

平成 24 年 7 月号会告・通知目次

◇平成 24 年定時社員総会報告	1
◇CEATEC JAPAN 2012 との連携企画開催のお知らせ	3
◇第一種研究会開催案内（平成 24 年 7 月 2 日～8 月 3 日）	4
◇第二種研究会開催案内	39
◇第三種 技術者教育と優良実践研究会	45
◇2012 年ソサイエティ大会開催案内	46
◇支部大会	
・平成 24 年度信越支部大会	47
・平成 24 年電気関係学会関西連合大会	47
・平成 24 年度電気関係学会四国支部連合大会	48
◇講演会・講習会・学術研究会等	
・関西支部 IEICE 関西支部 ICT 基礎講座「画像処理講座」・「統計的学習理論講座」	49
電子情報通信学会関西支部中高生向け講演会「コンピュータの内部について学ぼう！！」	49
電子情報通信学会関西支部中高生向け講演会「e-Gadget-TT を用いたロボット制御」	49
電気四学会関西支部講演会「スマートな社会・都市デザインのための電子情報通信技術」	50
・2012 年度画像符号化シンポジウム（PCSJ2012）2012 年度映像メディア処理シンポジウム（IMPS2012）	50
・本会が協賛等のもの	51
◇国際会議	52
◇受賞候補者募集等	52
◇求人欄	53
◇お知らせ	
・銀行・郵便局口座自動引落しの割引特典のお知らせ	55
・平成 24 年 7 月号及び 8 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	55
・「産・官・学共同研究」募集のお知らせ	55
◇論文特集号原稿募集	
・離散数学とその応用小特集号（英文論文誌 A）	56
・回路とシステム，コンピュータ技術小特集号（英文論文誌 A）	56
・震災復興や新興国の近未来に役立つ情報ネットワーク技術特集号（和文論文誌 B）	57
・次世代セルラシステムのためのヘテロジニアスネットワーク小特集号（英文論文誌 B）	58
・若手研究者のためのブラッシュアップ特集号（和文論文誌 B）	59
・集積光デバイス技術小特集号（英文論文誌 C）	59
・インターネット技術とその応用小特集号（和文論文誌 D）	60
◇論文特集号論文募集カレンダー	62
◇通信ソサイエティマガジン年間購読申込みについて	64
♣複製される方へ	6
♣各種証明，閲覧の手数料について	38
♣本会発行図書案内	
・[ブレインコミュニケーション——脳と社会の通信手段——]	45
・[実践 通信ネットワークの信頼性評価技術——基礎から R を用いたプログラミングまで——]	61
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	55

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>
 （本会ホームページ→左側 MENU 上から 3 番目会告ページ入る）

—CEATEC JAPAN 2012 との連携企画開催のお知らせ—

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN 2012 と、昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN 2012 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN 2012 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「震災を乗り越えるために—日本の新たな ICT の進路—」及び東京支部主催シンポジウム（内容検討中）、並びに下記 4 件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいますよう、御案内致します。

なお、今年の CEATEC のテーマは「Smart Innovation—豊かな暮らしと社会の創造—」です。

<http://www.ceatec.com/2012/ja/application/about/about02.html>

【開催日】 10月4日（木）～5日（金）

【会場】 幕張メッセ（千葉市）

会場までのアクセスは URL（<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>）を御参照下さい。

【参加費】 無料

【申込方法】 当日会場に直接お越し下さい。なお、CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加される方は、下記 URL から展示会参加のための事前登録をお願い致します。<http://www.ceatec.com/>（8月初旬掲載予定）

本会が主催する内容は次のとおりです。

I 一般社団法人電子情報通信学会 特別シンポジウム

【開催日】 10月4日（木）14:00～17:30（予定）

【会場】 国際会議場 2F コンベンションホール A

【テーマ】 日本の新たな ICT の進路

—震災後の ICT のあり方とその利活用を探る—

②電子ディスプレイ研究専門委員会（EID）

【開催日】 10月4日（木）13:00～17:00（予定）

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 フレキシブルディスプレイシンポジウム

II 一般社団法人電子情報通信学会 東京支部主催シンポジウム

【開催日】 10月5日（金）13:00～17:00（予定）

【会場】 国際会議場 3F 304号室

【テーマ】 検討中

③マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会（EMM）

【開催日】 10月4日（木）13:00～17:00（予定）

【会場】 国際会議場 3F 304号室

【テーマ】 マルチメディアのプライバシー保護最前線

III 一般社団法人電子情報通信学会 研究会

①パターン認識・メディア理解研究専門委員会（PRMU）

【開催日】 10月4日（木）10:00～17:00（予定）

10月5日（金）10:00～17:00（予定）

【会場】 国際会議場 3F 302号室

【テーマ】 パターン認識によるインタフェースの未来

④ICT スマートグリッド技術時限研究専門委員会

【開催日】 10月5日（金）9:00～17:00（予定）

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 未来のスマート社会を支える ICT 技術

※ CEATEC JAPAN (Combined Exhibition of Advanced Technologies) とは

CEATEC JAPAN は、世界最先端の技術・製品・サービス等が発表され、国内外の業界関係者を始めとする、幅広いユーザから大きな関心をもたれているアジア最大級の IT・エレクトロニクス産業に関連する業界の総合展示会です。

展示会場では、電子部品・デバイスから完成品まで多岐にわたる展示品目を、カテゴリーごとにゾーン分けを行い展開することで、顧客の的確な誘致と効率の良い情報収集を可能にします。展示会場で開催するコンファレンスセッションでは、産業界のトップエグゼクティブや、業界をリードするキーパーソンがビジネスの革新、躍進に役立つメッセージを発信します。

CEATEC JAPAN 2012 は 10月2日（火）～6日（土）の5日間、幕張メッセにて開催されます。

詳細 URL はこちら <http://www.ceatec.com/2012/ja/application/index.html>

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 24 年 7 月 2 日～8 月 3 日

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告 頁
安 全 性	26 日(木) 13 : 00～17 : 00	機械振興会館	10
応 用 音 響	19 日(木) 13 : 30～17 : 10 20 日(金) 10 : 00～12 : 20	北海道医療大学・札幌サテライトキャンパス	11
情 報 セ キ ュ リ テ イ 技 術 と 社 会 ・ 倫 理 情 報 通 信 シ ス テ ム セ キ ュ リ テ イ マ ル チ メ デ ィ ア 情 報 ハ イ デ ィ ン グ ・ エ ン リ ッ チ メ ン ト	19 日(木) 10 : 30～17 : 30 20 日(金) 9 : 00～17 : 05	北海道工業大学	12
信 頼 性	27 日(金) 14 : 00～16 : 20	スマイルホテル苫小牧	18
思 考 と 言 語	21 日(土) 13 : 00～17 : 00 22 日(日) 10 : 00～16 : 00	山形大学・小白川キャンパス	25
情 報 理 論	19 日(木) 13 : 50～18 : 00 20 日(金) 9 : 30～17 : 30	豊田工業大学・本館ホール	27
ワ イ ド バ ン ド シ ス テ ム	25 日(水) 10 : 30～14 : 35 26 日(木) 10 : 00～15 : 00	名古屋大学・東山キャンパス・野依記念学術交流館	28
I T S	25 日(水) 13 : 00～15 : 00 26 日(木) 10 : 00～12 : 00	名古屋大学・東山キャンパス・野依記念学術交流館	28
イ メ ー ジ ・ メ デ ィ ア ・ ク オ リ テ ィ	27 日(金) 13 : 00～16 : 40	名古屋大学・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	29
回 路 と シ ス テ ム V L S I 設 計 技 術 信 号 処 理 シ ス テ ム 数 理 と 応 用	2 日(月) 9 : 20～17 : 50 3 日(火) 9 : 10～16 : 50	京都リサーチパーク・西地区	30
超 音 波	26 日(木) 13 : 10～17 : 10 27 日(金) 10 : 00～12 : 30	京都電子工業・第三工場	32
非 線 形 問 題	5 日(木) 12 : 30～16 : 35 6 日(金) 9 : 20～13 : 25	鹿児島県産業会館	35
7 月 休 会 の 研 究 会 ; ス マ ー ト イ ン フ ォ メ デ ィ ア シ ス テ ム			

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告 頁
環 境 電 磁 工 学	19 日(木) 13 : 00～17 : 40	機械振興会館	7
モ バ イ ル マ ル チ メ デ ィ ア 通 信 画 像 工 学	19 日(木) 13 : 30～16 : 45 20 日(金) 10 : 00～15 : 00	筑波大学・大学会館	8
環 境 電 磁 工 学 機 構 デ バ イ ス	20 日(金) 12 : 45～17 : 40	機械振興会館	9
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	27 日(金) 13 : 00～17 : 15	電子航法研究所	10
情 報 通 信 マ ネ ジ メ ン ト	12 日(木) 10 : 30～17 : 20 13 日(金) 9 : 30～12 : 10	小樽市民会館	10
情 報 ネ ッ ト ワ ー ク	19 日(木) 13 : 30～17 : 55 20 日(金) 9 : 35～17 : 00	北海道大学・工学部	13
ア ン テ ナ ・ 伝 播 信 衛 星 通 信	25 日(水) 9 : 50～17 : 30 26 日(木) 9 : 30～17 : 20 27 日(金) 9 : 30～17 : 30	北海道大学・札幌キャンパス・百年記念会館	14
ア ド ホ ッ ク ネ ッ ト ワ ー ク	13 日(金) 10 : 00～16 : 50	岩手県立大学・アイーナキャンパス	21
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム 無 線 通 信 シ ス テ ム ユ ビ キ タ ス ・ セ ン サ ネ ッ ト ワ ー ク	19 日(木) 8 : 50～18 : 25 20 日(金) 9 : 00～17 : 05	岩手大学・工学部キャンパス・盛岡市産学官連携研究センター	21
光 通 信 シ ス テ ム	26 日(木) 13 : 15～16 : 50	ニューウェルシティ湯河原	29
電 子 通 信 エ ネ ル ギ ー 技 術	30 日(月) 13 : 30～17 : 00 31 日(火) 9 : 00～14 : 40	奈良工業高等専門学校	32

コミュニケーションクオリティ	12日(木) 13日(金)	11:00~18:15 8:30~15:50	愛媛大学・総合情報メディアセンター	34
通 信 方 式	12日(木) 13日(金)	8:45~17:30 8:30~12:50	沖永良部島・知名町中央公民館	36
ソフトウェア無線	26日(木) 27日(金)	13:00~18:00 10:00~15:45	屋久島離島開発総合センター	37
7月休会の研究会：フォトニックネットワーク，光ファイバ応用技術，インターネットアーキテクチャ				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告頁
電子ディスプレイ	12日(木)	10:00~17:00	機械振興会館	7
超伝導エレクトロニクス	19日(木)	10:20~14:50	機械振興会館	7
磁気記録・情報ストレージ	19日(木) 20日(金)	13:00~17:20 9:00~11:30	茨城大学・日立キャンパス	8
機構デバイス 環境電磁工学	20日(金)	12:45~17:40	機械振興会館	9
電子ディスプレイ	27日(金)	(未定)	機械振興会館	10
電磁界理論 マイクロ波 光エレクトロニクス エレクトロニクスシミュレーション マイクロ波・ミリ波フォトニクス	26日(木) 27日(金)	9:00~17:00 9:00~15:20	北海道大学・札幌キャンパス	16
シリコン材料・デバイス 集積回路	8月2日(木) 3日(金)	9:10~18:50 9:00~16:45	札幌市男女共同参画センター	19
集積回路	26日(木) 27日(金)	9:30~17:50 9:00~17:00	山形大学・米沢キャンパス・工学部・百周年記念会館	25
有機エレクトロニクス	19日(木) 20日(金)	13:30~20:00 9:30~11:05	加藤科学振興会・軽井沢研修所	26
電子デバイス	26日(木) 27日(金)	13:30~16:40 9:30~12:15	福井大学・文京キャンパス・産学官連携本部	30
7月休会の研究会：電子部品・材料，シリコン材料・デバイス，レーザ・量子エレクトロニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告頁
画像工学 モバイルマルチメディア通信	19日(木) 20日(金)	13:30~16:45 10:00~15:00	筑波大学・大学会館	8
情報通信システムセキュリティ マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント 情報セキュリティ 技術と社会・倫理	19日(木) 20日(金)	10:30~17:30 9:00~17:05	北海道工業大学	12
ソフトウェアサイエンス 知能ソフトウェア工学	27日(金) 28日(土)	11:00~17:50 9:00~16:50	公立はこだて未来大学	18
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム	19日(木) 20日(金)	15:00~16:00 9:30~10:30	花ごころの湯 新富亭(宮城県松島温泉)	23
医 用 画 像	19日(木) 20日(金)	11:00~17:20 8:50~16:10	山形大学・工学部・米沢キャンパス	23
音 声	19日(木) 20日(金) 21日(土)	14:30~17:30 9:00~16:30 10:00~12:30	天童温泉 滝の湯(山形県)	24
教 育 工 学	28日(土)	12:55~16:15	東北学院大学・土樋キャンパス	26
ニューロコンピューティング	30日(月) 31日(火)	10:20~17:35 10:20~16:25	立命館大学・情報理工学部・びわこ・くさつキャンパス	33
MEとバイオサイバネティクス	13日(金)	13:30~16:35	岡山大学・鹿田キャンパス・医学部	34
今後の予定：パターン認識・メディア理解(38ページ)				

7月休会の研究会；言語理解とコミュニケーション，コンピュータシステム，コンピューテーション，人工知能と知識処理，データ工学，パターン認識・メディア理解，ディペンダブルコンピューティング，ソフトウェアインタプライズモデリング，リコングラブルシステム，情報論的学習理論と機械学習，クラウドネットワークロボット，サービスコンピューティング

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

7月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎，ヒューマン情報処理，マルチメディア・仮想環境基礎，福祉情報工学

◇第二種研究会開催案内

第13回フォトニックネットワークチュートリアル講演会	7月27日(金)	テレコム先端技術研究支援センター (SCAT)	39
第3回デジタル信号処理による新しい光伝送技術	7月27日(金)	ニューウェルシティ湯河原	39
第4回集積光デバイスと応用技術研究会	7月27日(金)	東京大学・本郷キャンパス	39
第25回 回路とシステムワークショップ	7月30日(月)，31日(火)	淡路夢舞台国際会議場	40
光応用電磁界計測 (PEM) 時限研究専門委員会第1回研究会	8月23日(木)，24日(金)	東北大学・大学院・工学研究科	44
アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ (第44回)	10月11日(木)	東京工業大学・大岡山キャンパス	44

複製される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が社団法人日本複製権センター（社）学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体）と包括複製許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。（社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。）

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複製以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 服部励治 副委員長 志賀智一・小南裕子
幹事 伊達宗和・山口雅浩
幹事補佐 増田善友・山口留美子・山口 一・藤田悦昌・
新田博幸・小澤史朗・中田 充

日時 7月12日(木) 10:00~17:00

会場 機械振興会館地下3階研修1号室(港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線:神谷町駅下車徒歩10分, JR:浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題 SID '12 報告会

- Active-Matrix Devices 齊藤 徹 (パソニック)
- Novel Displays 山口留美子 (秋田大)
- Touch 芳賀浩史 (NLT テクノロジー)
- Display Systems・Applied Vision
カラントラル カリル (Global Optical Solutions)

午後

- 全体の概要 飯村靖文 (東京農工大)
- Liquid Crystal Technologies 石谷哲二 (半導体エネルギー研)
- OLED 山江和幸 (パソニック)
- Emissive displays 本山 靖 (NHK)
- Projection Displays 佐々木 隆 (東芝)
- 3D 伊藤 剛 (東芝)
- Lighting 三上明義 (金沢工大)
- Flexible Displays 木村宗弘 (長岡技科大)

◆映像情報メディア学会; 情報ディスプレイ研究会連催, SID 日本支部, 照明学会; 固体光源分科会共催

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生
幹事 王 建青・内海邦昭 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋

日時 7月19日(木) 13:00~17:40

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 若手研究者発表会

- STP ケーブルの接地法とモード変換量の関係について平衡度を考慮した評価 ○延永達哉・豊田啓孝・五百旗頭健吾・古賀隆治(岡山大)・渡辺哲史(岡山県工技センター)
- GPU を用いた FDTD 法による実環境ポインティングベクトル分布の高速3次元可視化 ○小関勇気・園田 潤(仙台高専)・金澤 靖(豊橋技科大)・佐藤源之(東北大)
- 電磁界エネルギーを用いた平板間共振の等価回路モデル化 ○西本太樹・浅井力矢・松嶋 徹・久門尚史・和田修己(京大)
- 電源グラウンドの共振を抑えるための最適な部品選定について ○丸山良明(NIS)・佐野宏靖(TIRI)・時川昌大(サリツ)
- 広帯域ハイブリッドを使用した6ポート回路の複素電磁界測定の適用 ○南部隆之・肖 鳳超・上 芳夫(電通大)
- 電子機器に接続された周辺機器の配置が電磁的情報漏えいを与える影響に関する検討 ○衣川昌宏・林 優一・

第一種研究会開催案内

水木敬明・曾根秀昭(東北大)

- 実測 S パラメータに基づく波形解析によるメタルケーブルのノイズ耐性評価 ○鈴木雄将・明星慶洋・岡 尚人・大橋英征(三菱電機)
- インバータ機器における伝導ノイズのコモンモード-ノーマルモード変換の評価 ○神蔵 護・村田雄一郎・白木康博・西沢昭則(三菱電機)
- 人体通信における送信電極構成の検討 ○鍵本圭吾・藤原拓也・安在大祐・王 建青(名工大)
- オープン・ショート法を利用した広い平板導体のインピーダンス測定法の検討 ○横道太志・稲葉 潤・下塩義文(熊本高専)・宮崎芳郎(矢崎総業)

◆IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会 共催. IEEE EMC Society Sendai Chapter, エレクトロニクス実装学会; 電磁特性技術委員会協賛

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月20日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 放電・実装, EMC, 一般

8月 休会

9月7日(金) 北大 [7月16日(月)] テーマ: 生体, EMC, 一般

10月25日(木), 26日(金) 東北学院大多賀城キャンパス [8月13日(月)] テーマ: シミュレーション技術, EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい. <http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

青柳貴洋(東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)
〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W9-110
TEL & FAX [03] 5734-2992
E-mail: emcj@mail.ieice.org

★超伝導エレクトロニクス研究会 (SCE)

専門委員長 日高陸夫
幹事 山田隆宏・丸山道隆 幹事補佐 赤池宏之

日時 7月19日(木) 10:20~14:50

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題 信号処理基盤技術及びその応用, 一般

- 断熱型 QFP 回路用直流駆動交流電源の設計と動作実証 ○向山隆志・山梨裕希・吉川信行(横浜国大)
- 信号伝搬時間の電源電圧依存性の制御による超伝導単一磁束量子回路の動作余裕度の改善 ○大坪樹生・山梨裕希・吉川信行(横浜国大)
- SFQ 回路を用いたビットスライス浮動小数点加算器 ○大桃由紀雄・成瀬遥平(京大)・鬼頭信貴(中京大)・高木直史(京大)
- SFQ 回路を用いた2ビット・ビットスライス半精度浮動小数点乗算器の設計 ○成瀬遥平(京大)・鬼頭信貴(中京大)・高木直史(京大)

午後 (13:10~)

- 低電圧駆動 SFQ 回路における PTL 配線技術の検討 ○滝波拓海・伊藤将人・北山敦史・田中雅光・藤巻 朗(名大)
- 高温超伝導 SQUID を用いた小型サンプル振動型磁化率計と

- サンプル形状依存性 ○モハマド マワルディ サーリ・高木竜輝・堺 健司・紀和利彦(岡山大)・塚本 晃・安達成司・田辺圭一 (ISTEC-SRL)・神島明彦(日立)・塚田啓二(岡山大)
7. 磁束フィードバックを用いた高感度デジタルSQUIDにおける広ダイナミックレンジシステムの検討 ○津賀優斗・山梨裕希・吉川信行(横浜国大)
8. 単一磁束量子読み出し回路に基づく超伝導センサシステムのための信号多重化技術 ○青木一希・山梨裕希・吉川信行(横浜国大)

【問合先】

山田隆宏(産総研)
TEL [029] 861-2859, FAX [029] 861-5530
E-mail: yamada-takahiro@aist.go.jp

★モバイルマルチメディア通信研究会 (MoMuC)

専門委員長 横田英後 副委員長 井上真杉
幹事 鶴岡行雄・榎原 茂
幹事補佐 上村郷志・北形 元・小林基成

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久
幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂幸浩

日時 7月19日(木) 13:30~16:45
20日(金) 10:00~15:00

会場 筑波大学学生会館特別会議室(つくば市天王台1-1-1.
http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_south.html 菟川友宏)

議題 IPTV, 画像符号化, ストリーム技術, マルチメディアホームネットワーク, ウェアラブルコンピューティング, コンテンツネットワーク, モバイルマルチキャスト及び一般
19日

- IE-1. マルチフレーム動き推定の高速化に関する一検討
○蜂巣貴弘・長谷川まどか・加藤茂夫(宇都宮大)
- IE-2. マルチストリーミング技術を用いたリアルタイム多視点裸眼立体映像の作成 ○追永侑平・若原 徹(法政大)
- IE-3. 双方向動き補償を利用した動画像信号の補間フレーム作成とその画質改善に関する検討 ○星 勝・長谷川まどか・加藤茂夫(宇都宮大)
- IE-4. SURF 特徴量の粗量子化に基づく類似ビデオの検索手法
○村林 昇, 吉田健一(筑波大)
- IE-5. サッカー自由視点映像の生成を目的としたオブジェクト追跡 ○三功浩嗣・内藤 整(KDDI研)
- IE-6. 情報源拡大に基づく乗算型2値算術符号の高速化に関する一検討 ○金原翔太・長谷川まどか・加藤茂夫(宇都宮大)

20日午前

MoMuC-1. OFDMA Resource Allocation for Multicasting Video to Users with Heterogeneous Equipments

○Daeyeon Kim・Takeo Fujii (Univ. of Electro-Comm.)・Kyesan Lee (KHU)

MoMuC-2. GPS 情報と WLAN 信号情報を用いた位置証明方式
○山口 正・佐藤 直(情報科学技術大)

MoMuC-3. ユーザの活動状況が個々のネットワークトラフィックに与える影響 ○柿崎 歩・上岡英史(芝浦工大)

20日午後(12:30~)

4. [招待講演] リアルタイムサービス技術と Web ブラウザ技術の融合と標準化 ○鈴木良宏(D3コミュニケーションズ)・小柏伸夫(共愛学園前橋国際大)
5. 色情報を用いた類似画像の検索技術に関する研究
○範 雋偉(エヌ・ティ・ティ・アイ・ティ)・西原 功・中野慎夫(富山県立大)
6. Utilizing Users' Watching Sequences and TV-programs' Metadata for Personalized TV-program Recommendation
Dinh Quoc Hung・Pao Sriprasertsuk・Kenji Fukuda (Waseda Univ./WOWOW)
7. 平均値座標に基づいた適応インフラ予測方式
望月慎太・松田一朗・深井寛修・伊東 晋(東京理科大)・河村 圭・内藤 整(KDDI研)

◆情報処理学会; オーディオビジュアル複合情報処理研究会, 映像情報メディア学会; コンシューマエレクトロニクス研究会/メディア工学研究会連催

☆MoMuC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月27日(木), 28日(金) 高松市[未定] テーマ: モバイル/放送融合技術・システム及びアプリケーション, モバイルコンテンツ配信, P2P/アドホックネットワーク, 及びこれらの品質, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

鶴岡行雄 (NTT)
E-mail: tsuruoka.yukio@lab.ntt.co.jp
榎原 茂 (奈良先端大)
E-mail: shigeru@is.aist-nara.ac.jp

☆IE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月27日(月), 28日(火) 山口大吉田キャンパス[締切済]
テーマ: マルチメディア通信/システム, ライフログ活用技術, IP 放送/映像伝送, メディアセキュリティ, 一般

【問合先】

内藤 整 (KDDI研)
E-mail: ie-kanji2011@mail.ieice.org

★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 杉田龍二
幹事 稲葉信幸・小出大一 幹事補佐 白鳥聡志

日時 7月19日(木) 13:00~17:20
20日(金) 9:00~11:30

会場 茨城大学日立キャンパス E5 棟 8階イノベーションスペース(日立市中成沢町4-12-1. JR常磐線:日立駅もしくは常陸多賀駅よりバスで約20分。「茨大前」下車。 <http://www.eng.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/index.html> TEL [0294] 38-5120 杉田龍二)

議題 記録媒体, 一般

19日

- MR-1. [チュートリアル招待講演] 相変化メモリの原理と将来性 ○保坂純男・尹 友(群馬大)
- MR-2. [招待講演] 高分子ブロック共重合体の Directed Self-Assembly による超高密度パターン形成 ○吉田博史・多田靖彦(日立)・Ricardo Ruiz (HGST)

MR-3. マスター媒体のパターン形状がビット転写特性に及ぼす影響
○東條隆介・小野瀬 勝・川崎龍太・田中康貴・川田裕介・小峰啓史・杉田龍二 (茨城大)

MR-4. [チュートリアル招待講演] Flash メモリ: その動作原理と最新開発動向
西山 彰 (東芝)

MR-5. 次世代メディアの耐食性に関する検討(1)―予備浸漬処理による磁気ディスクの耐食性向上―
○馬淵勝美・天羽美奈 (日立)・ブルーノ マシヨン・チン ダイ (HGST)

MR-6. 次世代メディアの耐食性に関する検討(2)―耐食性機能を末端官能基に有する潤滑剤の合成とその性質―
○天羽美奈・馬淵勝美・吉田博史 (日立)・Qing Dai・Bruno Marchon (HGST)

20 日

MR-1. スペーシングが磁気転写特性に及ぼす影響
○大山哲広・小野瀬 勝・川崎龍太・小峰啓史・杉田龍二 (茨城大)

MR-2. SPT ヘッドのトレーリングシールド形状が STO 素子の発振特性に与える影響
○橋本卓弥・朝香壮太・吉田和悦 (工学院大)・金井 靖 (新潟工科大)

MR-3. 加熱成膜による c 面配向 Co スパッタ薄膜の完全六方晶化
○野沢直樹・斉藤 伸・日向慎太郎・高橋 研 (東北大)

MR-4. [招待講演] 強磁性共鳴による Co 基礎グラニューラ型垂直磁気記録媒体のキャラクタリゼーション
○日向慎太郎・斉藤 伸 (東北大)・長谷川大二 (早大)・高橋 研 (東北大)

MR-5. リニアテープシステム用バリウムフェライト媒体の長期保存性能
○栗橋悠一・清水 治・村田悠人・浅井雅彦・野口 仁 (富士フィルム)

◆映像情報メディア学会; マルチメディアストレージ研究会連催. IEEE Magnetic. Soc. 日本支部共催

○19 日研究会終了後に懇親会を開催致します. 多数御参加下さい. 当日会場受付でお申し込み下さい.

日時: 7 月 19 日 (木) 17:45~

場所: 茨城大学工学部 (研究会会場と同じ建物です)

○最新情報は, MR 研究会ホームページを御覧下さい.

<http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html>

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生

幹事 王 建青・内海邦昭 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕

幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 7 月 20 日 (金) 12:45~17:40

会場 機械振興会館地下 3 階 2 号室

議題 放電・実装, EMC, 一般

1. ハンマリング加振機構及び微摺動機構による電気接点の劣化現象―接触抵抗とそのモデル(23)―
○和田真一・越田圭治・サインダー ノロブリン・益田直樹・久保田洋彰 (TMC システム)・澤 孝一郎 (日本工大)

2. タッピング・デバイスによる電気接点の劣化現象―タッピング・デバイスの試作(4)―
○和田真一・越田圭治・サインダー ノロブリン・竹田弘毅・石塚大貴・柳 国男・

久保田洋彰 (TMC システム)・澤 孝一郎 (日本工大)

3. 壁により移動範囲を制限される開離時アークの磁気吹き消し
○小野 仁・関川純哉 (静岡大)

4. 電磁圧接された試料板の電気抵抗測定
○梶沢栄基・岡川啓悟・石橋正基・相沢友勝 (都立産技高専)

5. 電磁圧接による導電接続用アルミニウム及び銅薄板の並列シーム溶接
○相沢友勝・松澤和夫・岡川啓悟 (都立産技高専)

6. 放射妨害波の GHz 超測定における Bore Sighting Method とその簡略化に関する検討
○峯松育弥 (KEC)・堀内達朗 (ロランド)・北田浩志 (村田製作所)・吉原 勝 (リケン環境システム)・梶田幸央 (北川工業)・中村哲也 (東陽テクノ)・和田修己 (京大)・二宮 寿 (ロランド)

7. SO-DIMM 評価モデルを用いたキットモジュールレベルと放射電界強度レベルの相関性の検討
○桑原伸夫 (九工大)・遠矢弘和 (アイキャスト)・村松秀則 (VCCI)・森 健吾 (オー・アイ・データ機器)・鳥先敏貴 (NEC エンジニアリング)

8. 静電気放電電流のエネルギー特性解析―放電波形における振動現象の評価―
○馬杉正男 (立命館大)・平澤徳仁・秋山佳春 (NTT)・村川一雄 (NTT 東日本)

9. SAR Evaluation of Capsule Endoscope with Spatial Diversity Reception
○Daisuke Anzai・Sho Aoyama・Masafumi Yamanaka・Jianqing Wang (Nagoya Inst. of Tech.)

10. [特別講演] 電波の生体影響試験用ばく露装置の研究
王 建青 (名工大)

◆IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会 共催. IEEE EMC Society Sendai Chapter, エレクトロニクス実装学会; 電磁特性技術委員会協賛

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8 月 休会

9 月 7 日 (金) 北大 [7 月 16 日 (月)] テーマ: 生体, EMC, 一般

10 月 25 日 (木), 26 日 (金) 東北学院大多賀城キャンパス [8 月 13 日 (月)] テーマ: シミュレーション技術, EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

青柳貴洋 (東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)

〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W9-110

TEL & FAX [03] 5734-2992

E-mail: emcj@mail.ieice.org

☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8 月 23 日 (木), 24 日 (金) 東北大通研 [締切済] テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

9 月 休会

【問合せ先】

長谷川 誠 (千歳科技大)

TEL & FAX [0123] 27-6059

E-mail: hasegawa@photon.chitose.ac.jp

関川純哉 (静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

服部康弘 (住友電装)

TEL [059] 382-8970, FAX [059] 382-8591

E-mail : yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は、<http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 向殿政男 副委員長 平尾裕司
幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 7月26日(木) 13:00~17:00

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 産業安全を主として

1. 混合機・粉碎機を対象とした労働災害分析
○濱島京子・梅崎重夫・板垣晴彦(労働安全衛生総研)
2. 機械安全と機能安全の連携を考慮したリスクの定量的評価手法の提案
○梅崎重夫・清水尚憲・濱島京子(労働安全衛生総研)
3. 衛生リスクの見積りに用いるリスク要素の重み付け
○大村宏之(FOOMA)・福田隆文(長岡技科大)
4. 機械と人の協働作業における安全制御—プレス機械への協働作業安全制御の適用—
○畑 幸男・平尾裕司(長岡技科大)
5. サービスロボット安全規格ISO13482とロボット開発者からみた同規格への対応の課題—機能安全・制御安全を中心として—
木村哲也(長岡技科大)
6. 逆ETA法によるFMEA, FTA, ETAの一本化の提案
和田 浩(関西経営管理協会)

☆SSS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月20日(木) 機械振興会館[7月15日(日)] テーマ:安心・安全の心理を主として

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

木村昌臣(芝浦工大工学部情報工学科)
TEL & FAX [03] 5859-8507
E-mail : masaomi@shibaura-it.ac.jp

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一
幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史

日時 7月27日(金) 13:00~17:15

会場 電子航法研究所(調布市深大寺東町7-42-23。JR中央線三鷹駅南口より、小田急バス仙川行または杏林大学病院行で、三鷹農協前下車南へ徒歩5分。もしくはJR吉祥寺駅公園口より、小田急バス調布駅北口行または武蔵境駅南口行で三鷹農協前下車。<http://www.enri.go.jp/about/map.htm> TEL [0422] 41-3181 福島荘(介)

議題 航法・交通管制及び一般

1. 空港面交通管理手法の一提案
○住谷美登里・青山久枝・マーク ブラウン・山田 泉(電子航法研)
2. 変分ベイズ法を用いた航空機の横方向経路逸脱量分布モデル推定法
藤田雅人(電子航法研)
3. 準天頂衛星 LEX 信号の強度評価
○谷島 潔・前田裕昭(LHTC)
4. [招待講演] 災害に強いネットワーク構築における無人航空

機の導入—無線リンクの検討— 滝沢賢一・○辻 宏之・鈴木幹夫・三浦 龍(NICT)
5. 76 GHz 帯小電力ミリ波レーダシステムを用いた有人ヘリコプタの前方障害物探知試験
○ニッ森俊一・河村暁子・米本成人(電子航法研)・小林啓二・奥野善則(JAXA)・桂 信生(北海道放送)

6. 気象用フェーズドアレイレーダの開発
○牛尾知雄(阪大)・吉川栄一(JAXA)・水谷文彦・和田将一(東芝)

7. パッシブレーダにおけるドップラー周波数の変化を考慮した高速長時間積分方式
○星野越寛・諏訪 啓・中村聖平・森田晋一・高橋龍平・若山俊夫(三菱電機)

8. 2スキャンを用いる HPRF レーダ高分解能測距法の加速度目標への適用
○影目 聡・小幡 康・原 照幸(三菱電機)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

☆SANE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月24日(金) 新潟大ときめいと[締切済] テーマ:環境計測及び一般

【問合せ先】

富木淳史(JAXA)
TEL [050] 3362-6575
E-mail : tomiki.atsushi@jaxa.jp
灘井章嗣(NICT)
TEL [042] 327-6496
E-mail : nandai@nict.go.jp

★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 服部励治 副委員長 志賀智一・小南裕子
幹事 伊達宗和・山口雅浩
幹事補佐 増田善友・山口留美子・山口 一・藤田悦昌・新田博幸・小澤史朗・中田 充

期日 7月27日(金)

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題 ディスプレー一般

◎開催プログラムはEID研究会のHP等で御確認下さい。

◆映像情報メディア学会; 情報ディスプレイ研究会連催。SID日本支部共催

——北海道支部における開催——

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 高野 誠 副委員長 阿多信吾・登内敏夫
幹事 吉原貴仁・増田 健 幹事補佐 野村祐士

日時 7月12日(木) 10:30~17:20

13日(金) 9:30~12:10

会場 小樽市民会館1号集会室(小樽市花園5-3-1。JR北海道小樽駅から徒歩15分、あるいは駅前中央バス停から(2)(3)桜町、新光2丁目行き、(6)望洋台線マリンヒル行き乗車、市役所通りにて下車徒歩10分、あるいは駅前中央バス停から(24)山手中通線・入船経由乗車、市民会館前下車目筋、あるいは中央通りバス停(北陸銀行前)から(4)山手線乗車、市民会館通りにて下車徒歩3分。<http://www.otarushiminkaikan.jp/>

shimin/access.html)

議題 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般

12日午前

1. [奨励講演] EMS 開発への TMF SID 適用に関する一考察
○西尾 学・藤原正勝 (NTT)
2. [特別講演] 13th IEEE/IFIP Network Operations and Management Symposium (NOMS 2012) 参加報告
菊池慎司 (富士通研)
3. [特別講演] TMF マネジメントワールド 2012 報告
○蔭 海鷹・北井 敦 (NTT コムウェア)・中里彦俊・藤原正勝 (NTT)

12日午後

4. [特別講演] アカデミアにおける情報通信マネジメント研究の実情
阿多信吾 (阪市大)
5. [特別講演] ネットワーク・システム運用管理技術の動向
横 一光 (アイフォース)
6. [招待講演] バックボーンオペレーション現場で直面している課題とその取り組み
○益子直樹・村中清弘 (NTT コミュニケーションズ)
7. [招待講演] ネットワーク・システム運用管理の実際
高橋 真 (ソフトバンクモバイル)
8. [招待講演] ISP のネットワークオペレーターは普段何をやっているのか
川村聖一 (NEC ビジネス)
9. [招待講演] Cisco Validated Design—CVD の御紹介とその活用事例—
土屋師子生 (システムズ)
10. [パネルディスカッション] 運用管理に関する研究開発への期待と課題

13日

1. 広域分散オペレーションサポートシステムの実用化
竹内康裕 (ドコモテクノロジ)・○香川康介・田村宏直・古谷雅典・高橋和秀 (NTT ドコモ)
2. OSS を構成する仮想マシンの最適配置手法の提案
○中里彦俊・清水雅史・藤原正勝 (NTT)
3. 分散データ駆動型アーキテクチャを用いたサービス監視用 OSS の実装と評価
○村松宏基・青山晋也・藤部秀樹・中村 修・高橋和秀 (NTT ドコモ)
4. 既存のシステム上にユーザの知識をオーバーレイ表示する画像認識に基づいたアノテーション技術
○川端祐人・増田 健・高橋郁也 (NTT)
5. Wi-Fi を利用した 3G 不感エリアにおける救急通信システム実証
○松本賀久 (総研大)・澤田 努 (高知医療センター)・曾根原 登 (NII)・川内敦文 (高知県)・畠山 豊 (高知大)・倉本 秋 (高知医療再生機構)・奥村誠二 (CTC)
6. 災害によるエリア輻輳の輻輳制御に関する一検討
○遠藤大己・高橋謙輔・堀内浩一・堀米英明 (NTT)

【問合せ先】

ICM 研究会幹事

E-mail: icm-kanji@mail.ieice.org

◎http://www.ieice.org/icm/jpn/

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄

幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳

日時 7月19日(木) 13:30~17:10

20日(金) 10:00~12:20

会場 北海道医療大学札幌サテライトキャンパス (札幌市中央区北4条西5丁目アステイ 45 12F. JR 札幌駅南口出口より徒歩5分または地下鉄さっぽろ駅より徒歩3分. <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~satellit/access.html> TEL [011] 778-9031 榊原健一)

議題 応用 (電気) 音響, 音楽音響, 聴覚, 一般

19日

1. 周期信号の群遅延の安定な表現について
○河原英紀 (和歌山大)・森勢将雅 (立命館大)・西村竜一・入野俊夫 (和歌山大)
2. 立体的に配置したスピーカによる音の包み込まれ感
○大出訓史・澤谷郁子・小野一穂 (NHK)・小澤賢司 (山梨大)
3. 長期の発話流暢性促進の訓練を受けた吃音児の音声の変化
○藤井哲之進 (北大)・豊村 暁 (東京電機大)
4. 触覚フィードバックによる音声ピッチ制御と固有感覚フィードバックに及ぼす影響
○坂尻正次・三好茂樹 (筑波技大)・中邑賢龍・福島 智・伊福部 達 (東大)
5. 日本伝統歌唱における“あたり”の生理的・音響的分析と歌声合成への応用
○齋藤 毅 (金沢大)・榊原健一 (北海道医療大)
6. ピアノアクション機構のモデル化に関する検討
○西口磯春・佐々木正孝 (神奈川工科大)

20日

1. ソニフィケーション・ツールとしての SuperCollider
○森本洋太 (パルミガム大)・青木直史 (北大)
2. 制作を目的とした環境音合成システムの構築
○山田祐雅・恩田大河・小坂直敏 (東京電機大)
3. マルチビーム SSB 合成方式による超指向性パラメトリックスピーカに関する研究
○山上晃平・山本 強・土橋宜典 (北大)
4. マイクロフォンアレイに基づく雑音除去による人間共生ロボットの EMIEW2 の頑健な音声認識
○住吉貴志・戸上真人・大淵康成 (日立)

◆日本音響学会; 電気音響研究会, 聴覚研究会, 音楽音響研究会 共催

◎19日研究会終了後に懇親会を開催しますので, 御参加下さい。

☆EA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月1日(水), 2日(木) 東北学院大 [締切済] テーマ: 音響信号処理, 聴覚, 一般

9月 休会

10月27日(土), 28日(日) 牛岳温泉リゾート (富山) [未定] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

戸上真人 (日立中研)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823

E-mail: masahito.togami.fe@hitachi.com

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 松本 勉 副委員長 田中俊昭・櫻井幸一
幹事 四方順司・伊豆哲也 幹事補佐 岩田 哲

★技術と社会・倫理研究会 (SITE)

専門委員長 中西通雄 副委員長 吉開範章・岡田仁志
幹事 鈴木一弘・杉山典正 幹事補佐 山肩大祐・宮田純子

★情報通信システムセキュリティ研究会 (ICSS)

専門委員長 森井昌克 副委員長 菊池浩明・盛合志帆
幹事 井上大介・西出隆志 幹事補佐 白石善明

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 馬場口 登 副委員長 西村 明・新見道治
幹事 青木直史・日置尋久 幹事補佐 鶴木祐史・川村正樹

日時 7月19日(木) 10:30~17:30
20日(金) 9:00~17:05

会場 北海道工業大学2号館(札幌市手稲区前田7条15丁目4-1)
1. アクセス <http://www.hit.ac.jp/access/index.html> キャンパスマップ <http://www.hit.ac.jp/info/facility/facilitymap/pdf/2-3.pdf> TEL [011] 688-2293 本郷節之

議題 セキュリティ, 一般

19日午前 会場A: EMM (10:30~11:45)

EMM-1. BPCS ステガノグラフィ法における複雑度分布を用いた複雑領域判定の閾値の再設定 ○原田翔平・姜 錫・坂本雄児 (北大)

EMM-2. Hybrid Additive-Multiplicative Watermarking for General Embedding Domains ○Seigo Ikeda・Maki Yoshida・Toru Fujiwara (Osaka Univ.)

EMM-3. On Information Hiding Technologies Based on Complete Complementary Codes

○Tetsuya Kojima (Tokyo Natl. Coll. Tech.)・Ryusuke Mayuzumi (Univ. Electro-Comm.)・Naoki Ohtani (NHK Media Tech.)

19日午後 会場A: EMM (13:05~14:20)

EMM-4. ビタセルブロックの特徴量と連結成分の位置を利用した2値画像への情報埋め込み手法 ○岩永宇央・日置尋久 (京大)

EMM-5. 画像修復を行う電子透かしモデルの性能評価—二次エイジング模型による画像修復— ○川村正樹 (山口大)・上江潤達也 (奈良女子大)・岡田真人 (東大)

EMM-6. 動画用電子透かしリアルタイム埋め込みFPGAの設計
○片山 淳・山本 奏・安藤慎吾・筒口 拳・谷口行信 (NTT)

会場A: EMM (14:35~16:15)

EMM-7. 狭帯域成分の時間軸スクランブルによるコピー妨害雑音のハイディング技術—ゲンコーダ Mark for COPY PROTECT—
○茂出木敏雄・宮崎慎一 (大日本印刷)・関口 剛・小須田祐二 (DNP 映像センター)

EMM-8. Webサイトの視覚的特性可視化システムの評価
○梶山朋子 (青学大)・越前 功 (NII)

EMM-9. 顔画像に対するプライバシー保護処理の有効性の定量的評価
中島悠太 (奈良先端大)・池野知顕・馬場口 登 (阪大)

EMM-10. 情報ハイディングによる価値創造の可能性

青木直史 (北大)

19日午後 会場B: ICSS (13:05~14:20)

ICSS-11. ネットワーク上のサイバーセキュリティ情報発見手法に関する検討 ○高橋健志 (NICT)・門林雄基 (奈良先端大)

ICSS-12. テイントタグを用いた解析対象コードの識別方法
○川古谷裕平・岩村 誠・針生剛男 (NTT)

ICSS-13. モバイル通信における証明書管理ノード方式の効率の良い証明書収集
○奥坂宜士・長瀬智行 (弘前大)

会場B: ICSS (14:35~16:15)

ICSS-14. TSPを用いたアドホックネットワークのグルーピング手法の提案 ○李 小驥 (大連理工大)・長瀬智行 (弘前大)

ICSS-15. 統計値を用いた高速なデータベース連携プライバシー保護協調フィルタリングの提案
○中村 徹・清本晋作・渡辺 龍・三宅 優 (KDDI 研)

ICSS-16. プログラムコードの擬似分散による不正制御フローの検知
○塩治榮太郎・川古谷裕平・岩村 誠・針生剛男 (NTT)

ICSS-17. 利用方法に応じたリスクの可視化と適切なセキュリティ対策実施のためのアーキテクチャのグランドデザイン

○松尾真一郎・金岡 晃・高橋健志・三輪信介・蓑輪 正 (NICT)

会場C (階段教室) (16:30~17:30)

共通-18. [招待講演] 色覚の多様性とコミュニケーションへの応用 浅田一憲

20日午前 会場A: ISEC (9:00~10:15)

ISEC-1. 品質工学の手法を用いたキーストロークによる本人認証
○大坂一司・矢野耕也 (日大)

ISEC-2. 生体認証における「なりすまし攻撃」の検知
○松濤智明・鎌倉 健 (富士通研)

ISEC-3. ID ベース系暗号における複数ドメイン・エンティティの相互運用性課題整理
○金岡 晃・岡本栄司 (筑波大)

会場A: ISEC (10:30~12:10)

ISEC-4. 三角行列表示を用いない効率的なRainbow型電子署名方式
○安田貴徳 (九州先端研)・高木 剛 (九大)・櫻井幸一 (九州先端研)

ISEC-5. Hierocryptの高階差分特性
○高橋哲大・金子敏信 (東京理科大)

ISEC-6. AESに対する高階差分攻撃における攻撃方程式解法の高速化 (II)
○井上祐輔・北川明伸・金子敏信 (東京理科大)

ISEC-7. 丸めパス探索における虚パスの排除法
金子敏信 (東京理科大)

20日午後 会場A: ISEC (13:30~15:10)

ISEC-8. Paillier暗号とRSA暗号の連携による暗号化状態処理の方式—第2報—電子行政・医療介護ネットワークにおける個人情報保護と利用の両立を目指して—

○辻井重男・山口 浩 (中大)・土井 洋 (情報セキュリティ大)・角尾幸保 (NEC)・藤田 亮 (中大)・庄司陽彦 (YDK)

ISEC-9. 紛失通信における合理性と安全性 肥後春菜・田中圭介・山田章央 (東工大)・○安永憲司 (九州先端研)

ISEC-10. 近似GCD問題に対する改良アルゴリズム

○高安 敦・國廣 昇 (東大)

ISEC-11. 秘匿計算上の一括写像アルゴリズム

○濱田浩気・五十嵐 大・千田浩司 (NTT)

会場A: ISEC & CSEC (15:25~17:05)

ISEC-12. Elliptic netを用いた楕円曲線スカラー倍計算について

金山直樹・劉陽・岡本栄司・○齋藤和孝・
照屋唯紀(筑波大)・内山成憲(首都大東京)

ISEC-13. Efficient Proofs for CNF Formulas on Attributes in
Pairing-Based Anonymous Credential System

Nasima Begum・○Toru Nakanishi・
Nobuo Funabiki (Okayama Univ.)

ISEC-14. 整数環上で定義された連立多項式による公開鍵暗号

○五太子政史・辻井重男(中大)

15. Improvement of Network coding-based System for Ensuring
Data Integrity in Cloud Computing

Kazumasa Omote・

○Tran Thao Phuong (JAIST)

20日午前 会場B: SITE (9:00~10:15)

SITE-16. カクテルパーティ効果を利用した個人認証システムの
提案

○竹田昂生・稲葉宏幸(京都工繊大)

SITE-17. 最近の情報倫理学・法学に関する海外文献におけるプ
ライバシー理論の動向

大谷卓史(吉備国際大)

SITE-18. ウィルス感染環境下におけるヒトの行動に関する検討
—感染体験実験法の提案と構築—

○栗野俊一・

吉開範章(日大)・

高橋俊雄(高齢・障害・求職者雇用支援機構)

会場B: CSEC (10:30~12:10)

19. 国際標準に基づいたセキュリティ評価プラットフォームへの
テキスト類似度の応用

○高橋雄志・池田信一・

勅使河原可海(創価大)

20. 電子メールの特徴情報を用いた標的型メールへのクライアン
ト対策技術の提案

○吉岡孝司・片山佳則・津田 宏・

森永正信(富士通研)・深澤亮太(富士通SSL)

21. 長期間のマルウェア動的解析を支援する通信可視化手法と
ユーザインタフェースの提案

○森 博志・吉岡克成・

松本 勉(横浜国立大)

22. 情報セキュリティ人材に求められるスキルと人材育成

花田経子(新島学園短大)

20日午後 会場B: CSEC (13:30~15:10)

23. 計算量的ショート秘密分散及びランプ型秘密分散のマルチ
パーティ計算拡張

○千田浩司・五十嵐 大・菊池 亮・

濱田浩気(NTT)

24. モバイル端末のロック解除向けパターン認証の安全性評価

○石黒 司・福島和英・清本晋作・三宅 優(KDDI研)

25. 特徴選択に基づくLocality-Sensitive Hashingによるバイオ
メトリックデータの高速類似検索方法

此島真喜子(富士通研)

26. 生体情報を用いた認印型デジタル署名: Lazy Signature

○米山裕太・本部栄成(静岡大)・高橋健太(日立/東大)・

西垣正勝(静岡大)

会場B: SPT (15:25~17:05)

27. トラストの新たな応用としての災害コミュニケーション

○村山優子・齋藤義仰・西岡 大(岩手県立大)

28. IFIP TM 2012 参加報告

○菊池浩明・

Anirban Basu(東海大)

29. ハイブリッド画像を利用した画像選択型認証のための画像対
選定に関する一検討

○高橋溪太・長谷川まどか・

加藤茂夫(宇都宮大)

30. 総当たり試行を利用したEntropy-Enhanced Password 認証

○兼子拓弥・本部栄成・西垣正勝(静岡大)

◆情報処理学会; コンピュータセキュリティ研究会, 情報セキュ
リティ心理学とトラスト研究会連催

第一種研究会開催案内

☆ISEC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月21日(金) 機械振興会館 [7月13日(金)] テーマ: 一
般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

岩田 哲(名大)

TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723

E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐宛)

☆SITE 研究会

【問合せ先】

森下壮一郎(東大/電通大)

E-mail: smori@hi.mce.uec.ac.jp

◎SITE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/ess/site/>

☆ICSS 研究会

【問合せ先】

三宅 優(KDDI研)

TEL [049] 278-7367, FAX [049] 278-7510

E-mail: icss-request@mail.ieice.org

◎最新情報は, ICSS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/icss/index.html>

☆EMM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月27日(月), 28日(火) 山口大吉田キャンパス [締切済]

テーマ: マルチメディア通信/システム, ライフログ活用技
術, IP放送/映像伝送, メディアセキュリティ, 一般

10月4日(木) 幕張メッセ テーマ: マルチメディアのプ
ライバシー保護最前線

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

日時 7月19日(木) 13:30~17:55

20日(金) 9:35~17:00

会場 北海道大学工学部アカデミックラウンジ3(札幌市北区北
8条西8丁目. JR札幌駅北口から徒歩10分. http://www.hokudai.ac.jp/footer/ft_access.html)

議題 新世代・次世代ネットワーク, ネットワークとシステムの
仮想化, 仮想化環境の管理・監視, オーバレイ, IPv6 ネット
ワーク, フォトニックネットワーク及び一般

19日

1. VXLAN 通信経路の高速切り替えを実現するマルチキャスト
ツリー集中管理方式

○西 佑介・坂田匡通・

木下順史(日立)

2. OpenFlow を用いたエリア限定マルチキャスト

○吉田賢太郎・関谷勇司(東大)

3. オーバレイネットワークにおける局所的な情報交換に基づく
分散型計測手法

○ディン ティエン ホアン・

長谷川 剛・村田正幸(阪大)

4. トラフィック変動に応じた発見的手法に基づく動的アプリケー
ション層経路制御手法

○松田一仁・長谷川 剛・

村田正幸(阪大)

5. [招待講演] AKARI アーキテクチャ設計を基とした新世代
ネットワークの開発及び展開の現状

原井洋明(NICT)

告 13

ERATO 招待講演

6. [招待講演] フロンティア法: BDD/ZDD を用いた高速なグラフ列挙索引化の技法 湊 真一 (北大/JST ERATO)
7. [招待講演] フロンティア法を用いた電力網解析手法 井上 武 (JST ERATO)

20 日午前

1. 海外データセンタ間接続を考慮した仮想マシンのマイグレーション性能評価 ○永渕幸雄・岸 寿春・井上朋子・小山高明・北爪秀雄 (NTT)
2. 複数データセンタを跨いだ仮想 NW の一方式 ○小山高明・井上朋子・岸 寿春・永渕幸雄・北爪秀雄 (NTT)
3. WAN 環境における Hadoop 高速化に関する一考察 ○宮前 剛・武藤亮一・小口直樹・塩沢賢輔・朝永 博・中後 明・西川克彦 (富士通研)
4. 安全なデータ・サービス連携システムにおける KVS 技術適用のスケラビリティ評価 ○小倉孝夫・雨宮宏一郎 (富士通研)・千草かおり・黒川康司・濱田 圭 (富士通九州ネットワークテクノロジズ)・阿比留健一 (富士通研)
5. アトラクタ選択モデルに基づくプロアクティブ型経路制御手法の提案と評価 ○隠塚尚孝・若宮直紀・村田正幸 (阪大)

20 日午後 (15:20~)

6. 自律分散的なクラスタ構成法における漸近安定性保証技術の MANET 環境への適用 ○濱本 亮・高野知佐 (広島市大)・会田雅樹 (首都大東京)・石田賢治 (広島市大)
7. A study on name resolution of multihomed hosts in future networks ○Ved P. Kafle・Hiroaki Harai (NICT)
8. 無線 LAN 環境を考慮した低優先 TCP の輻輳制御 ○澤村真子・小畑博靖・石田賢治 (広島市大)
9. 信頼性に基づいたオーバレイネットワーク管理方式の検討 ○土屋 健 (諏訪東京理科大)・小柳恵一 (早大)

◎20 日 12:35~15:05 にネットワーク仮想化研究会が開催されます。

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8 月 休会

9 月 20 日 (木), 21 日 (金) 東北大 [7 月 16 日 (月)] テーマ: ポスト IP ネットワーキング, 新世代ネットワーク, ネットワークモデル, インターネットトラフィック, TCP/IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW 安全性及び一般

10 月 11 日 (木), 12 日 (金) 東大山上会館 [8 月 13 日 (月)] テーマ: Resilient Network, デザスタ・リカバリ, BCP (Business Continuity Plan), 臨時ネットワーク構築, 省電力ネットワーク技術, TCP/IP, プロトコル, ルーティング, ネットワーク管理, 認証/ID 管理及び一般

【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

堀 賢治 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7651, FAX [049] 278-7510

田坂和之 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7574, FAX [049] 278-7510

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良
幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

★衛星通信研究会 (SAT)

専門委員長 門脇直人 副委員長 上羽正純・榎木勘四郎
幹事 吉村直子・廣瀬貴史

◎本研究会は A・P 研究会と SAT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 7 月 25 日 (水) 9:50~17:30
26 日 (木) 9:30~17:20
27 日 (金) 9:30~17:30

会場 北海道大学札幌キャンパス百年記念会館 (札幌市北区北 8 条西 5 丁目。JR 札幌駅から徒歩 10 分。http://www.hokudai.ac.jp/bureau/info-j/hyaku.html TEL [011] 706-6525 山本 学)

議題 衛星通信, 電波伝搬, 一般

25 日午前

- A・P-1. ダイポール/モノポールモードを利用した一体型ダイバシチアンテナのアイソレーション改善検討 ○西本研悟・深沢 徹・宮下裕章・小西善彦 (三菱電機)
- A・P-2. 葉状ボウタイ素子を用いた MIMO 用アンテナに関する基礎検討 ○木村 準・山本 学・野島俊雄 (北大)
- A・P-3. RFID リーダ用無線電力伝送パッドに関する検討 ○大倉拓也・新井宏之 (横浜国大)
- A・P-4. Sequential Gating Processing for Time-Reversal MUSIC ○Heedong Choi・Yasutaka Ogawa・Toshihiko Nishimura・Takeo Ohgane (Hokkaido Univ.)
- A・P-5. 相関波到来時における Khatri-Rao 積拡張アレーを用いた信号パラメータ推定に関する検討 ○白井智士・山田寛喜・山口芳雄 (新潟大)
- A・P-6. SAR Tomography の高度推定分解能向上に関する実験的検討 ○山田敏弘・山田寛喜・山口芳雄 (新潟大)

25 日午後 オーガナイズドセッション「将来の無線通信の基礎となる電波伝搬の研究」I

- A・P-7. FDTD 解析を用いた高速鉄道車両内無線接続サービスの伝搬特性推定 ○白船雅巳・日景 隆・野島俊雄 (北大)・山田 渉・杉山隆利 (NTT)
 - A・P-8. Comparison of Propagation Characteristics Using Ray Tracing Method and FDTD for Wireless Services inside Tunnels ○Gilbert Siy Ching・Kensuke Tsuda・Yukiko Kishiki (KKE)
 - A・P-9. 見通し外交差道路における車車間通信用パス遮蔽モデルの検討 ○宗平卓也・多賀登喜雄 (関西学院大)
- 「将来の無線通信の基礎となる電波伝搬の研究」II
- A・P-10. 基地局アンテナ近傍に設置した反射板による受信レベル改善方法についての検討 ○北尾光司郎・今井哲朗・石川一道 (NTT ドコモ)
 - A・P-11. 電波ビーコンシステムにおけるサービスエリアの評価 ○駱 美玲・林 昌孝・前山利幸 (拓殖大)

A・P-12. 次世代移動通信用リング・オムニセルの評価
○中野雅之・林 高弘・天野良晃 (KDDI 研)

一般

A・P-13. X 字型無給電素子を装荷した広帯域線状アンテナ
○鈴木龍一・森下 久 (防衛大)・作間文子 (ヤマアンテナ)

A・P-14. 小型端末搭載を考慮した給電線付折返しダイポールアンテナの特性
○伊藤 敦 (防衛大)・田中信吾 (矢崎総業)・森下 久 (防衛大)

A・P-15. 移動通信基地局用多周波共用アレーアンテナ素子の検討
○陳 強・清野慎介・澤谷邦男 (東北大)・田中 健 (八木アンテナ)

A・P-16. アクティブフェーズドアレーアンテナの振幅制御範囲制約付き指向性合成アルゴリズム
○中西孝行・紀平一成・高橋 徹・小西善彦 (三菱電機)

A・P-17. 適応フィルタによるインバータノイズ低減システムの設計
○松岡健人・藤元美俊・堀 俊和 (福井大)

A・P-18. Utilization of Base Station Cooperation for Uplink Transmission in MIMO Multi-Cellular System with Disaster Cells
○Tetsuki Taniguchi・Yoshio Karasawa・Nobuo Nakajima (Univ. of Electro-Comm.)

26 日午前

A・P-1. MIMO 基地局用ブランチ切替アンテナのセル間干渉低減のためのチルト制御方法
○吉田 翔・蔣 恵玲・井原泰介 (NTT ドコモ)

A・P-2. CRLH 伝送線路を用いた誘電体装荷円偏波ビーム走査アンテナ
○北谷和弘・長川 亮・岡村康行 (阪大)

A・P-3. 金属板装荷キャパシタンスグリッドの PMC 特性とその設計法
○林 勝也・牧野 滋・別段信一・廣田哲夫・野口啓介・伊東健治 (金沢工大)

A・P-4. レンズ装荷ホーンで給電された鏡面修整形球面鏡アンテナの設計法
浦崎修治 (広島工大)

オーガナイズドセッション「将来の無線通信の基礎となる電波伝搬の研究」III

A・P-5. 複数ユーザ間のリンク間相関を考慮可能な MIMO 伝搬チャネル推定モデル
○山田 渉・北 直樹・佐々木元晴・杉山隆利 (NTT)

A・P-6. 屋内準静的 MIMO チャネルにおける人体遮蔽シャドウイングモデリング手法
○齋藤健太郎・北尾光司郎・今井哲朗・三浦俊二・加山英俊 (NTT ドコモ)

A・P-7. 無給電アンテナを有するアレー間の MIMO チャネル推定実験
本間尚樹 (岩手大)

26 日午後

SAT-8. 東日本大震災における衛星通信の経済効果の検討
○豊嶋守生・藤野義之・秋岡眞樹 (NICT)

SAT-9. 対災害遅延許容ネットワークにおける到着率公平性に関する性能評価
○高橋朝人・西山大樹・加藤 寧 (東北大)

SAT-10. 小型衛星通信地球局の開発一次期災害対策用衛星通信システム—
○今泉 豊・廣瀬貴史・吉田英邦 (NTT)

SAT-11. 災害時通信における課題と衛星通信技術—災害対応衛星通信技術検討会報告—
災害対応衛星通信技術討議会チュートリアル講演

A・P-12. [チュートリアル講演] 市街地マクロセル環境における移動伝搬特性の総括
○今井哲朗・北尾光司郎 (NTT ドコモ)

特別講演

SAT-13. [特別講演] 21 GHz 帯衛星放送の国際標準化動向

○正源和義 (放送衛星システム)・亀井 雅・田中祥次 (NHK)
AP-S Japan Chapter 特別講演

A・P-14. [特別講演] 革新的光通信技術への挑戦—いつまでも人と人をつなぐために— (口頭発表) 小柴正則 (北大)

27 日午前

SAT-1. 光地上局の簡易化に向けた検討
○高山佳久・国森裕生・小山善貞・豊嶋守生 (NICT)

SAT-2. 再構成通信機のための 16APSK RF 信号ダイレクト変復調装置の開発
○矢羽田将友・加藤 緑・吉川志郎・奥居民生・渡辺哲也 (NEC)・米田誠良 (NEC 東芝スベスシステム)・鈴木健治・鈴木龍太郎・豊嶋守生 (NICT)

SAT-3. 超マルチビーム通信衛星向けアレー給電反射鏡アンテナの素子サイズの最適化の検討
藤野義之・浜本直和・三浦 周・織笠光明・若菜弘充 (NICT)・○山本伸一・柳 崇・稲沢良夫・舟田雅彦・名取直幸 (三菱電機)

SAT-4. 広帯域移動体衛星通信用オンボードスイッチの経年性能評価試験
○平良真一・山本伸一 (NICT)・米田誠良 (NEC 東芝スベスシステム)

アンテナの歴史委員会特別講演

A・P-5. [特別講演] 宇宙通信とパラボラ (口頭発表) 野本真一 (KDDI 研)

27 日午後 オーガナイズドセッション「将来の無線通信の基礎となる電波伝搬の研究」IV

A・P-6. Proposal of Propagation Model for Indoor Open-space between Floors considering the Effect of Carrier frequency and Cross-section size
○Wen Yun・Hiroshi Fujita・Makoto Yoshida (FLAB)

A・P-7. 住宅地低層—低層環境における到来角度特性
○佐々木元晴・山田 渉・北 直樹・杉山隆利 (NTT)

A・P-8. 実伝搬データを用いたヘテロロジーニアスネットワークにおける端末アレーアンテナの干渉除去特性評価
○久住圭介・西森健太郎 (新潟大)・北尾光司郎・今井哲朗 (NTT ドコモ)

一般

A・P-9. Ka 帯衛星回線における降雨減衰平均継続時間分布と雨域水平スケールの関係について
前川泰之 (阪電通大)

A・P-10. 負荷変調を用いたパッシブ MIMO 伝送の特性評価
○寺崎圭祐・本間尚樹 (岩手大)

A・P-11. 高精度超音波距離計測をセンサネットワークに導入する介護環境モニターの研究
○疋田光孝・飛田夏希 (工学院大)

A・P-12. 小型端末用ループアンテナの放射効率に関する検討
○小笠原恒平・太田 潤・村上直樹・大越祐輔・前山利幸 (拓殖大)

A・P-13. 携帯電話の無線性能評価における測定不確かさに関する検討
○大越祐輔・田中幸治・小笠原恒平・前山利幸 (拓殖大)

A・P-14. 分布定数線路と集中定数素子を用いた可変減結合回路の検討
○李 書墨・本間尚樹・八巻直也 (岩手大)

A・P-15. 多層構造指向性走査ミリ波マイクロストリップアンテナ用ロットマンレンズ給電回路の測定評価
○西脇洋渡・榊原久二男・菊間信良・平山 裕 (名工大)

A・P-16. 60 GHz 帯同軸構造背面給電シリコンチップ厚膜誘電体層上円偏波パッチアンテナ
○浅野 隼・広川二郎 (東工大)・平地康剛 (アムニス)・安藤 真 (東工大)

A・P-17. 挿入壁付キャビティ上2×2素子幅広スロットサブア
レーのモーメント法解析と広帯域設計 ○戸村 崇・
広川二郎・平野拓一・安藤 真(東工大)

◆IEEE AP-S Japan Chapter, URSI-F 共催

◎26日研究会終了後、懇親会を予定していますので奮って御参
加下さい。

☆A・P研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

8月27日(月), 28日(火) 新潟大駅南キャンパス「ときめ
いと」〔締切済〕テーマ:測定, 電力伝送, 一般

9月27日(木) KDDI研〔7月10日(火)〕テーマ:マイク
ロ波ミリ波, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

高橋 徹(三菱電機)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

☆SAT研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

8月30日(木), 31日(金) 高知市文化プラザかるぼーと
〔締切済〕テーマ:移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通
信一般

10月 韓国〔未定〕テーマ:衛星通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

SAT研究会幹事

E-mail: sat_ac-sec@mail.ieice.org

吉村直子(NICT)

TEL [042] 327-5336, FAX [042] 327-6123

廣瀬貴史(NTT)

TEL [046] 859-4210, FAX [046] 855-1752

★電磁界理論研究会 (EMT)

専門委員長 西本昌彦 副委員長 白井 宏

幹事 安藤芳晃・平山浩一 幹事補佐 中嶋徳正

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 加屋野博幸・河合 正 幹事補佐 鴨田浩和・清水隆志

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁

幹事 小川憲介・植之原裕行 幹事補佐 橋本俊和

★エレクトロニクスシミュレーション研究会 (EST)

専門委員長 柴田随道

副委員長 柏 達也・馬 哲旺・木村秀明

幹事 平田晃正・大貫進一郎 幹事補佐 平野拓一・陳 春平

★マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会 (MWP)

専門委員長 塚本勝俊 副委員長 黒川 悟

幹事 戸田裕之・川西哲也 幹事補佐 岩月勝美・東野武史

日時 7月26日(木) 9:00~17:00

27日(金) 9:00~15:20

会場 北海道大学札幌キャンパス(札幌市北区北17条西8丁目。
市営交通・地下鉄南北線:北18条駅下車, 徒歩10分。
<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/info-j/johokan-map.htm>
齊藤晋聖)

議題 マイクロ波フォトニクス技術, 一般

26日午前 情報教育館3階スタジオ型多目的講義室(9:00~
12:15)

1. $\lambda/4$ 先端開放スタブ装荷形V帯サブハーモニック注入同期
VCO MMIC ○稲垣隆二・津留正臣・谷口英司(三菱電機)

2. S帯170W/70%パワーステータライズ GaN HEMT 高効率高出力増
幅器 ○小坂尚希・内田浩光・能登一二三・山中宏治・
中山正敏・平野嘉仁・井上 晃・野上洋一・
金谷 康(三菱電機)

3. 光技術及び電子回路技術を使用した屋外用120GHz帯無線技
術 ○枚田明彦・高橋宏行・竹内 淳・久々津直哉・
小杉敏彦・村田浩一(NTT)

4. 平面誘電体境界面における透過ガウスビーム波の近似解析
○ディン チョング クアン・後藤啓次・石原豊彦(防衛大)

5. 完全導体円板上の垂直微小ダイポール波源からの放射電磁界
の解析方法 ○木下照弘(東京工芸大)・黒木啓之・
柴崎年彦(都立産技高専)

6. Rain Attenuation of Electromagnetic Waves by Multiple
Spheres Model ○NGUYEN TIEN DONG・
Masahiro Tanaka・Kazuo Tanaka(Gifu Univ.)

7. 3次元形状試料の複素材料定数推定と実験的検討
○清水省吾・平山浩一・安井 崇(北見工大)

26日午後 情報教育館3階スタジオ型多目的講義室(13:15~
17:00)

8. Temperature Elevation in the Human Body Models of Child
and Fetus for Far-Field Exposure from 30 MHz to 6 GHz
○Kwok Hung Chan・Ryuto Hanatani・Ilkka Laakso・
Akimasa Hirata(Nagoya Inst. of Tech.)

9. 10G-EPONシステムにおけるBER算出モデルの提案
○池田奈美子・寺田和彦・鶴澤寛之・宮崎昭彦・
重松智志・浦野正美・柴田随道(NTT)

10. GPGPUを用いたFDTD計算高速化におけるCUDA C及び
CUDA Fortranの演算性能比較に関する一検討
○高原勝平・今井 卓・田口健治・柏 達也(北見工大)

11. GPGPU利用FDTDマイクロ波ソルバ高速化の検討(その
3) 森田長吉(MWSラボ)

12. 低コヒーレンステラヘルツ波を用いたトモグラフィ技術の研
究 ○五十川貴之・池應敏行(阪大)・味戸克裕・
ソン ホジン・久々津直哉(NTT)・永妻忠夫(阪大)

13. [招待講演] RoFを適用した空港面航空機監視システムの
開発・評価 ○角張泰之・古賀 禎・宮崎裕己・
島田浩樹・本田純一・二瓶子朗(電子航法研)

14. [招待講演] 暑熱環境下の太陽光ばく露による体内温度上昇
のマルチフィジクス解析—工学的見地からの熱中症—
平田晃正(名工大)

26日午前 高等教育推進機構S棟2階S-12教室(10:30~12:15)

15. 非線形偏光回転効果を利用したモード同期Ybファイバー
レーザーの共振器分散依存性 ○浜崎淳一・関根徳彦・
寶迫 巖(NICT)

16. マツハツエンダ変調器型超平坦光コム発生器の光フィールド
バックループによる光コム信号の広帯域化 ○諸橋 功・
坂本高秀・山本直克・小川 洋・川西哲也・寶迫 巖(NICT)

17. 光配線板に向けた GI 型ポリマー交差光導波路
○四反田圭士郎・石樽崇明 (慶大)
18. 光配線板応用へ向けた GI 型コアポリマー光導波路リンクの
パワーバジェット検討 ○石樽崇明・
矢加部 祥・石黒遼太 (慶大)
- 26 日 高等教育推進機構 S 棟 2 階 S-12 教室 (13:15~15:00)
19. 40 Gbit/s DQPSK 復調器の安定化 ○西岡真紀・
近本拓也・清水達也・戸田裕之 (同志社大)・稲船浩司・
賀川昌俊・村井 仁 (OKI)
20. 2 トーン光信号による光注入同期 ○稲垣恵三・
川西哲也 (NICT)
21. 光無線通信システムに対する地震の影響に関しての一考察
○若森和彦・堀田 翔・松本充司 (早大)
22. 非同期レーザを用いる光ヘテロダインによる QPSK RoF 無
線 ○菅野敦史・久利敏明・寶迫 巖・
川西哲也 (NICT)・康村吉広・吉田悠来・北山研一 (阪大)
- 27 日午前 情報教育館 3 階スタジオ型多目的講義室 (9:00~
12:35)
1. OFDM による可視光通信システムの研究
○原田 亮・戸川 真・村口正弘 (東京理科大)
2. 線路分岐型可変共振器を用いた 3 ビット周波数選択リコ
ンフィギャラブルバンドパスフィルタ 東 和宏・
○小林綾介・山尾 泰 (電通大)
3. 共振器並列型フィルタ合成による多モードフィルタ設計のた
めの外部 Q 値の計算方法 ○大平昌敬・馬 哲旺 (埼玉大)
4. 隣接チャンネル間電気干渉を抑制可能な波長選択スイッチ
(WSS) 用 MEMS ミラーアレイ ○碓氷光男・
内山真吾・橋本 悦・阪田知巳・下山展弘・葉玉恒一・
松浦伸昭・石井雄三・松浦 徹 (NTT)
5. 1 次元問題を用いたモーメント法, FDTD 法, 有限要素法の
電磁界解析教育用プログラム ○平野拓一・広川二郎・
安藤 真 (東工大)
6. 大規模 FDTD 解析を用いた航空機における無線 LAN 電波の
伝搬特性評価 ○木下真樹・日景 隆・野島俊雄 (北大)・
二ッ森俊一・河村暁子・米本成人 (電子航法研)
7. Computational Accuracy and Error Control of the Three
Dimensional Point Matching Method for Canonical Geometries
Shinichiro Ohnuki・○Kenichiro Kobayashi・
Tsuneki Yamasaki (Nihon Univ.)
8. 磁界共振型ワイヤレス電力伝送アンテナによる植込み型医療
機器 EMI の数値評価法 ○鈴木琢馬・河村由文・
日景 隆・野島俊雄 (北大)
- 27 日午後 情報教育館 3 階スタジオ型多目的講義室 (13:35~
15:15)
9. 関数展開法に基づくトポロジー最適化による波長分離デバイ
スの設計に関する検討 ○加藤 駿・
辻 寧英 (室蘭工大)・安井 崇・平山浩一 (北見工大)
10. フォトニック結晶微小共振器設計のための 3 次元ベクトル有
限要素法ソルバの開発 ○石坂雄平・齊藤晋聖・
小柴正則 (北大)
11. THz 帯 2D フォトニック結晶マイクロキャピティの縮退
モードとその応用 ○上地洋輔 (神奈川大)・
永岡直樹 (日東電工)・陳 春平・穴田哲夫 (神奈川大)・
武田重喜 (アテテ技研)・許 瑞邦 (神奈川大)
12. 減衰極を有する UWB バンドパスフィルタの理論設計
○陳 春平・小田純矢・上地洋輔・
穴田哲夫 (神奈川大)・馬 哲旺 (埼玉大)
- 27 日午前 高等教育推進機構 S 棟 2 階 S-12 教室 (9:00~12:35)
13. 隣接光パルス間位相を安定化した RZ/CS-RZ 光クロック 4
通倍回路—光フィルタの利用— ○大槻雅人・高間蓮成・
戸田裕之 (同志社大)
14. VCO を用いた周波数制御による RF 信号の高位相安定 RoF
配信 ○秋山智浩・松沢博史・安藤俊行・
平野嘉仁 (三菱電機)
15. 2 波長光ヘテロダイン方式を用いた光路長制御による伝送信
号安定化 ○原口英介・松沢博史・秋山智浩・
安藤俊行 (三菱電機)・宮村 良 (三菱電機特機システム)・
平野嘉仁 (三菱電機)
16. 光ファイバリンク広帯域アンテナを用いた電磁波シールド効
果測定 ○黒川 悟・飴谷充隆・廣瀬雅信 (産総研)
17. 関数展開法に基づくトポロジー最適化を用いた 3 次元光導波
路設計における初期構造の検討 ○木島涼輔・
安井 崇 (北見工大)・辻 寧英 (室蘭工大)・
平山浩一 (北見工大)
18. 関数展開法に基づくトポロジー最適化によるスローライト
フォトリック結晶導波路の設計と構造単純化に関する検討
○後藤裕之・辻 寧英 (室蘭工大)・安井 崇・
平山浩一 (北見工大)
19. 誘電体導波路を用いたクレッチマン型 SPR センサ
山内潤治・○吉村智哉・柴山 純・中野久松 (法政大)
20. マッハツェンダ干渉を用いた導波路型 SPR センサの数値解
析 柴山 純・○佐々木直紀・山内潤治・中野久松 (法政大)
- 27 日午後 高等教育推進機構 S 棟 2 階 S-12 教室 (13:35~15:20)
21. 2 次元導波路系の端面による円筒波の散乱
小見山 彰 (阪電通大)
22. 家屋塀で囲まれた住宅地交差点における 720 MHz 帯 FDTD
電波伝搬特性解析—2 次元及び 3 次元解析結果の比較—
○青山良輔・今井 卓・田口健治・柏 達也 (北見工大)
23. 曲線軌道の相対論的粒子が作る電磁場の数値計算法について
○柴田裕司・川口秀樹 (室蘭工大)
24. 高温超伝導体ウィグラー FEL の薄板近似電流ベクトルポテ
ンシャル法による着磁解析 ○飯田謙二・
川口秀樹 (室蘭工大)・榎本昌則 (北海道工大)
- ◆電気学会; 電磁界理論技術委員会連催. IEEE MTT-S Japan
Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S
Nagoya Chapter 協賛
- ☆EMT 研究会
- 【問合先】
安藤芳晃 (電通大)
E-mail: emt-secretary@ns.ieice.org
◎最新情報は, EMT 研究会ホームページを御覧下さい.
<http://www.ieice.org/emt/jpn/>
- ☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
8 月 8 日 (水)~10 日 (金) Chulalongkorn Univ. (Thailand)
〔締切済〕テーマ: RF, Microwave, and Millimeter-wave
Theory and Techniques
9 月 27 日 (木) KDDI 研 [7 月 10 日 (火)] テーマ: マイク
ロ波ミリ波, 一般
10 月 18 日 (木), 19 日 (金) 宇都宮大 [8 月 13 日 (月)]
テーマ: 学生研究会/マイクロ波一般
- 【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

鴨田浩和 (NHK)
TEL [03] 5494-3460, FAX [03] 5494-3208
E-mail : kamoda.h-ci@nhk.or.jp
加屋野博幸 (東芝)
E-mail : nisikawa@ieee.org

☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
8月23日(木), 24日(金) 東北大通研〔締切済〕テーマ:
光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般
10月25日(木), 26日(金) ホテルメリージュ (宮崎) [8
月13日(月)] テーマ: 超高速伝送・変復調・分散補償技
術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM 技術, 受
光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC 報告)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

小川憲介 (フジクラ)
〒285-8550 佐倉市七崎 1440
TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210
E-mail : kenogawa@lab.fujikura.co.jp
植之原裕行 (東工大)
〒226-8503 横浜市緑区長津田 4259 R2-43
TEL & FAX [045] 924-5038
E-mail : uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp
橋本俊和 (NTT フォニクス研究所)
〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1
TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365
E-mail : hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

◎OPE 研究会ホームページ
<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では, H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設し
ました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しま
すので, 積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会
HP を御覧下さい。

☆EST 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10月25日(木), 26日(金) 東北学院大多賀城キャンパス
[8月13日(月)] テーマ: シミュレーション技術, EMC,
一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

陳 春平 (神奈川大)
E-mail : est-entry@mail.ieice.org

☆MWP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
11月8日(木) 京都工繊大 [8月13日(月)]

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

戸田裕之 (同志社大)・川西哲也 (NICT)
E-mail : mwp-inquiry@mail.ieice.org

◎最新情報は, MWP 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~mwp/>

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏
幹事 馬渡宏泰・田村信幸
幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニケエフ

日時 7月27日(金) 14:00~16:20

会場 スマイルホテル苫小牧 (苫小牧市錦町 1-1-2. JR: 苫小牧
駅南口より徒歩約 8 分. <http://www.smile-tomakomai.com/>
TEL [042] 387-6262 田村信幸)

議題 信頼性理論, 通信ネットワークの信頼性, 信頼性一般

- カーネル法を用いたソフトウェア信頼性評価モデルの構築
奥村 圭・○岡村寛之・土肥 正 (広島大)
- 最適チェックポイント間隔の信頼区間推定 徳本俊介・
○土肥 正 (広島大)・ユン ワンヤン (釜山大)
- データレプリケーションにおける一貫性と信頼性の関係につ
いての考察 ○神田一平・新井雅之・
福本 聡 (首都大東京)
- 消費者視点に基づく FMEA 書式の研究—家電品の使用トラ
ブル防止のために— 益田昭彦 (帝京科学大)
- データセンター用空調システムの信頼性評価
○羽山広文 (北大)・渡邊 均 (東京理科大)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催 日本信頼性学会
協賛

◎研究会終了後, 懇親会を予定しておりますので是非御参加下さ
い。

☆R 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
8月23日(木), 24日(金) 東北大通研〔締切済〕テーマ:
光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般
10月19日(金) 九工大 [8月15日(水)] テーマ: 信頼性一
般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

田村信幸 (法政大)
TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126
E-mail : tamura@hosei.ac.jp

★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 中島 震 副委員長 結縁祥治
幹事 鷲崎弘宜・高田喜朗 幹事補佐 小林隆志

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正
幹事 猿渡卓也・植山淳雄 幹事補佐 糸野文洋・竹内広宜

日時 7月27日(金) 11:00~17:50

28日(土) 9:00~16:50

会場 公立はこだて未来大学 (函館市亀田中野町 116-2. [http://
www.fun.ac.jp/acces/index.html](http://www.fun.ac.jp/acces/index.html))

議題

27日午前

- アスペクト指向ワークフロー変換—オブジェクト指向ベトリ
ネットによるワークフロー表現への適用— 飯島 正 (慶大)
- Simulink モデルにおけるグラフに基づく非完全一致モデルク
ローン検出 ○鷲崎弘宜・村上真一・深澤良彰 (早大)

27 日午後

3. 例外イベント列の正常シナリオへの組み込み支援手法
大西 淳 (立命館大)
 4. UML 要求分析モデルとコモンクライテリアに基づくセキュリティ要求分析の統合手法
○野呂 惇 (芝浦工大)・小形真平 (信州大)・松浦佐江子 (芝浦工大)
 5. 多数決手法による Error Prone 予測手法の評価
○高橋利英・大西達也・小形真平・海谷治彦・海尻賢二 (信州大)
 6. エンドユーザ主導開発のためのビジネスロジックの定義方式の提案
中所武司 (明大)
 7. スーパーコンピュータ運用手順に対するディペンダビリティの確認手法の提案
○高間翔太・松野 裕・山本修一郎 (名大)
 8. エンタープライズ系システム開発で生産性を最大化するための TOC/CCPM 適用方法について—合流チェーン上の要員の稼働率向上により、全体の生産性向上を実現するマネジメントシステムの提案—
副島千鶴 (NTT ｱｰｸ)
- サーベイ・解説
9. アシユアランスケースへの構造化文書の適用に関する調査
○松野 裕・ヴァイセ バトゥ・山本修一郎 (名大)
 10. Research framework for dependability science based on assurance cases
○Vaise Patu・Yutaka Matsuno・Shuichiro Yamamoto (Nagoya Univ.)
 11. ディペンダビリティケース作成法に関する一考察
○山本修一郎・松野 裕 (名大)

28 日午前

1. ロールプレイ演習における学習者の行動とスキルとの関係分析
○立川結貴・丸山 広 (東京工科大)・高嶋章雄 (湘北短大)・中村太一 (東京工科大)
2. 細粒度プロジェクトモニタリングのための DaaS を利用したソフトウェア開発 PBL 支援環境の提案
○眞鍋雄貴・井垣 宏 (阪大)・福安直樹 (和歌山大)・佐伯幸郎 (高知工科大)・楠本真二・井上克郎 (阪大)
3. Alloy によるリポジトリマイニング向けドメイン専用言語の構築支援
○黄 長賛・中城亮祐・山下一寛・亀井靖高・久住憲嗣・鷲林尚靖 (九大)
4. プログラム構造の簡略化に基づくメソッド抽出リファクタリング支援
○佐々木 唯・石原知也・肥後芳樹・井垣 宏・楠本真二 (阪大)
5. ソフトウェアの機能に対応する実装構造の抽出と可視化手法の提案
○岡戸広史 (NTT)・林 晋平 (東工大)・大島剛志・岡田 敏・宮田俊介・星野 隆 (NTT)・佐伯元司 (東工大)
6. 動的解析を用いたコード移動リファクタリングの支援
○木村秀平・肥後芳樹・楠本真二 (阪大)

28 日午後 (13:10~)

7. On Extending Matching Operation in Grammar Programs for Program Inversion
○Minami Niwa・Naoki Nishida・Masahiko Sakai・Toshiki Sakabe・Keiichirou Kusakari (Nagoya Univ.)
 8. コメント記述量の増加傾向とフォールト潜在との関係に関する定量分析
○浅野遼平・阿萬裕久 (愛媛大)
 9. SMT による線形実数算術と有界集合の組み合わせに関する考察
○ヴァイテル フランツ・中島 震 (NII)
- 学生及び若手 (パラレルセッション: 実装) (14:50~16:50)

10. 配列の次元を考慮した大域ロード命令集約
○澄川靖信・滝本宗宏 (東京理科大)
 11. サブシステム境界情報に着目した Simulink モデルの構造評価手法
○小林孝壽 (名大)・久保孝行 (アイソ AW)・小林隆志・阿草清滋 (名大)
 12. スライスに基づく凝集度を用いて自動分割を行うプログラム理解支援手法
○平山力地・吉田則裕・飯田 元 (奈良先端大)
 13. Objective-C による文脈指向プログラミングの実現手法
○鈴木将哉・渡部卓雄 (東工大)
- 学生及び若手 (パラレルセッション: 設計他) (14:50~16:50)
14. ユースケース記述における初学者特有の問題点への系統的な改善方法
○松井駿介・奥田博隆・式見 遼・野呂 惇・岡田康治 (芝浦工大)・小形真平 (信州大)・松浦佐江子 (芝浦工大)
 15. 画面トレースの解析による web アプリケーションのユースケース再構築手法の提案
○及川 翔・神谷年洋 (はこだて未来大)
 16. エンタープライズアーキテクチャ開発プロセスに対するディペンダビリティケース作成法の提案
○徳野達也・山本修一郎・松野 裕 (名大)
 17. ModularGSN の定式化
○猿渡卓也 (名大/NTT)・松野 裕 (名大)・星野 隆 (NTT)・山本修一郎 (名大)

☆SS 研究会

【問合先】

鷲崎弘宜 (早大)

TEL & FAX [03] 5286-3272

E-mail: washizaki@waseda.jp

○最新の情報は SIGSS 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.washi.cs.waseda.ac.jp/sigss/>

☆KBSE 研究会

【問合先】

松浦佐江子 (芝浦工大)

E-mail: matuura@se.shibaura-it.jp

○最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三

幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 吉本雅彦 副委員長 山村 毅

幹事 松岡俊匡・竹内 健

幹事補佐 渡辺 理・大内真一・土谷 亮

日時 8月2日 (木) 9:10~18:50

3日 (金) 9:00~16:45

会場 札幌市男女共同参画センター大研修室 (札幌市北区北 8 条

西 3 丁目札幌エルプラザ内。JR 札幌駅北口より徒歩 5 分。

<http://www.danjo.sl-plaza.jp/>)

議題 低電圧/低消費電力技術, 新デバイス・回路とその応用

2 日午前 低電圧・高信頼 SRAM

1. プロセスばらつきを考慮した低電圧混合連想度キャッシュ構造
○鄭 晋旭・中田洋平・奥村俊介・川口 博・

- 吉本雅彦 (神戸大)
2. 読出しビット線リミット機構を備えた 40-nm 256-Kb サブ
10 pJ/access 動作 8 T SRAM ○吉本秀輔・寺田正治・
梅木洋平・奥村俊介 (神戸大)・川澄 篤・鈴木利一・
森脇真一・宮野信治 (半導体理工学研究センター)・川口 博・
吉本雅彦 (神戸大)

3. SRAM セル安定性の一括ポストファブ리케이션自己修復
技術 ○クマール アニール・更屋拓哉 (東大)・
宮野信治 (半導体理工学研究センター)・平本俊郎 (東大)

低電圧・低消費電力デジタル回路

4. [依頼講演] エネルギー効率からみたパワーゲーティングと
DVFS の比較 ○井上淳樹・吉田英司 (富士通研)
5. 省エネ組み込みヘテロジニアス・マルチコア・プロセスサ
COOL Chip の消費電力評価 ○萩本有哉・内田裕之・
大森貴志・日比康守・松本祐教 (トプシステムズ)・居村史人・
渡辺直也・菊地克弥・鈴木基史・仲川 博・
青柳昌宏 (産総研)
6. [招待講演] 0.5 V 動作低エネルギー回路と応用
篠原尋史 (半導体理工学研究センター)

2 日午後 SOI テクノロジー

7. [依頼講演] 超低電力 LSI を実現する薄膜 BOX-SOI
(SOTB) CMOS 技術 ○杉井信之・岩松俊明・
山本芳樹・横山秀樹・角村貴昭・青野英樹・尾田秀一・
蒲原史朗・山口泰男 (LEAP/ルネサスエレクトロニクス)・水谷朋子・
平本俊郎 (東大)
8. 完全空乏型 Silicon-on-Thin-BOX (SOTB) MOS トランジスタ
におけるドレイン電流ばらつき ○水谷朋子 (東大)・
山本芳樹・横山秀樹・角村貴昭・岩松俊明・尾田秀一・
杉井信之 (LEAP)・平本俊郎 (東大)
9. 10 nm 径トライブゲートナノワイヤ MOSFET における高電界
輸送特性向上と薄 BOX による閾値調整 ○太田健介・
齋藤真澄・田中千加 (東芝)・内田 健 (東工大)・
沼田敏典 (東芝)

三次元集積

10. 3 次元積層 LSI システムに向けた超並列通信バス方式による
チップ間インターコネクト技術 ○居村史人・根本俊介・
渡辺直也・加藤史樹・菊地克弥・仲川 博・
青柳昌宏 (産総研)・萩本有哉・内田裕之・大森貴志・
日比康守・松本祐教 (トプシステムズ)
11. 三次元積層 LSI チップにおける基板ノイズの層間評価
○高木康将・荒賀佑樹・永田 真 (神戸大)・
Geert Van der Plas・Jaemin Kim・Nikolaos Minas・
Pol Marchal・Michael Libois・Antonio La Manna・
Wenqi Zhang・Julien Ryckaert・Eric Beyne (IMEC)

不揮発メモリ

12. [招待講演] システム LSI 混載用 STT-MRAM の高性能化
と BEOL へのインテグレーション ○杉井寿博・
射場義久・青木正樹・能代英之・角田浩司・畑田明良・
中林正明・山崎裕一・高橋 厚・吉田親子 (LEAP)
13. 4F2 のポリシリダイオードで駆動する微細化に優れた 3D
チェーンセル型相変化メモリ ○木下勝治・笹子佳孝・
峯邑浩行・安齋由美子・田井光春・藤崎芳久・草場壽一・
森本忠雄・高濱 高・峰 利之・島 明生・與名本欣樹・
小林 孝 (日立)
14. 擬似スピン MOSFET を用いた不揮発性 SRAM のスタ
ティックノイズマージンとパワーゲーティング性能

- 周藤悠介・山本修一郎・菅原 聡 (東工大)
15. 積層型 Chain 構造 PRAM を用いた読出し方法
○加藤 翔・渡辺重佳 (湘南工科大)

パネル討論

16. 低電力 LSI 技術によるエレクトロニクス産業発展への道
オーガナイザ: 石橋孝一郎 (電通大)
モデレータ: 内山邦男 (日立)
パネリスト: 篠原尋史 (半導体理工学研究センター)・杉井寿博・
梶田明広・杉井信之 (LEAP) 他

3 日午前 先端テクノロジー

1. 低電力トンネル型トランジスタを用いたシステム LSI/メモ
リの設計法 ○鈴木良輔・渡辺重佳 (湘南工科大)
2. [招待講演] ナノカーボン配線—微細金属配線代替を目指し
て— ○梶田明広・和田 真・斎藤達朗・北村政幸・
山崎雄一・片桐雅之・伊東 伴・西出大亮・松本貴士・
磯林厚伸・鈴木真理子・坂田敦子・渡邊勝仁・佐久間尚志・
酒井忠司 (LEAP)
3. [招待講演] ドライブ・バイ・マイクロウェーブ技術を用いた
絶縁型ゲート駆動回路 ○永井秀一・河井康史・
大塚信之・上田大助 (パナソニック)

エネルギーハーベスティング・電源・ドライブ

4. [招待講演] バースト毎の省電力化機能を備えた 10G-EPON
用バーストモードレーザーダイオードドライバ IC
○小泉 弘・富樫 稔・野河正史・大友祐輔 (NTT)
5. [招待講演] 圧電フィルムによるエネルギーハーベスティング
と 2 V 有機トランジスタ回路を搭載した靴の中敷き型万歩
計 石田光一・黄 ツン靖・本田健太郎・篠塚康大・
更田裕司・横田知之 (東大)・ツイーシャング ウテ・
クラーク ハーゲン (マックスプランク研)・
グレゴリー トルティシエ・関谷 毅・○高宮 真・
年吉 洋・染谷隆夫・桜井貴康 (東大)

3 日午後 (13:10~)

6. 薄膜 MOS トランジスタを用いた 40 nm CMOS 高速応答デジ
タル LDO レギュレータ ○小野内雅文・大津賀一雄・
五十嵐康人・池谷豊人・森田貞幸 (ルネサスエレクトロニクス)・
石橋孝一郎 (電通大)・柳沢一正 (ルネサスエレクトロニクス)
7. 0.45-V input higher than 90% efficiency buck converter with
on-chip gate boost ○Xin Zhang・
Po-Hung Chen (Univ. of Tokyo)・
Yoshikatsu Ryu (STARC)・Koichi Ishida (Univ. of Tokyo)・
Yasuyuki Okuma・Kazunori Watanabe (STARC)・
Takayasu Sakurai・Makoto Takamiya (Univ. of Tokyo)
8. [招待講演] 大容量非接触メモリカードのための高効率, 高
速応答, 低 EMI 無線給電回路 ○石黒仁揮・篠田亮太・
富田和寿・長谷川雄哉 (慶大)

アナログ・無線技術

9. [招待講演] 357 Mb/s スループットを実現する 1 V 90 nm
TransferJet (TM) 向け SoC ○田村昌久・近藤史隆・
渡部勝己・青木泰憲・四戸雄介・内野浩基・橋本有平・
西山文浩・宮地宏明 (ソニー)・永瀬郁穂・上蘭 格・
寿村理恵 (ソニーセミコンダクタ)・前川 格 (ソニー)
10. 多相発振器による適応パルス幅制御を用いた低電圧・高速磁
界結合通信機 ○浦野雄貴・松原岳志 (慶大)・
林 勇 (半導体理工学研究センター)・アブル ハサン ジョハリ・
小平 薫・徐 照男・黒田忠広・石黒仁揮 (慶大)
11. 38 μ W の間欠サンプリング受信回路と 52 μ W の F 級送信回

路を備えたオール 0.5 V 動作の 1 Mbps, 315 MHz 帯無線トランシーバ

○井口俊太 (東大)・

齋藤 晶 (半導体理工学研究センター)・本田健太郎・

鄭 雲飛 (東大)・渡辺和紀 (半導体理工学研究センター)・

桜井貴康・高宮 真 (東大)

12. タイミング最適化非同期クロック生成器を搭載した 40 nm 超低電圧 SAR ADC

○関本竜太・志方 明・

吉岡健太郎・黒田忠広・石黒仁揮 (慶大)

◆IEEE SSCS Japan/Kansai Chapter 共催

◎2日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆ICD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月13日(月)~15日(水) ダナン [締切済] テーマ:2012年ベトナム ICD 研究会 (ICDV 2012)

9月6日(木), 7日(金) 福井大 [未定] テーマ:第4回アクセラレーション技術発表討論会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

大内真一 (産総研)

TEL [029] 861-5068, FAX [029] 861-5170

E-mail: shinichi.ouchi@aist.go.jp

☆SDM 研究会

【問合せ先】

松田敏弘 (富山県立大)

TEL [0766] 56-7500, FAX [0766] 56-6172

E-mail: matsuda@tpusv.pu-toyama.ac.jp

——東北支部における開催——

★アドホックネットワーク研究会 (AN)

専門委員長 松井 進 副委員長 渡辺 尚・村田英一

幹事 山野 悟・山本高至 幹事補佐 大和田泰伯・門田和也

日時 7月13日(金) 10:00~16:50

会場 岩手県立大学アイーナキャンパス学習室1 (盛岡市盛岡駅西通 1-7-1. いわて県民情報交流センター (アイーナ) 7F. JR 盛岡駅より徒歩 4分. <http://www.aiina.jp/access/access.html> TEL [019] 606-1770 柴田義孝)

議題

- 無線 LAN システムにおける基地局連携受付制御・チャンネル選択のゲーム理論的解析 ○花田光平・山本高至 (京大)・石原浩一・工藤理一 (NTT)・守倉正博 (京大)
- MAC Protocol for Smart-antenna-used Ad hoc Network without RTS/CTS handshake by using Pulse/Tone exchange ○Jing MA・Hiroo Sekiya・Nobuyoshi Komuro・Shiro Sakata (Chiba Univ.)
- 固定バックオフを用いた CSMA/CA 拡張方式のユーザ指向 QoS 制御に関する一検討 ○岸田 朗・岩渕匡史・新宅俊之・阪田 徹 (NTT)
- 予約付きランダムスロット選択 CSMA/CA 方式におけるスロット長に関する検討 ○田村直哉・間瀬憲一 (新潟大) 午後 (13:10~)
- 〔招待講演〕 IEEE802.15 WPAN 標準化の最新動向と考察 李 還帮 (NICT)
- 〔招待講演〕 ITS における無線通信の最新動向一車々間通信

第一種研究会開催案内

を代表とする ITS の現状と展望— 浜口雅春 (OKI)

7. 〔招待講演〕 東日本大震災における情報通信ネットワークの状況と今後必要とされる技術 柴田義孝 (岩手県立大)

8. 行動と通信の連携を考慮した災害時行動及び安否確認の再現 ○大和田泰伯・井上真杉・三浦 龍・原井洋明・

辻 宏之 (NICT)

9. アドホックネットワークによる端末共同干渉キャンセル

○村田英一・吉田 進 (京大)

☆AN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月17日(水)~19日(金) 福岡大 [8月10日(金)] テーマ:無線分散ネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

山本高至 (京大)

TEL [075] 753-5351, FAX [075] 753-4982

E-mail: kyamamoto@i.kyoto-u.ac.jp

大和田泰伯 (NICT)

TEL [042] 327-7314, FAX [042] 327-6680

E-mail: yowada@nict.go.jp

◎最新情報は AN 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/an/>

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳

幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

★ユビキタス・センサネットワーク研究会 (USN)

専門委員長 佐藤良明 副委員長 大槻知明・上原秀幸

幹事 荒川 豊・中澤 仁 幹事補佐 内田大誠・猿渡俊介

◎本研究会は NS 研究会と RCS 研究会, USN 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 7月19日(木) 8:50~18:25

20日(金) 9:00~17:05

会場 岩手大学工学部キャンパス盛岡市産学官連携研究センター (コラボ MIU) (盛岡市上田 4-3-5. JR 盛岡駅東口バスターミナル 11 番乗り場からバスで駅上田線の「松園バスターミナル」行き「上田四丁目 (NHK 前)」下車 (約 15 分) ([http://www.iwatekenkotsu.co.jp/rosen-jikoku/morioka/eki-ueda\(heijitsu-eki1\).pdf](http://www.iwatekenkotsu.co.jp/rosen-jikoku/morioka/eki-ueda(heijitsu-eki1).pdf)), または駅米内団地線の「桜台団地」行き「工学部東口」下車 ([http://www.iwatekenkotsu.co.jp/rosen-jikoku/morioka/eki-sakuradai\(eki\).pdf](http://www.iwatekenkotsu.co.jp/rosen-jikoku/morioka/eki-sakuradai(eki).pdf)) 徒歩 2 分. <http://www.iwate-u.ac.jp/campusannai/ueda2.shtml> TEL [019] 621-6945 本間尚樹)

議題 有線/無線シームレスネットワーク, ハンドオーバー, リレー, 分散 MIMO, モバイル・アドホックネットワーク, ユビキタス・センサネットワーク, 一般

19日午前

告 21

RCS-1. 干渉ノードを考慮した物理層ネットワークコーディング
プロトコルに関する一検討 ○福井洋則・
四方博之(関西大)・ベーター ポポフスキー(オレゴン大)

RCS-2. フレーム長変調に基づいた省電力無線 LAN 用ウェイク
アップ方式に対する隠れ端末の影響 ○麻田佑磨・
四方博之(関西大)

RCS-3. フェージングを考慮した同時送信アクセス制御に関する
検討 ○岩淵匡史・岸田 朗・新宅俊之・阪田 徹(NTT)

RCS-4. 無線 LAN システムにおけるグループ内集中制御型媒体
アクセス制御方式に関する一検討 ○三島拓也・
宮本伸一・三瓶政一(阪大)・姜 聞杰(NTT)

USN-5. 複数ドップラーセンサを用いた転倒検知
○富井翔一郎・大槻知明(慶大)

USN-6. PID Controller for Temperature Control in Cyber-
physical Home System ○Shein Waiwai・Tan Yasuo・
Lim Azmanosman(JAIST)

USN-7. Model Based Human Activity Classification using
Doppler Sensor with Support Vector Machine
○Franck Dirhold・Tomoaki Ohtsuki(Keio Univ.)

USN-8. ベイジアンネットワークを有するリレーショナルスト
リームデータ処理の高速化に関する一検討
川島英之(筑波大)

19 日午後(13:20~)

RCS-9. LTE-Advanced 下りリンクにおけるアウトグループし
き値制御を用いる AMC を適用した場合の 4-by-2 MU-
MIMO のユーザペア選択に関するスループット実験評価

○齊藤敬佑・柿島佑一・川村輝雄・岸山祥久(NTT ドコモ)・
田岡秀和(ドコモ欧州研)・安藤英浩(NTT ドコモ)

RCS-10. 基地局間インタフェースを用いた複数基地局間協調干
渉制御に関する検討 ○緒方大悟・長手厚史・
藤井輝也(ソフトバンクモバイル)

RCS-11. セル再選択を用いた LTE 基地局間負荷分散手法の検討
○山本俊明・小西 聡(KDDI 研)

RCS-12. セル間干渉コーディネーションを用いたヘテロジニア
スネットワーク下りリンクにおける自立分散型接続セル選択
法 ○小泉鉄之祐・樋口健一(東京理科大)

NS-13. 無線 LAN におけるビース分割とオーバヒアリングによ
る冗長トラフィック削減方式の異なる通信環境での評価
○横瀬広明・大坐島 智・加藤聰彦(電通大)

NS-14. コグニティブ無線車両ネットワークに適したトランス
ポートプロトコルの提案と評価 ○木場 俊・塚本和也・
鶴 正人・尾家祐二(九工大)

ブロードバンドモバイル環境の進展と無線技術及びネットワー
ク/情報処理システムへのインパクト

共通-15. [招待講演] IEEE 802.11 無線 LAN の現在と未来
守倉正博(京大)

共通-16. [チュートリアル招待講演] 大規模データの分析によ
る業務効率化の取組み ○撫中達司・今村 誠・
菅野幹人(三菱電機)・北上真二(三菱電機 ビジネス)

共通-17. [招待講演] 新児童見守りシステム(C-Shuttle)の概
要と課題 青木史郎(NTT コミュニケーションズ)

20 日午前

RCS-1. A Cooperative MAC-Based Protocol for Blacklisting in
Network Coded Networks ○Juan Camilo Corena・
Tomoaki Ohtsuki(Keio Univ.)

RCS-2. 上りリンク SC-FDMA 協調 AF リレーにおけるスケ

ジューリングに関する検討 ○岩田隆芳・木村和裕・
宮崎寛之・小原辰徳・安達文幸(東北大)

RCS-3. Reduced Complexity Secure Cooperative Compressive
Spectrum Sensing for Cognitive Radio Applications

○Mohammed Farrag(E-JUST Univ.)・
Mostafa El-Khamy(Alexandria Univ.)・

Osamu Muta(Kyushu Univ.)・

Mohamed El-Sharkawy(E-JUST Univ.)・

Hiroshi Furukawa(Kyushu Univ.)

USN-4. Sensus: Human as a Sensor サービス構築支援ツール
○井村和博・中澤 仁・徳田英幸(慶大)

USN-5. AIS データの蓄積・分析のための地理情報システムブ
ラットフォームの提案 ○白石 陽・武田一樹・
中村嘉隆・高橋 修(公立はこだて未来大)

USN-6. オンデマンド型電力制御システムのための蓄電池設計
と充放電管理 ○田村健人・加藤丈和・松山隆司(京大)

20 日午後(A 会場)(13:00~17:05)

RCS-7. 分散アンテナネットワーク型アンテナ配置のときの適応
的干渉許容制御を用いた階層型 BD 法の特性

○大島佑介(東京理科大)・

ベンジャブール アナス(NTT ドコモ)・樋口健一(東京理科大)

RCS-8. Wireless Interference in MIMO Channels: An Adversity
Made An Advantage ○Oussama Souihli・
Tomoaki Ohtsuki(Keio Univ.)

RCS-9. セルラ MIMO 下りリンクにおけるランダムビーム
フォーミングとビーム内 SIC を用いた非直交多元接続法

○樋口健一(東京理科大)・岸山祥久(NTT ドコモ)

RCS-10. 11 GHz 帯における屋内 MIMO マルチリンク伝搬測定
○小西洋平・張 裕淵・金 ミンソク・丸一雄大・
ファム フェ ヴァン・高田潤一(東工大)

RCS-11. マルチユーザ MIMO 実験システムによるアンテナ配置
と伝送特性に関する一検討 ○谷口真人・村田英一・
吉田 進・山本高至(京大)・梅原大祐(京都工繊大)・

田野 哲(岡山大)・守倉正博(京大)

RCS-12. 超小型センサーノード実現に向けた無線送信機構成法
○松永賢一・大嶋尚一・原田 充(NTT)

RCS-13. ベースバンド AGC を備えたマルチバンド MIMO 受信
機における RF 回路の不完全性推定法

○大田智也(京大)・田野 哲(岡山大)・守倉正博(京大)

RCS-14. タイミング回路における k 次 PSD のジッターへの影響
○安部大介・若林 勇・佐野雅敏(東京理科大)

RCS-15. Low-PAPR Transmit Filter based on Minimization of
Instantaneous Transmit Power Variation for Single-Carrier
Transmission ○Amnart Boonkajay・

Tatsunori Obara・Tetsuya Yamamoto・

Fumiyuki Adachi(Tohoku Univ.)

20 日午後(B 会場)(13:00~15:40)

NS-16. 無線マルチホップネットワークにおける負荷分散型ゲ
トウェイ選択方式の性能評価 ○藤原俊輔・山下悠歩・
山本 幹(関西大)

NS-17. Underwater Sensor Network における位置推定とルーチ
ングの一体化手法 ○平井聡士・谷川陽祐・
戸出英樹(阪府大)

NS-18. 重畳されたセンサネットワークのための共有ノードを用
いた協調ルーチング ○井上夏樹(阪大)・
谷川陽祐(阪府大)・木下和彦(阪大)・

戸出英樹 (阪府大)・村上孝三 (阪大)

USN-19. スマートフォンを用いる家電操作プラットフォームの提案と基本実証—ネットワークリモートコントロールユニットの設計と開発—

○秋山征己・白井宏幸・五百蔵重典・田中 博・山本富士男 (神奈川工科大)

USN-20. CoretexM4F を利用した MAD-SS を実現するための FFT 実装

○澤田直哉・瀬川典久・澤本 潤・杉野栄二 (岩手県立大)

USN-21. A Self-Organized Routing ID Group-Based Multipath Routing for Ad Hoc Networks

Tomoya Okazaki・Mario Takeuchi・Eitaro Kohno・Yoshiaki Kakuda・Pyung-Hwa Kim (Hiroshima City Univ.)

◎19日の研究会終了後、懇親会を予定していますので是非御参加下さい。

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月20日(木), 21日(金) 東北大 [7月16日(月)] テーマ:ポストIPネットワークング, 新世代ネットワーク, ネットワークモデル, インターネットトラヒック, TCP/IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW 安全性及び一般

10月11日(木), 12日(金) 京大 [未定] テーマ:ネットワークアーキテクチャ (オーバレイ, P2P, ユビキタス NW, スケールフリー NW, アクティブ NW, NGN・新世代 NW), 次世代パケットトランスポート (高速 Ethernet, IP over WDM, マルチサービスパケット技術, MPLS), グリッド, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は, NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月30日(木), 31日(金) 高知市文化プラザかるぼーと [締切済] テーマ:移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

10月17日(水)~19日(金) 福岡大 [8月10日(金)] テーマ:無線分散ネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

ベンジャブール アナス (NTT ドコモ)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

◎最新情報は, RCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/rcs/jpn/>

☆USN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月17日(水)~19日(金) 福岡大 [8月10日(金)] テーマ:無線分散ネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

第一種研究会開催案内

荒川 豊 (NTT)・中澤 仁 (慶大)

E-mail: usn-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は, USN 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~usn/index.html>

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学

幹事 杵渕哲也・山元規靖 幹事補佐 茂木 学

日時 7月19日(木) 15:00~16:00

20日(金) 9:30~10:30

会場 花ごころの湯新富亭 (宮城郡松島町松島字垣ノ内 38-1.
http://www.hotel-shintomi.co.jp/access_map.html)

議題 情報のシステム間流通と信頼性, ライフログ活用技術, オフィス情報システム, 一般

19日 ライフログ

1. 日常体験のログの構造化と共有に関する検討

寺岡照彦 (ヤフー)

2. MAD-SS センサネットワークを利用した鳥のトラッキングシステムの構築—カラスのライフログ—

○瀬川典久・

澤本 潤 (岩手県立大)・東 淳樹・高橋広和 (岩手大)・

時田健一・藤永清和・矢澤正人・玉置晴郎 (数理研)

20日 ログ検索とユーザ認証

1. 電話会話ログ検索向け距離マトリクス画像からの直線検出法

○西 宏之・横林優貴・柿木稔男・木村義政 (崇城大)

2. ユーザ認証のための2次元カラーコード読み取り特性の改善について

○山元規靖・若原俊彦 (福岡工大)

◎19日 16:15~17:15, 20日 10:45~12:25 情報処理学会; デジタルドキュメント研究会併催

☆LOIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月27日(月), 28日(火) 山口大吉田キャンパス [締切済]

テーマ:マルチメディア通信/システム, ライフログ活用技術, IP 放送/映像伝送, メディアセキュリティ, 一般

【問合先】

山元規靖 (福岡工大情報工学部)

〒811-0295 福岡市東区和白東 3-30-1

FAX [092] 606-0758

E-mail: nori@fit.ac.jp

★医用画像研究会 (MI)

専門委員長 佐藤嘉伸 副委員長 清水昭伸・森 健策

幹事 河田佳樹・菅 幹生 幹事補佐 原口 亮・北坂孝幸

日時 7月19日(木) 11:00~17:20

20日(金) 8:50~16:10

会場 山形大学工学部米沢キャンパス (米沢市城南 4-3-1. JR 米沢駅からタクシーで10分 (約1,200円). <http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/> TEL [0238] 26-3324 湯浅哲也)

議題 脳機能計測の新展開

19日午前 一般セッション

1. ピンホールを用いた3次元蛍光X線CTの原理実験

○砂口尚輝 (高エネルギー加速器研究機構)・湯浅哲也 (山形大)・

兵藤一行 (高エネルギー加速器研究機構)・

銭谷 勉 (国立循環器病研究センター)

2. 2 波長分光分析に起因する低光量下での血管検出法及びスケール分類法に関する検討 ○吉永幸靖・中村大輔・岡田龍雄・江内田 寛・石橋達朗 (九大)

19 日午後 招待講演セッション (13:30~)

3. [招待講演] 脳組織活性モニターへの OCT 応用の研究
佐藤 学 (山形大)

テーマセッション

4. 脳画像解析における画像歪みの影響調査とその補正
○舞草伯秀 (精神神経センター)・田中健一郎・千田哲子 (バネ組合)・松井博史 (マイクロ)・佐藤典子・松田博史 (精神神経センター)・岩坪 威 (東大)・Japanese Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative (ジェイアドナー)

5. 変形マトリクス解析を用いた脳形態個人差の検出
○佐藤和則・呉 凱・福田 寛 (東北大)

6. ROI 情報を活用するベイズ推定による動脈採血不要な PET 画像動態データの雑音除去 ○小澤孝弘・本谷秀堅 (名工大)・坂口和也 (北里大)・坂田宗之 (東京都健康長寿医療センター)・木村裕一 (放射線医学総研)

招待講演セッション

7. [招待講演] 7T-MRI による脳機能イメージング
工藤興亮 (岩手医科大)

20 日午前 一般セッション

1. 胸部マルチスライス CT 画像における葉間裂抽出法
○松廣幹雄・鈴木秀宣・河田佳樹・仁木 登・原田雅史 (徳島大)・中野恭幸・小川恵美子 (滋賀医科大)・室 繁朗・三嶋理晃 (京大)・大松広伸 (国立がん研究センター東病院)・森山紀之 (国立がん研究センター)

2. 半教師付学習を用いたびまん性肺疾患画像の認識
○和田大義・庄野 逸 (電通大)

3. MRF と DP を用いた大腸 NBI 内視鏡動画の時系列ラベリング
○平川 翼・玉木 徹 (広島大)

4. 統計予測を組み合わせた階層的マルチアトラス法に基づく股関節 CT 画像からの個別筋肉・筋肉群領域の自動抽出—学習データ数と抽出精度に関する実験的研究—
○高谷美都・横田 太 (神戸大)・岡田俊之・高尾正樹・菅野伸彦 (阪大)・多田幸生 (神戸大)・富山憲幸・佐藤嘉伸 (阪大)

5. 病変検出用画素識別処理の追加学習に関する検討—学習サンプル選択と検出精度との関係について— ○野村行弘・根本充貴・増谷佳孝・花岡昇平・三木聡一郎・吉川健啓・林 直人・大友 邦 (東大)

6. 多クラス AdaBoost を用いた腹部静脈領域に対する解剖学的名称自動対応付け手法 ○松崎哲朗・小田昌宏 (名大)・北坂孝幸 (愛知工大)・三澤一成 (愛知県がんセンター)・森 健策 (名大)

20 日午後 招待講演セッション

7. [招待講演] コンピュータビジョンによる画像メディアの可能性の拡張
出口光一郎 (東北大)

一般セッション

8. 統計モデルを組み込んだ Non-rigid Robust ICP の性能評価
○矢口雄貴・松野高道・本谷秀堅 (名工大)

9. An Efficient Volumetric Global Image Registration
Shuang Lu (Chiba Univ.)・Tomoya Sakai (Nagasaki Univ.)・

○Atsushi Imiya (Chiba Univ.)

10. 臓器表面の複数領域の統計モデルに基づく非剛体位置合わせ
○恒川優人・澤田好秀・本谷秀堅 (名工大)

11. 医用画像のための高精度対応付けに基づく位置合わせ手法の検討—X 線画像からボリュームデータまで—

○伊藤康一・田島裕一郎・青山章一郎・青木孝文 (東北大)

【問合先】

医用画像研究会世話人

E-mail: mi-submit@mail.ieice.org

上記で連絡がつかないとき

北坂孝幸 (愛知工大情報科学部)

TEL [0565] 48-8121 (内線 2423), FAX [0565] 48-0509

E-mail: kitasaka@aitech.ac.jp

★音声研究会 (SP)

専門委員長 速水 悟 副委員長 河井 恒

幹事 森 大毅・鈴木基之 幹事補佐 藤本雅清・大谷大和

日時 7 月 19 日 (木) 14:30~17:30

20 日 (金) 9:00~16:30

21 日 (土) 10:00~12:30

会場 天童温泉滝の湯 (天童市鎌田本町 1-1-30. JR 天童駅から徒歩 15 分. <http://www.takinoyu.com/>)

議題 認識, 理解, 対話, 一般

19 日 システム (14:30~15:00)

1. Automatic pronunciation error detection of Chinese using SVM with structural features ○Tongmu Zhao・Masayuki Suzuki・Minematsu Nobuaki・Keikichi Hirose (Univ. of Tokyo)

畑岡信夫先生追悼企画 (17:00~17:30)

20 日午前 オーガナイズドセッション: マルチモーダル情報によるコミュニケーション環境理解 (9:00~11:00)

1. [招待講演] Smart Posterboard: ポスター会話のマルチモーダルなセンシングと認識 河原達也 (京大)

2. [招待講演] 複数人会話シーン分析の研究と今後の展望
○堀 貴明・荒木章子・大塚和弘・中谷智広・中村 篤・大和淳司 (NTT)

オーガナイズドセッション: マルチモーダル情報によるコミュニケーション環境理解 (12:00~12:30)

3. 画像を手がかりとした時間的に適応可能な雑音推定による音声認識精度の向上に関する研究 ○藤林一師・今村弘樹 (創価大)

20 日午後 音声入力・区間検出 (14:00~14:30)

4. 音声と騒音の密度比推定を用いた音声区間検出法
○太刀岡勇気・花沢利行・成田知宏・石井 純 (三菱電機)
話者・分析・合成 (16:00~16:30)

5. 顔画像を用いた個人識別による話者適応型音声認識手法
○原 信一・今村弘樹 (創価大)

21 日午前 雑音下音声認識 (10:00~10:30)

1. 雑音環境下における静的・動的情報を用いた音響モデル適応
○田村哲嗣・速水 悟 (岐阜大)
高精度音声認識 (12:00~12:30)

2. Deep Learning に基づく音声特徴量の有限状態トランスデューサ型識別モデルによる識別 ○久保陽太郎・堀 貴明・中村 篤 (NTT)

◎会場ホテルにおいて宿泊形式で行われます。参加御希望の方は、事前に情報処理学会；音声情報処理研究会のページ (<http://sig-slp.jp/2012-SLP-92.html>) から、参加申込みをお願いします。

◎情報処理学会；音声言語情報処理研究会と合同で行います。そちらのプログラム (<http://sig-slp.jp/2012-SLP-92.html>) も御参照下さい。

【問合先】

鈴木基之 (阪工大)

E-mail: moto@m.ieice.org

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 阪井和男 副委員長 近藤公久・佐良木 昌
幹事 黒田 航・久保村千明 幹事補佐 横野 光・乾 孝司

日時 7月21日(土) 13:00~17:00
22日(日) 10:00~16:00

会場 山形大学小白川キャンパス基盤教育棟 (山形市小白川町
1-4-12. <http://www.yamagata-u.ac.jp/jpn/you/modules/commom14/index.php?id=4#koji> 小泉有紀子)

議題 人間の言語処理と学習

21日 思考と言語一般

1. こどもは賢い小さな翻訳家—言語による情報交換の基本構図について考える— 岩垣守彦 (ワリ)
2. 日本語における表層・深層照応文の処理過程について—事象関連電位を用いた研究— ○伊藤益代 (福岡大)・矢野雅貴・備瀬 優・立山 憂・坂本 勉 (九大)
3. 習熟度の異なる日本人英語学習者による英文理解過程
○横山 悟 (東北大)・エマニユエル マナロ・田中エリス伸枝 (早大)・高橋 慶・橋爪 寛・ジョン ヒョンジョン・川島隆太 (東北大)

言語と学習 (ポスター)

4. [ポスター講演] 小児における外国語発音能力と外国語音産出に関わる脳活動の発達の変化の関係 ○橋爪 寛・瀧 靖之・佐々祐子・ティロー バンジャマン・浅野路子・浅野孝平・竹内 光・野内 類・事崎由佳・ジョン ヒョンジョン・杉浦元亮・川島隆太 (東北大)
5. [ポスター講演] 「たとえ-ても」文の処理について—事象関連電位を指標として— ○立山 憂・備瀬 優・矢野雅貴・坂本 勉 (九大)
6. [ポスター講演] 文法的アスペクトの処理過程—日本語母語話者を対象としたERP計測実験の結果から—
○龍 盛艶・里 麻奈美・酒井 弘 (広島大)
7. [ポスター講演] The cognitive representation of giving and receiving verbs—Evidence from eye-tracking study—
○Manami Sato・Shengyan Long・Hiromu Sakai (Hiroshima Univ.)
8. [ポスター講演] When is the object relative clause processed easier than the subject relative clause?
○Atsushi Sato (Nanzan Univ.)・Baris Kahraman (Canakkale Univ.)・Hiromu Sakai (Hiroshima Univ.)

22日午前 文処理

1. Expectations and gap preference in the comprehension of Japanese relative clauses

第一種研究会開催案内

○Michiko Nakamura (Future Univ.)・Edson T. Miyamoto (Univ. of Tsukuba)

2. Preservation of the Initial Analysis in Absence of Pragmatic Inference with Japanese Relative Clause Sentences
○Chie Nakamura (Keio Univ.)・Manabu Arai (Univ. of Tokyo)
3. Priming of branching structure in comprehension
○Manabu Arai・Yuki Hirose (Univ. of Tokyo)・Chie Nakamura (Keio Univ.)
4. What is in contrast? —The role of prosodic prominence—
○Yuki Hirose (Univ. of Tokyo)・Manabu Arai (JSPS/Univ. of Tokyo)・Kiwako Ito (Ohio State Univ.)

22日午後 招待講演 (13:15~)

5. [招待講演] Spectral discontinuity, amplitude drop, and the perception of length contrasts
Shigetomo Kawahara (Rutgers Univ.)

学習

6. The impact of pseudo-speaking practices on L2 spontaneous speech
○Emiko Kaneko (Univ. of Aizu)
7. The Quicker, the Better? L2 Proficiency and Response Time
○Shin'ichiro Ishikawa (Kobe Univ.)
8. Japanese EFL Learners' On-line Sensitivity to Subject-verb Number Dis/agreement in English
○Toshiyuki Yamada・Yuki Hirose (Univ. of Tokyo)

◆MAPLL2012 共催

★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 吉本雅彦 副委員長 山村 毅
幹事 松岡俊匡・竹内 健
幹事補佐 渡辺 理・大内真一・土谷 亮

日時 7月26日(木) 9:30~17:50
27日(金) 9:00~17:00

会場 山形大学米沢キャンパス工学部百周年記念会館 (米沢市城南4-3-16. JR米坂線:南米沢駅前から徒歩約5分または市街地循環バスで山大正門前下車. <http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/access/> TEL [0238] 26-3282 原田知親)

議題 アナログ、アナログ混載、RF 及びセンサインタフェース回路

26日午前

- ICD-1. [招待講演] スイッチング電源の基礎と高電力効率化技術
○石塚洋一・二宮 保 (長崎大)
- ICD-2. [招待講演] 高効率電源技術の動向 ○中島善康・中尾 宏・米澤 遊・菅原貴彦・堀江健志 (富士通研)
- ICD-3. [招待講演] モールド型モジュール電源
白井 浩 (サンケン電気)

26日午後 (13:30~)

- ICD-4. [招待講演] LSIの低電圧化/高速負荷変動化に対応するためのDC-DCコンバータの制御方式の進化—線形制御から非線形制御へ(ヒステリシス制御)— 財津俊行 (日本TI)
- ICD-5. [招待講演] パワーデバイス混載ミックスシグナルLSIテクノロジー 畑迫健一 (ルネサスエレクトロニクス)
- ICD-6. [招待講演] ISSCC技術トレンド通信ネットワーク技術
○岡田健一 (東工大)・三木隆博 (ルネサスエレクトロニクス)

山脇大造 (ルネサスモバイル)

7. [パネル討論] More Than Moore としてのパワーデバイスの今後の方向性
 モデレータ: 濱崎利彦 (広島工大)
 パネリスト: 石塚洋一 (長崎大)・中島善康 (富士通研)・白井 浩 (サンケン電気)・財津俊行 (日本 TI)・畑迫健一 (ルネサスエレクトロニクス)

27 日午前

- ICD-1. DC-DC コンバータ IC を統一的に設計する回路手法の研究 ○平野裕也・杉本泰博 (中大)
 ICD-2. 2 次スロープ補償を用いた DC-DC コンバータ IC 回路の研究 ○古川達也・平野裕也・杉本泰博 (中大)
 3. シングルスロープ A/D 変換器の高速化に向けたインターリーブ型ランプ波形発生器 ○内田大輔・池辺将之・本久順一・佐野栄一 (北大)・近藤 亮 (新日本無線)
 4. Response-Time Acceleration of a Frontend Amplifier for High Output Impedance Sensors ○Kamel Mars・Shoji Kawahito (Shizuoka Univ.)
 5. 脳内無線送信を目指したイメージセンサ信号のベースバンド伝送 ○笹川清隆・横田昇吾 (奈良先端大)・松田隆志 (NICT)・デイビス ピーター (Telecognix)・張 兵・李 可人 (NICT)・小林琢磨・野田俊彦・徳田 崇・太田 淳 (奈良先端大)
 ICD-6. 4 次 Fractional-N PLL 周波数シンセサイザにおけるループ最適化 ○榊井昇一 (富士通研)・イ ジョンギョウ (東北大)
 ICD-7. [招待講演] 90 nm CMOS テクノロジーを用いた, 3 バンド対応 W-CDMA 用電力増幅器 IC ○神田浩一 (富士通研)・川野陽一 (富士通セミコンダクター)

27 日午後 (13:30~)

8. [招待講演] 階層型インテリジェントイメージセンサ技術と中国における LSI 開発動向 吳 南建 (中国科学院)
 9. [招待講演] 高速 CMOS イメージセンサ技術 須川成利 (東北大)
 ICD-10. [招待講演] ISSCC の技術動向—イメージセンサ, バイオ医療分野— 太田 淳 (奈良先端大)
 ICD-11. [招待講演] ISSCC 技術トレンド新技術分野 (Technology Direction) とデジタル技術 ○中島雅逸 (パナソニック)・有本和民 (岡山県立大)・林 宏雄 (東芝)

◆映像情報メディア学会; 情報センシング研究会連催. IEEE SSCS Japan/Kansai Chapter 共催, ISSCC Far East Committee 技術共催

◎26日研究会終了後,懇親会を予定していますので御参加下さい.

☆ICD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月2日(木), 3日(金) 札幌市男女共同参画センター [締切済] テーマ: 低電圧/低消費電力技術, 新デバイス・回路とその応用

8月13日(月)~15日(水) ダナン [締切済] テーマ: 2012年ベトナム ICD 研究会 (ICDV 2012)

9月6日(木), 7日(金) 福井大 [未定] テーマ: 第4回アクセラレーション技術発表討論会

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

松岡俊匡 (阪大)
 TEL & FAX [06] 6879-7792
 E-mail: matsuoaka@eei.eng.osaka-u.ac.jp

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人 副委員長 小西達裕
 幹事 國宗永佳・渡辺健次 幹事補佐 西尾典洋・森本容介

日時 7月28日(土) 12:55~16:15

会場 東北学院大学土樋キャンパス 8号館第3会議室 (仙台市青葉区土樋 1-3-1, 地下鉄仙台駅から富沢駅行乗車, 「五橋駅」または「愛宕橋駅」下車徒歩5分. <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/access/tsuchitoi.html> TEL [022] 773-3312 松澤茂)

議題 Web 技術と先端的学習支援/一般

- LMS 操作の初期学習のためのシステムの改修を要しない付加的ガイドシステムの提案 ○行方義忠・大河雄一・三石 大 (東北大)
- 学習コミュニティの集合知を活用した学習支援システムの評価 ○山本美紀・安間文彦・岡本敏雄 (電通大)
- 小規模グループにおけるインフォーマルラーニングを支援するコミュニケーションツールの構築 ○中村悟大・中村直人 (千葉工大)
- 電子棚札による授業運営システムの改良 ○伊藤翔太・菱田隆彰・坂本将暢・中村栄治 (愛知工大)
- Derivation of Learning Style Effectiveness from Portfolio in Programming Education ○Dinh Thi Dong Phuong・Hiromitsu Shimakawa (Ritsumeikan Univ.)
- ボードゲームの戦略プログラミングを題材とした Java 演習支援—対戦結果の順位分析と対戦方法の考察— ○山田航平・富永浩之 (香川大)
- 双方向授業のための CMS モジュールの導入例 飯高敏和 (熊本学園大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 協賛

☆ET 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月29日(土) 岡山理科大 [7月17日(火)] テーマ: プレゼンティッドラーニングにおけるメディアの役割/一般

10月20日(土) 信州大工学部 [8月13日(月)] テーマ: 教育・学習支援プラットフォーム/一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

渡辺健次 (佐賀大)
 TEL [0952] 28-8828
 E-mail: watanabe@is.saga-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には, 自動的に発表キャンセルとなります. 原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい.

——信越支部における開催——

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三
 幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 酒井正俊

日時 7月19日(木) 13:30~20:00

20日(金) 9:30~11:05

会場 加藤科学振興会軽井沢研修所 (北佐久郡軽井沢町大字長倉 (大日向) 5607. <http://www.kato-karuizawa.jp/access.html>)

TEL [025] 262-7369 馬場 暁

議題 有機ナノ材料・構造制御, デバイス応用, 一般

19日

OME-1. [招待講演] 単層カーボンナノチューブの選択的成長手法の確立によるナノスケールトランジスタへの応用

○岩田展幸・土肥智史・相良拓実 (日大)・
矢島博文 (東京理科大)・山本 寛 (日大)

2. Fe@SiO₂ 型コアシェル粒子を触媒としたCNTの成長

○菅原丈博・川崎浩平・串田正人 (千葉大)

OME-3. 固液界面に固定化したチトクロームcの酸化還元反応のその場観察—スラブ光導波路分光法を用いた紫外可視吸収スペクトルのその場観察—

○松田直樹・岡部浩隆 (産総研)

OME-4. [招待講演] 新しい有機デバイスの作製技術としての静電塗布法

福田武司 (埼玉大)

5. シリコン系有機・無機複合膜の作製と電気トリーニング劣化特性の評価

○西村和朗・荒木啓佑・青木裕介 (三重大)

6. ポリジメチルシロキサン系有機・無機複合膜上に堆積した金粒子の局在表面プラズモン共鳴

○荒木啓佑・青木裕介 (三重大)

OME-7. [招待講演] エレクトロスピニング法によるナノファイバーの作製と電子デバイスへの応用

○金子双男・馬場 暁・新保一成・加藤景三 (新潟大)

20日

OME-1. [招待講演] バーコード法による微細構造体基板上への有機EL素子の作製

○中 茂樹・小山知弘・岡田裕之 (富山大)

2. 水晶振動子・光導波路分光複合センサを用いた鉛フタロシアニン薄膜の堆積評価

○平川 諒・鶴野成博・馬場 暁・
新保一成・加藤景三・金子双男 (新潟大)

3. バルクヘテロ接合型有機薄膜太陽電池の超薄膜キャリア選択層とキャリア注入特性に関する検討

○伊東栄次・丸山恭剛・福田勝利 (信州大)

◆電気学会; 誘電・絶縁材料研究会連催. 電気学会; 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御調査専門委員会, IEEE DEIS Japan Chapter, 応用物理学会北陸・信越支部協賛

[問合先]

松田直樹 (産総研)

E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎 (NTT)

E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp

酒井正俊 (千葉大)

E-mail: sakai@faculty.chiba-u.jp

——東海支部における開催——

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 鎌部 浩 副委員長 大橋正良

幹事 井坂元彦・野村 亮 幹事補佐 古賀弘樹

日時 7月19日(木) 13:50~18:00

20日(金) 9:30~17:30

会場 豊田工業大学本館ホール (1号棟3階) (名古屋市天白区久方2-12-1. 名古屋市営地下鉄桜通線: 相生山駅下車徒歩15分. <http://www.toyota-ti.ac.jp/access/index.html> TEL

第一種研究会開催案内

[052] 809-1812 松井 一

議題 フレッシュマンセッション, 一般

19日 フレッシュマンセッション

1. BN曲線におけるG₂上のρ法に関する効率的な代表元決定法

○河野祐輝・根角健太・森 佑樹・有井智紀・
野上保之 (岡山大)

2. 確率的攻撃モデルにおけるBoneh-Shaw符号の不正者追跡アルゴリズムに関する考察

○金井紘平・古賀弘樹 (筑波大)

3. フェージングのある2分木ネットワークにおける多数決判定の誤り特性解析

○中西祥梧・森島 佑・岡 育生・
阿多信吾 (阪市大)

4. 光CDMに適したGold系列の変形

○青山 悟・
宇佐見庄五 (名城大)

一般セッション

5. Uniform Component Flashcode and Binary-Indexed Flashcode

○Michael Joseph Tan・Yuichi Kaji (NAIST)

6. A Study on Effective Search for Space-Time Codes

○Tatsumi Konishi・Masayuki Kagiya・Masaru Ito・
Masakazu Mori (Aichi Inst. of Tech.)

7. On Properties of Logarithmic Distortion Measure

Shigeaki Kuzuoka (Wakayama Univ.)

招待講演

8. [招待講演] 私が経験したハイテク技術開発: 記録装置, 記憶装置を中心に

三田誠一 (豊田工大)

20日午前 フレッシュマンセッション

1. 一般化準巡回符号の高性能な探索とその計算量評価

○丹山翔太・松井 一・加藤弘明 (豊田工大)

2. 条件分岐を抑えた修正ユークリッド復号法について

○齋藤圭輔・森井昌克 (神戸大)

3. 修正符号による最良符号の構成法とその導出

○渡邊元幸・鶴見淳一・森井昌克 (神戸大)

4. 双対符号を用いた高符号化率パングチャド畳込み符号の構成

○菊地加奈・平下裕也 (近畿大)・三島知也・
大前ジェームズ (NDR)・笹野 博 (近畿大)

5. 完全正写像の圏による量子通信路の研究

○山田敏頌・渡邊 昇 (東京理科大)

6. 量子相関を用いた状態遷移過程の定式化について

○渡邊晃弘・渡邊 昇 (東京理科大)

7. ESRを用いた量子論理ゲートの定式化について

○黛 健一郎・渡邊 昇 (東京理科大)

20日午後 フレッシュマンセッション (13:55~)

8. On the dependence of error performance of spatially coupled LDPC codes on their design parameters

○Hiroyuki Ihara・Tomoharu Shibuya (Sophia Univ.)

9. 線形時間で終端可能な組織的空間結合符号

○田添宏治・笠井健太・坂庭好一 (東工大)

10. Polar符号を用いたHybrid-ARQ方式

○永田基樹・
山本博資 (東大)

11. 情報源分極に基づく2元情報源の符号化のための基礎的研究

○菊池 駿・古賀弘樹 (筑波大)

一般セッション

12. Homophonic Codeを用いた非対称通信路のFV符号化

○本多淳也・山本博資 (東大)

13. Writing on Dirty Paper with Feedback

○Hachiro Fujita (Tokyo Metropolitan Univ.)

14. フレーム非同期多重アクセス通信路の有限長領域における符

告 27

号化の性能解析 八木秀樹 (電通大)
15. Decoding scheme for non-binary signature code
○Shan Lu・Jun Cheng・
Yoichiro Watanabe (Doshisha Univ.)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

◎19日研究会終了後に懇親会を予定していますので、是非御参加下さい。

☆IT研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月28日(金) 草津セミナーハウス [7月16日(月)] テーマ: 誤り訂正符号, 一般 (誤り訂正符号のワークショップと併催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

情報理論研究会 (幹事, 幹事補佐)

E-mail: it-sec@mail.ieice.org

★ワイドバンドシステム研究会 (WBS)

専門委員長 佐々木重信 副委員長 眞田幸俊・前原文明
幹事 小野文枝・藤井雅弘 幹事補佐 松波 勲・石橋功至

日時 7月25日(水) 10:30~14:35
26日(木) 10:00~15:00

会場 名古屋大学東山キャンパス野依記念学術交流館 (名古屋市千種区不老町。地下鉄名城線:名古屋大学駅下車。 <http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/access/> TEL [052]-789-2743 山里敬也)

議題 一般, ポスター講演

25日午前

1. USRP と UHD によって試作したマルチユーザ MIMO 用端末の伝送特性 ○篠原 諒・村田英一・吉田 進・山本高至 (京大)・梅原大祐 (京都工繊大)・田野 哲 (岡山大)・守倉正博 (京大)
2. 負荷変動を考慮した無線電力伝送におけるデータ通信に関する一検討 ○菅野一樹・野口慎平・稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)
3. Star-QAM を用いた省電力協調ダイバーシティ技術 ○石橋功至 (電通大)・ウォンヨン シン (檀国大)・落合秀樹 (横浜国大)・バビッド タローク (ハーバード大)

25日午後

4. [奨励講演] 受信電力における位置推定方式の推定精度改善法 安在大祐 (名工大)
5. [招待講演] LED アレイと車載高速カメラを用いた路車間可視光通信 山里敬也 (名大)

26日午前

1. [ポスター講演] 無線メッシュネットワークにおけるランダムネットワーク・経路次元符号化の統合復号法に関する一検討 ○菅尾悠貴・岡田 啓・小林健太郎・片山正昭 (名大)
2. [ポスター講演] マルチホップネットワークにおける適応 MIMO 中継伝送法の一検討 ○向井 承 (横浜国大)・小野文枝 (NICT)・落合秀樹 (横浜国大)・三浦 龍 (NICT)
3. [ポスター講演] CSK 方式を用いた偏光多重光無線通信における送受信機間の回転角の補正 ○向井千晴・大内浩司 (静岡大)
4. [ポスター講演] 小型無人飛行機による無線ネットワーク

○滝沢賢一・三浦 龍 (NICT)
5. [ポスター講演] 協調スペクトルセンシングにおける通信プロトコルに関する一検討 (2) ○木村長夫・佐々木重信 (新潟大)

6. [ポスター講演] 3 値 OFDM の PAPR 低減に関する一検討

○中島拓哉・荒井 剛・稲井 寛 (岡山県立大)

7. [ポスター講演] 伸上—ライスフェージング下における SIC を用いた CSK Spread ALOHA 方式の性能評価

○十河圭佑・荒井 剛・稲井 寛 (岡山県立大)

8. [ポスター講演] PC-OFDM における PAPR 低減効果

○荒井 剛 (岡山県立大)・大内浩司・西原将太 (静岡大)

9. [招待講演] 未定—車載組込みシステムとネットワーク技術関連— 高田広章 (名大)

26日午後 (13:45~)

10. 通信路の周波数選択性を用いたセミブラインド干渉アライメントに関する一検討 ○高井真人 (静岡大)・石橋功至 (電通大)・ウォンヨン シン (檀国大)・横山明久 (TOYOTA InfoTechnology Center)・和田忠浩 (静岡大)

11. LDPC 符号化変調の最適化に基づいた送信端末エネルギー低減における符号長の影響に関する検討 ○木下 慧・落合秀樹 (横浜国大)

12. 受信信号強度の変動予測に関する基礎的考察 鈴木利則 (東北学院大)

◎25日研究会終了後、懇親会 (ナイトセッション) を予定していますので奮って御参加下さい。

☆WBS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月26日(金) 京大吉祥田キャンパス [未定] テーマ: グリーンワイヤレス, 一般, ポスター講演

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

松波 勲 (長崎大)

TEL & FAX [095] 819-2709

E-mail: matunami@nagasaki-u.ac.jp

★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 羽瀧裕真 副委員長 児島史秀・山里敬也
幹事 高取祐介・和田友孝 幹事補佐 大野光平・羽多野裕之

日時 7月25日(水) 13:00~15:00
26日(木) 10:00~12:00

会場 名古屋大学東山キャンパス野依記念学術交流館 (名古屋市千種区不老町。地下鉄名城線:名古屋大学駅下車。 <http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/access/> TEL [052] 789-2743 山里敬也)

議題 ITS ポジショニング, 一般

25日

1. 車車間通信における Slotted ALOHA/DS-CDMA と CSMA/OFDM の特性評価 ○榎原 翔・大野光平・伊丹 誠 (東京理科大)
2. 障害物検出用車載センサと車車間通信を用いた出会い頭衝突防止システムのセンサ検出範囲に関する一検討 ○高取祐介・武尾英哉 (神奈川工科大)
3. [招待講演] 車両単独の ITS からつながる ITS へ—ITS にお

- ける研究開発の動向— 牧戸知史 (豊田中研)
- 26日
1. LED アレイと高速度カメラを用いた可視光通信における重畳符号化 ○西本早耶香・山里敬也・岡田 啓・藤井俊彰 (名大)・圓道知博 (長岡技科大)・荒井伸太郎 (香川高専)
 2. 座面圧力センサを用いた着座状態にロバストな姿勢推定 ○伊藤 潤・河中治樹・小栗宏次 (愛知県立大)
 3. マルチクラスゾーン ITS 情報通信方式における所要帯域幅の理論的検討及び改善法について ○後藤 建・長谷川孝明 (埼玉大)
 4. ハンドル型電動車いすにおける危険検出システムの改良 ○金 帝演・長谷川孝明 (埼玉大)

【問合せ先】

高取祐介 (神奈川工科大学工学部電気電子情報工学科)
〒243-0292 厚木市下荻野 1030
TEL [046] 241-1211 (内線 3365)
E-mail: takatori@ele.kanagawa-it.ac.jp

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 石田 修 副委員長 水落隆司
幹事 平野 章・斎藤恒聡

- 日時 7月26日 (木) 13:15~16:50
会場 ニューウェルシティ湯河原 (熱海市泉 107. JR 東海道線: 湯河原駅下車, 駅よりタクシー (5分), もしくは路線バスで「不動滝行」「奥湯河原行」乗車「理想郷」バス停下車 (10分). <http://www.welcity-yugawara.co.jp/access>)
- 議題【光通信機器】光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 非線形・偏波問題, 分散補償デバイス, 光信号処理, 光測定器, 光通信用デジタル信号処理, 光通信計測, 光通信用 LSI, 誤り訂正, 一般
1. 224 Gb/s DP-16QAM 伝送システムにおける非線形補償アルゴリズムが雑音分布に与える影響 ○小田祥一朗 (富士通)・谷村崇仁 (富士通研)・星田剛司・秋山裕一・中島久雄 (富士通)・曾根恭介 (富士通研)・青木泰彦 (富士通)・Weizhen Yan・Zhenning Tao・Liang Dou・Lei Li (FRDC)・イエンス ラスムッセン (富士通)・山本義典・佐々木 隆 (住友電工)
 2. 10 Gsymol/s 偏波多重 64 QAM 光信号のナイキスト波長分割多重伝送 ○五十嵐浩司・加藤一弘・菊池和朗 (東大)
 3. RZ-CW 変換法を用いたコヒーレント 32 RZ/QAM 伝送 ○葛西恵介・David Odeke Otuya・吉田真人・廣岡俊彦・中沢正隆 (東北大)
 4. 光学的に生成された参照光時間インターリーブ多値光変調信号の信号劣化要因の解析 ○岡村康弘・埴 雅典 (山梨大)
 5. WDM 信号一括分散補償のための波長保持型・偏波無依存光パラメトリック可変分散補償器の開発と検討 ○谷澤 健・来見田淳也 (産総研)・高橋正典・八木 健 (古河電工)・並木 周 (産総研)
 6. 位相シフト型光単側波帯変調における高域通過型ヒルベルト変換器の効果に関する検討 高野勝美・一條義明・○K.I. Amila Sampath・及川幸一 (山形大)
 7. Experimental demonstration of all-optical OOK to 16QAM

第一種研究会開催案内

- modulation conversion based on Nonlinear Optical Loop mirror with 1:2 coupler ○Guoxiu Huang (Osaka Univ.)・Yuji Miyoshi (Osaka Prefecture Univ.)・Akihiro Maruta・Yuki Yoshida・Ken-ichi Kitayama (Osaka Univ.)
8. 低消費電力化のための光符号ラベル識別方式の提案とその性能評価 ○小玉崇宏 (阪大)・和田尚也 (NICT)・シンコッティ ガブリエラ (ローマ大)・北山研一 (阪大)
- ◎研究会終了後に懇親会を開催致しますので是非御参加下さい。
☆OCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
8月30日 (木), 31日 (金) サンリフレ函館 [締切済] テーマ:【光ファイバ伝送路】光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般
10月25日 (木), 26日 (金) ホテルメリージュ (宮崎) [8月13日 (月)] テーマ:超高速伝送・変復調・分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅・WDM 技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 一般 (ECOC 報告)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

斎藤恒聡 (古河電工)
TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340
E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

- ◎OCS ホームページ:
<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>
- ◎OCS 研究会では, 2007 年より「光通信システム研究会奨励賞」及び「光通信システム研究会論文賞」を設立しました。毎年 9 月~翌年 8 月の OCS 研究会に投稿した論文を対象に選考し, 翌年 12 月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくは OCS ホームページを御覧下さい

★イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)

専門委員長 会津昌夫 副委員長 堀田裕弘・山田光穂
幹事 杉山賢二・中口俊哉 幹事補佐 杉本 修・前田 充

- 日時 7月27日 (金) 13:00~16:40
会場 名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーベンチャーホール (名古屋市千種区不老町 B2-4. JR 名古屋駅から市営地下鉄東山線: 本山駅乗換, 名城線: 名古屋大学駅下車 (約 30分). <http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/access/index.html> TEL [052] 789-3098 工藤博章)
- 議題 視覚と IMQ 一般
1. [特別講演] 生得的な脅威感知システムーウロコのテクスチャーがあるからヘビが怖いー 川合伸幸 (名大)
 2. 近赤外分光法による 3D 映画鑑賞中の前頭葉の活性度の分析 ○川村祐太・竹内香織・角田尚貴・山田光穂 (東海大)
 3. 作業空間における有機 EL 照明の生体影響に関する研究 ○高橋恭佑・中口俊哉 (千葉大)
 4. 画像内容や画質劣化と Δ oxy-Hb の関連性 ○上田愛美・柴田啓司・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)
 5. 表情筋の変化を用いた画質評価法の検討 ○田村隆行・柴田啓司・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)

6. 個人の混同色の測定に基づいた色覚異常者のための計算機による支援システム ○高木啓貴・工藤博章・松本哲也(名大)・竹内義則(大同大)・大西昇(名大)
7. 高倍率画像拡大における適応型12方向補間方法 ○松本智史・相良直哉・杉山賢二(成蹊大)
- ◆名古屋大学大学院情報科学研究科協賛
◎研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。
☆IMQ研究会

【問合先】

杉山賢二(成蹊大)
E-mail: sugiyama@st.seikei.ac.jp
◎IMQ研究専門委員会ホームページ (<http://www.imqa.jp/confcall.html>) も御覧下さい。

——北陸支部における開催——

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀
幹事 須原理彦・上田哲三 幹事補佐 葛西誠也・松永高治

日時 7月26日(木) 13:30~16:40
27日(金) 9:30~12:15

会場 福井大学文京キャンパス産学官連携本部3F研修室(福井市文京3-9-1. http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/outline/campus.html)

議題 半導体プロセス・デバイス(表面, 界面, 信頼性), 一般26日

- AlGaIn/GaN MIS HEMTの直流特性に与える熱処理の影響
○畑野舞子・谷口裕哉・徳田博邦・葛原正明(福井大)
- AlGaIn/GaN MISHFETにおけるチャネル電子移動度の測定
○玉井健太郎・教 金平(徳島大)・菊田大悟(豊田中研)・杉本雅裕(トヨタ自動車)・大野泰夫(徳島大)
- Temperature dependence of frequency dispersion in C-V characteristics of AlN/AlGaIn/GaN MIS-HFET
○Hong-An Shih・Masahiro Kudo・Toshi-kazu Suzuki (JAIST)
- AlInN/GaN系ヘテロ構造の表面・界面評価
○橋詰 保・堀 祐臣・赤澤正道(北大)
- p形GaNショットキー接触におけるICPエッチングの影響
○高橋利文(福井大)・金田直樹・三島友義(日立電線)・野本一貴(ノートルダム大)・塩島謙次(福井大)
- 表面ストイキオメトリを制御したp-GaNショットキー接触の電気的特性
○高橋利文(福井大)・金田直樹・三島友義(日立電線)・梶原隆司・田中 悟(九大)・塩島謙次(福井大)
- フルバンドモデルに基づくAlGaIn/GaN HEMTの衝突イオン化の理論検討 ○児玉和樹・徳田博邦・葛原正明(福井大)

- 27日
- 量子補正モンテカルロ法による歪みInSb HEMTの遅延時間解析
○永井佑太郎・佐藤 純・藤代博記・原 紳介(東京理科大)・遠藤 聡・渡邊一世(NICT)
 - トンネルダイオードの非平衡量子輸送モデルの構築と遮断周波数の理論解析
○山下 新・斉藤光史・須原理彦(首都大東京)

- 広帯域アンテナ集積共鳴トンネルダイオードのアレイ化発振源における注入同期特性及び周波数コム特性の大信号解析
○浅川澄人・田代篤史・斉藤光史・須原理彦(首都大東京)
- GaAs系エッチングナノワイヤCCDにおける同期電荷転送と効率に関する検討
中野雄紀・田中貴之・○葛西誠也(北大)
- 非局所配置を用いた高In組成InGaAs/InAlAs二次元電子系へのスピン注入実験
日高志郎・近藤太郎・赤堀誠志・○山田省二(北陸先端大)
- ダイヤモンドライクカーボン絶縁膜を用いたグラフェンFET
○鷹林 将・楊 猛・小川修一・林 広幸・栗田裕記・高桑雄二・末光哲也・尾辻泰一(東北大)

【問合先】

須原理彦(首都大東京)
TEL [042] 677-2765, FAX [042] 677-2756
E-mail: michihiko.suhara@tmu.ac.jp
上田哲三(パナソニック)
TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110
E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

——関西支部における開催——

★回路とシステム研究会 (CAS)

専門委員長 中野敬介 副委員長 山路隆文
幹事 前田義信・三友敏也 幹事補佐 高藤大介・宮北和之

★VLSI設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 山田晃久 副委員長 池田 誠
幹事 竹中 崇・中武繁寿

★信号処理研究会 (SIP)

専門委員長 大田恭士 副委員長 澤田 宏・梶川嘉延
幹事 大谷 猛・木下慶介 幹事補佐 西浦敬信

★システム数理と応用研究会 (MSS)

専門委員長 平石邦彦 副委員長 中村祐一
幹事 中村正樹・山口真之介 幹事補佐 西脇大輔

日時 7月2日(月) 9:20~17:50
3日(火) 9:10~16:50

会場 京都リサーチパーク西地区ルーム1(京都市下京区中堂寺南町134. 京都駅から嵯峨野線で5分の丹波口駅から徒歩5分. <http://www.krp.co.jp/access/index.html> TEL [075] 322-7800(会場) 小林和淑(京都工繊大))

議題 システムと信号処理及び一般

2日午前 信号処理 I

- A Robust Algebraic Phase Unwrapping Based on Spline Approximation
○Daichi Kitahara・Isao Yamada (Tokyo Inst. of Tech.)
- 運動想起中の脳波識別における時間窓のスプース化
○東 広志・田中聡久(東京農工大)
- Wavelet-based content-aware image coding with rate-dependent seam carving
○Yuichi Tanaka (Tokyo Univ. of Agric. & Tech.)・Taichi Yoshida (Keio Univ.)・Madoka Hasegawa

Shigeo Kato (Utsunomiya Univ.)・
Masaaki Ikehara (Keio Univ.)

4. 複数のトーンマッピング効果を持つ高ダイナミックレンジの二層符号化の検討
○神納貴生 (豊橋科大)・
渡辺大也・奥田正浩 (北九州市大)

信号処理 II

5. L0/L1 ノルム最小化に基づく白黒画像のカラー復元
○雨車和憲 (東京理科大)・小西克巳 (工学院大)・
高橋智博・古川利博 (東京理科大)
6. 教師なし学習による監視カメラ画像からの煙検出
○萩原貴弘・田中聡久 (東京農工大)
7. カーネル部分空間追跡に関する一検討
田中聡久 (東京農工大)

2日午後 VLSI 設計技術 I

8. 組込みソフトウェアのアセンブラの SMT 検証
○竹下 淳・小橋潤平・山根 智 (金沢大)
9. 区分線形近似回路を用いた広帯域高速フーリエ変換器に関して—電波望遠鏡用分光器への適用—
○中原啓貴・
中西裕之 (鹿児島大)・笹尾 勤 (九工大)
10. メタステーブル動作持続時間を隠蔽するツリー型非同期式アービタ
○近藤真史 (川崎医療福祉大)・
大山国晃・古好佑輔・横川智教・佐藤洋一郎 (岡山県立大)

VLSI 設計技術 II

11. 順序回路における一時故障を対象とした故障シミュレーションのヒューリスティックの評価について
○高田大河・
吉村正義・松永裕介 (九大)
12. モンテカルロシミュレーションによるソフトエラー率の数量的評価手法
○矢野 憲・林田隆則・佐藤寿倫 (福岡大)
13. 効率的な間接含意の計算アルゴリズムについて
松永裕介 (九大)

招待講演 I

14. [招待講演] SKYACTIV テクノロジー誕生を支えたモデルベース開発
原田靖裕 (マツダ)

パネルディスカッション

15. システムと信号処理サブサイエティが注目するホットトピック—回路とシステム, システム数理と応用, 信号処理, VLSI 設計技術の観点から—

3日午前 回路とシステム I

1. 譲り合いを考慮した避難行動シミュレーション
○萩原さなえ・谷 賢太郎・前田義信 (新潟大)
2. 節点ブロック緩和法を用いた強結合多導体伝送線路の高速シミュレーション
○高崎貴大・關根惟敏・
浅井秀樹 (静岡大)
3. On Minimum Feedback Vertex Sets in Graphs
○Asahi Takaoka・Satoshi Tayu・
Shuichi Ueno (Tokyo Inst. of Tech.)
4. 巡回表記で表された攪乱順列に対する辞書順のランキングとアンランキングについて
○三河賢治 (新潟大)・
田中 賢 (神奈川大)

回路とシステム II

5. 利用者が知り得る情報の違いによる電気自動車の充電待ち時間への影響について
○宮北和之・中野敬介 (新潟大)
6. 鉄棒運動における重心軌道の冗長性
○山崎大河・
後藤清志・忻 欣 (岡山県立大)
7. SCIP を用いた区分的線形回路の全解探索法
山村清隆・
○石井孝幸 (中大)

8. State Dependent Scan Flip Flop を用いた RSA 暗号回路へのセキュアスキャンアーキテクチャの実装
○跡部悠太・
史 又華・柳澤政生・戸川 望 (早大)

3日午後 招待講演 II (13:10~)

9. [招待講演] ノーマリーオフコンピューティングの実現へ向けて
中村 宏 (東大)

システム数理と応用 I

10. セルアレイデータに基づくがん細胞分類を支援するタンパク質情報可視化手法の提案
○北風裕教・井川翔平・
伊藤 剛 (大島商船高専)・古屋智子 (山口大)・
神田全啓 (大島商船高専)・池田信彦 (徳山高専)・
松野浩嗣 (山口大)
11. 不完備情報下における人頭税と補助金を考慮した複数集団レプリケータダイナミクス
○森本卓弥・金澤尚史・
潮 俊光 (阪大)
12. 混合整数計画問題を用いたマルチカーエレベータのかご制御と割り当て問題に関する研究
○峰岸達矢・
宮本俊幸 (阪大)
13. メカニズムデザインに基づくマルチティアサーバシステムの QoS 公平化
○青木優介・金澤尚史・潮 俊光 (阪大)

システム数理と応用 II

14. マルチホップ制御ネットワークにおける通信と制御の協調スケジューリング
○斜森泰樹・潮 俊光 (阪大)
15. Computation of Sublanguage for Synthesizing Decentralized Supervisors for Timed Discrete Event Systems
○Masashi Nomura・Shigemasa Takai (Osaka Univ.)
16. 離散値入力をもつ大規模システムに対する最適制御問題の—解法
○小林孝一・平石邦彦 (北陸先端大)

◆IEEE CASS 関西チャプタ共催

◎2日の研究会終了後 18:20 より, 京都リサーチパークレストランパティオにて, 懇親会を開催致します。申し込みは下記の URL からお願い致します。詳細は, VLD 研のホームページ (<http://www.ieice.org/~vld/>) を御覧ください。

☆CAS 研究会

【問合先】

宮北和之 (新潟大)
TEL [025] 262-7581
E-mail: miyakita@cais.niigata-u.ac.jp

◎回路とシステム研究専門委員会では, 研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。優秀な学生発表は, 3月の総合大会にて表彰致しますので, 奮って申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格は回路とシステム研究会で御自身で発表され, かつ予稿にて第一著者の IEICE 学生会員 (申し込み中でも可) の方です。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

☆VLD 研究会

【問合先】

小林和淑 (京都工繊大)
TEL [075] 724-7452
E-mail: kazutoshi.kobayashi@kit.ac.jp

◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~vld/>

☆SIP 研究会

【問合先】

湯川正裕 (新潟大)
TEL & FAX [025] 262-7549

E-mail : yukawa@eng.niigata-u.ac.jp

☆MSS 研究会

【問合先】

中村正樹 (富山県立大)

TEL [0766] 56-7500 (内線 639)

E-mail : masaki-n@pu-toyama.ac.jp

★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎

幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

日時 7月26日(木) 13:10~17:10

27日(金) 10:00~12:30

会場 京都電子工業第三工場2階大ホール(京都市南区吉祥院新田二の段町74. JR:西大路駅より徒歩約15分または京都駅八条口よりタクシー約15分. <http://wavephys.iis.u-tokyo.ac.jp/pdf/map.pdf> TEL [03] 5452-6122 平野太一(東大))

議題 物性, 一般

26日

- 異方性メタリン酸塩ガラスの構造と特性 ○稲葉誠二・伊藤節郎(東工大)
- 動的超音波散乱法によるシリカ系懸濁微粒子溶液のダイナミクスに関する研究 ○杉田一樹・五十嵐健太・則末智久・宮田貴章(京都工繊大)
- 粘弾性チューブ内の圧力波伝搬に関する実験的検討—液体の粘度とチューブの硬さによる影響—
○池永雄貴(同志社大)・齋藤雅史・浅田隆昭(村田製作所)・松川真美(同志社大)
- アルコール添加が水のせん断流に与える影響に関する分子動力学考察 ○中岡 聡・山口康隆(阪大)・黒田孝二・中島 但・藤村秀夫(大日本印刷)
- 誘電力を利用した非接触表面物性測定 ○下河有司・酒井啓司(東大)
- マクスウェル応力を用いた動的表面張力の高速測定
○石綿友樹・山田辰也・酒井啓司(東大)
- 〔特別講演〕電磁スピニング法を用いた粘度計の開発及び実用化
○保田正範・倉内奈美・中村美希(京都電子)・細田真妃子(東京電機大)・平野太一・酒井啓司(東大)
- 〔招待講演〕超音波の光学的可視化—シュリーレン, フレネル, 光弾性及び鋭敏色可視化法による音場の観察—
山本 健(関西大)

27日

- ガラス転移点近傍高粘度測定装置の開発
小林比呂志(産総研)
- 生体組織を伝播する非線形波動のイメージング(1)—心筋運動の時空ダイナミクス—
○原田義文(福井大)・井上敬章・岡田 孝・原田烈光・吉川義博(日立アロカメディカル)・戸次直明(日大)・金井 浩(東北大)
- 生体組織を伝播する非線形波動のイメージング(2)—Lamb波によるBN-ホールの生成—
○原田義文(福井大)・井上敬章・岡田 孝・原田烈光・吉川義博(日立アロカメディカル)・戸次直明(日大)・金井 浩(東北大)
- フーリエ変換を用いた補間近似を要さない高速エコーデータ生成
炭 親良・○山崎直人(上智大)
- 高周波レオオプティクス法による液晶非液晶混合系における

並進配向結合に関する研究

○松岡辰郎・神谷太志・

三宅 翔(名大)

6. 矩形電極対を用いた誘電性微小液滴の飛翔操作

○坂井崇人・石綿友樹・酒井啓司(東大)

7. ディスク型EMS法によるソフトマテリアルの粘性測定

○細田真妃子・倉橋佑旗・清田健夫(東京電機大)

◆日本音響学会;超音波研究委員会,音響化学研究会,音波と物性討論会,日本レオロジー学会;ナノレオロジー研究会,IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

◎26日研究会終了後,懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆US研究会今後の予定 []内発表申込締切日

8月27日(月),28日(火)釜慶大(韓国,釜山)[締切済]

テーマ:一般,水中音響(海洋音響学会,韓国音響学会嶺南支部共催)

9月24日(月)秋田大[7月19日(木)]テーマ:一般

10月22日(月),23日(火)金沢工大[8月16日(木)]
テーマ:一般

【発表申込先】下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

美谷周二朗(東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail : wavephys@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光(日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail : miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 庄山正仁 副委員長 大津 智

幹事 石塚洋一・馬場崎忠利

日時 7月30日(月) 13:30~17:00

31日(火) 9:00~14:40

会場 奈良工業高等専門学校(大和郡山市矢田町22. <http://www.nara-k.ac.jp/guide/access/> <http://www.nara-k.ac.jp/> TEL [0743] 55-6095 石飛 学)

議題 エネルギー技術, 半導体変換技術, 一般

30日

EE-1. フロート充電電圧の変動が制御弁式鉛蓄電池へ及ぼす影響
○辻川知伸・藪田火峰(NTTファシリティーズ)

EE-2. 宇宙機用協調制御電源の研究
○岩佐 稔・内藤 均・舛分宏昌(JAXA)

EE-3. 2次側位相シフトPWM高周波リクソフトスイッチングDC-DCコンバータにおける整流方式の検討
○赤松恒平・三島智和(神戸大)・中岡睦雄(慶南大)

EE-4. 立体駐車場非接触給電システム用高周波リク AC-ACコンバータの実証評価
○河野真吾・平木英治・田中俊彦(山口大)・岡本昌幸(宇部高専)

5. 力学的モデルを用いた磁気共鳴型非接触給電のエネルギー伝送解析
○山口大輝・石飛 学(奈良高専)

6. レントゲン用X線管の高速起動を目的とした管内電荷状態のモデリングと制御方法に関する検討
○村井雄太・

西尾雄介 (奈良高専)・伊東 毅 (ミナ)・石飛 学 (奈良高専)

7. マルチレベルインバータの出力電圧高調波に関する一検討

○小原秀嶺・小栗寛司・佐藤之彦 (千葉大)

8. Controlled characteristics of a distributed flexible network photovoltaic system equipped with autonomous control and agents

○朴 相守・三浦友史・伊瀬敏史 (阪大)

31 日午前

EE-1. 電力パケット伝送のためのケーブル特性とパルス波形に関する実験的検討

○梶山拓也・奥田貴史・高橋 亮・引原隆士 (京大)

EE-2. Power Packetization for 2-power-source x 2-load Connection

○Ryo Takahashi・Shun-ichi Azuma・Keiji Tashiro・Takashi Hikiyama (Kyoto Univ.)

EE-3. 分散処理による大規模デマンドレスポンスの検討

○郡司俊嗣・菅谷至寛・大町真一郎 (東北大)

EE-4. 分散型電源の発電量と負荷需要予測を用いたマイクログリッドの運用

後川知仁・廣瀬圭一 (NTT フシリテーズ)・

○雪田和人・二宮貴之 (愛知工大)・奥井芳明 (山洋電気)

5. ノーマリーオフ型カスコード GaN パワーデバイスとノーマリーオン型 GaN HEMT のスイッチング特性評価

舟木 剛・○池村和哉 (阪大)

6. 内部モデル原理に基づく単相三線式配電用電流バランスの制御法

○馬場雄介・若佐裕治・平木英治・田中俊彦 (山口大)・岡本昌幸 (宇部高専)

7. 3 レベル多段ワンパルススイッチングアクティブキャパシタ (3L-C-I-OPSAC) を用いた電界結合非接触給電の給電電力の向上

○小林紘也・船渡寛人 (宇都宮大)

EE-8. IH クッキングヒータ用時分割制御高周波インバータの小型化に関する検討

○廣川貴之・平木英治・田中俊彦 (山口大)・岡本昌幸 (宇部高専)

EE-9. 機械学習を用いた DC-DC コンバータの過渡特性改善について

○元村正志・丸田英徳・黒川不二雄 (長崎大)

EE-10. 圧電トランスを用いたランプ放電起動回路の検討

○荒井雅行・鶴岡 勉 (東京計器)

EE-11. クランプ回路を有するワンコンバータ方式二次電池充電回路の実験による特性検証

○石飛裕基・伊瀬敏史・三浦友史 (阪大)・奥村和弘 (ダイヤモンド電機)

◆電気学会; 半導体電力変換研究会 連催. IEEE Power Electronics Society Japan Chapter, IEEE Industry Applications Society Japan Chapter, IEEE Industrial Electronics Society Japan Chapter 共催

【問合先】

馬場崎忠利 (NTT 環境エネルギー研究所)

TEL [0422] 59-4872, FAX [0422] 59-5682

E-mail : babasaki.tadatoshi@lab.ntt.co.jp

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 西井 淳 副委員長 古川徹生

幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

日時 7月30日 (月) 10:20~17:35

31日 (火) 10:20~16:25

会場 立命館大学情報理工学部びわこ・くさつキャンパス (草津市野路東 1-1-1. http://www.ritsumei.jp/accessmap/index_j.html TEL [077] 561-2696 西川郁子)

第一種研究会開催案内

議題

30 日午前

1. Mario AI における多様体学習を併用したニューロエポリューションの検討

半田久志 (近畿大)

2. プライバシー保護協調フィルタリングにおけるクラスタリング手法の比較

○松本祐依・本多克宏・野津 亮・市橋秀友 (阪府大)

3. 強化学習におけるエントロピーを用いた空間分割方法の変更タイミングの決定

○小森祐希・野津 亮・本多克宏・市橋秀友 (阪府大)

4. アンサンブル学習による画像の雑音除去

渡邊栄治 (甲南大)

30 日午後 (13:20~)

5. ガウス過程の数理解析

綴木 剛 (岡山理科大)

6. 局所解析可能な活性化関数を有する四元数ホップフィールドネットワーク

○磯川倣次郎・西村治彦・松井伸之 (兵庫県立大)

7. XY スピン系における自己相関型連想記憶モデルの解析—相関がある有限個の記憶パターンを学習した場合—

○木本智幸 (大分高専)・上江達達也 (奈良女子大)・岡田真人 (東大/理研)

8. ドーパミン依存的応答変化を示す視床下核ニューロンモデル

○櫻井裕規・北野勝則 (立命館大)

9. 筋感覚と視覚の統合による多関節構造体の運動制御理論

○西田亮介・川村貞夫 (立命館大)

10. 相互追従実験と相互タッピング実験における二者間の同期現象とモデル化

○林 叔克 (立命館大)・沢田康司 (東北工大)

11. Difference Between Experts and Non-experts in Gaze Patterns During Preference Judgment of Abstract Paintings

○小出真子 (奈良先端大)・池田和司・柴田智広 (ナリスト)

12. [招待講演] フレーザー・ウィルコックス錯視族の現象とモデル

北岡明佳 (立命館大)

31 日午前

1. カイコガ触角葉における匂い情報のポピュレーションコーディング

○小林亮太・藤森俊一 (立命館大)・並木重宏・神崎亮平 (東大)・北野勝則・西川郁子 (立命館大)

2. 昆虫脳における生理応答データに基づく行動司令生成時の情報伝達経路の推定

○山岸嘉彦 (立命館大)・小野島隆之 (京大)・五十嵐吉輝・西川郁子 (立命館大)・加沢知毅・並木重宏 (東大)・池野英利 (兵庫県立大)・神崎亮平 (東大)

3. 培養神経細胞からの M 系列検出

○西谷陽志 (阪大)・細川千絵 (産総研)・水野 (松本) 由子 (兵庫県立大)・三好智満・澤井 元・田村進一 (阪大)

4. 離散選択理論を用いた大脳皮質神経回路によるベイズ推定機能の生物学的実現

○二木大樹・小林亮太・北野勝則 (立命館大)

31 日午後 (13:15~)

5. 短期的シナプス抑圧・促進を含む神経回路網の安定性解析

○香取勇一 (JST/東大)・五十嵐康彦 (東大)・岡田真人 (東大/理研)・合原一幸 (東大)

6. 相互情報量最大化による海馬 CA1 ネットワークのシナプス可塑性様式の予測—変速再生と逆再生の場合—

○宮田龍太 (東工大)・太田桂輔 (理研)・青西 亨 (東工大)

7. NIRS データの非線形時系列解析

○有吉智貴 (奈良先端大)・小林亮太・北野勝則 (立命館大)

8. 膜電位波形特徴を用いた遺伝的アルゴリズムによるニューロンパラメータ推定 ○鈴木真央・小林亮太・北野勝則 (立命館大)
9. ループ型神経回路の学習 ○上村拓矢・八木康史 (阪大)・陳 延偉 (立命館大)・田村進一 (NBL)
10. 身体の力学的特性による歩行時の脚関節間シナジー ○豊田誠治・垣内田翔子・橋爪善光・西井 淳 (山口大)
11. 投球動作の習熟に伴うシナジーの変化 ○木村嘉志・西井 淳 (山口大)

◆日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催

【問合先】

小澤誠一 (神戸大)
TEL [078] 803-6466
E-mail : ozawasei@kobe-u.ac.jp

——中国支部における開催——

★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 小池康晴 副委員長 中尾光之
幹事 井澤 淳・渡邊高志 幹事補佐 吉村奈津江・中村和浩

日時 7月13日 (金) 13:30~16:35

会場 岡山大学鹿田キャンパス医学部保健学科棟会議室 (岡山市鹿田町 2-5-1. 岡山駅バスターミナル「6 番乗り場」から岡電バスで「大学病院」構内バス下車, または岡山駅バスターミナルから「12」・「22」・「52」・「92」系統の岡電バスで7分「大学病院入口」下車. http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_5.html TEL [086] 235-6874 中村隆夫 (当日連絡先 TEL [086] 235-6839))

議題 ME, 一般

1. バリアフリー電子楽器用スイッチのオープンソースハードウェアの開発—加速度センサ及び導電性繊維利用—
○北村智宏・梶山隼輔・河合俊和 (阪工大)・奥野龍平 (摂南大)・赤澤堅造 (阪工大)
2. スマートフォン利用における Eye Gesture 入力インタフェースの画面デザインの検討 ○高 トククン・板倉直明・水野統太 (電通大)
3. Auditory recalling of different types of auditory stimuli
○Kyung-Hwa Kim・Makoto Shigeta・Takahiro Emoto・Masatake Akutagawa (Tokushima Univ.)・Yoshio Kaji (Tokushima Bunri Univ.)・Kazuhiko Furukawa (Health insurance Naruto Hospital)・Fumio Shichijo (Seibikai Suzue Hospital)・Hirofumi Nagashino・Yohsuke Kinouchi (Tokushima Univ.)
4. 義足における Inset・Outset のアライメント調整が身体へ及ぼす影響 ○須田裕紀・林 豊彦 (新潟大)
5. 外来患者の病院内行動記録撮り実験の報告
○池田樹実彦 (慶大)・小野江 綾 (大成建設)・嶋津恵子 (慶大)
6. 浅部腫瘍生体組織インピーダンス測定のための電極配置について ○岩見誠治・芥川正武・榎本崇宏・小中信典・木内陽介・森本忠興・丹黒 章 (徳島大)・岡崎憲二 (こども外科胃腸科医院)・安野恵美子 (阿南高専)・猪子拓人・高橋知也 (徳島大)

7. 楕円テンプレートを用いた細胞サンプル画像との一致率評価の一検討 ○皇甫明慧・小中信典・芥川正武・榎本崇宏 (徳島大)

◆日本生体医工学学会; ME とバイオサイバネティクス研究会共催

☆MBE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月27日 (木) 信州大 [7月19日 (木)] テーマ: ME, 一般

10月11日 (木) 阪電通大 [8月13日 (月)] テーマ: ME, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

吉村奈津江 (東工大)
〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259-R2-15
TEL & FAX [045] 924-5054
E-mail : yoshimura@cns.pi.titech.ac.jp

——四国支部における開催——

★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 山崎達也 副委員長 高橋 玲・板倉英三郎
幹事 布目敏郎・岡本 淳 幹事補佐 立花篤男

日時 7月12日 (木) 11:00~18:15

13日 (金) 8:30~15:50

会場 愛媛大学総合情報メディアセンターメディアホール (松山市文京町 3. <http://wserv.cite.ehime-u.ac.jp/modules/smartsection/item.php?itemid=16>)

議題 映像/音声サービスの品質, メディア品質, ネットワークの品質・QoS 制御, 次世代/新世代ネットワークアーキテクチャ, 超臨場感コミュニケーション, 信頼性, 一般

12日午前

1. 地理的・社会的関係性に基づいたサービストリガ検出手法の検討 ○西尾理志・新熊亮一 (京大)・Francesco De Pellegrini (CREATE-NET)・笠井裕之 (電通大)・山口和泰 (神戸デジタルラボ)・高橋達郎 (京大)
2. Incentive Driven Inter-Domain Caching Mechanism for Future Network Design ○Kalika Suksomboon・Yusheng Ji・Michihiro Koibuchi・Kensuke Fukuda・Shunji Abe・Motonori Nakamura・Michihiro Aoki・Shigeo Urushidani・Shigeki Yamada (NII)
3. 無線データ通信サービスにおける通信品質と移動行動の関係分析 ○矢守恭子 (朝日大)・于 冰・山形俊介・田中良明 (早大)

12日午後 (13:15~)

4. ブラウザベースアプリケーションの品質要因考察
○山本浩司・中村天真・本多泰理・池上大介 (NTT)
5. ネットワーク環境がリモートデスクトッププロトコルの性能に与える影響 ○西島孝通・中井悠人・大崎博之 (阪大)・横井伸浩・仲川和志・カオ レタンマン・中本与一・高谷幸宏 (日立)・今瀬 真 (阪大)
6. 生物ネットワークの縮重性・冗長性に基づく情報ネットワーク設計に関する一検討 ○長谷川 剛・村田正幸 (阪大)

7. 一般化された多次元品質空間におけるフラクタル構造の情報解析—局所的フラクタル次元を用いた品質管理—

松本教久 (三武情報)・〇上條賢一 (東洋大)

8. [特別講演] 通信網の信頼性設計に関する考察

渡邊 均 (東京理科大)

9. [特別講演] 超臨場感コミュニケーションのための裸眼立体映像技術

〇河北真宏・岩澤昭一郎・吉田俊介・

Lopez-Gulliver Robert・牧野真緒・井ノ上直己 (NICT)

10. [招待講演] 超臨場感オーディオ

西口正之 (ソニー)

13日午前

1. P2P ライブストリーミングのための離脱耐性のある課税スキーム

〇神田祥伍・藤田 聡 (広島大)

2. mTreebone に基づく離脱耐性のある P2P ライブストリーミング

〇高知竜也・藤田 聡 (広島大)

3. 転送遅延を考慮した WMN 上のアクセスポイント削減手法

〇松本拓也・亀井清華・藤田 聡 (広島大)

4. ポーズ状態を含めた逐次型プログレッシブダウンロード型サービスの再生状態推定法

〇本多泰理・池上大介・

山本浩司・野尻秀樹・高橋 玲 (NTT)

5. リンクの重みを考慮した車車間通信用無線アドホックネットワークプロトコルの性能評価

〇宮田清寛・

行田弘一 (芝浦工大)

6. 三次元空間探索ロボット搭載用指向性制御アンテナの小型化に関する研究

〇菊池昂陽・行田弘一 (芝浦工大)

7. Fast and reliable data collection in WSNs with adaptive redundant transmission

〇Celimuge Wu・

Satoshi Ohzahata・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

13日午後 (12:45~)

8. 音響技術者の評価に基づく聴覚的臨場感に関連する音の印象語の階層関係について

谷口高士 (阪学院大)

9. QoE ベースビデオ出力方式 SCS における被験者属性の違いが閾値選択インタフェース QoE に及ぼす影響

〇横井友洋・田坂修二・布目敏郎 (名工大)

10. 遠隔オフィス間における実用的な 3D 映像通信へ向けた主観評価実験

〇山崎貴宏・西 敬・野中雅人 (OKI)

11. コンテンツに対する期待度を考慮したユーザ満足度評価法

〇小林史弥・増田征貴 (NTT)

12. 多様化する情報通信サービスと品質研究の動向

山崎達也 (NICT)

13. 大規模コンテンツ配信基盤を実現するアクセス網のクラウド化手法

〇山本 茂・石田 潔・曾我部 崇 (IIT)・

小林克志 (理研)・首藤一幸 (東工大)

14. 通信会社の経営指標に対する信頼性の影響

林 正博 (東京都市大)

◎12日 15:05~15:35 に 2011 年度 CQ 研究賞・奨励賞・功労賞表彰式を行います。

☆CQ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月 27日 (木), 28日 (金) 高松市 [未定] テーマ: モバイル/放送融合技術・システム及びアプリケーション, モバイルコンテンツ配信, P2P/アドホックネットワーク, 及びこれらの品質, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合せ先]

布目敏郎 (名工大)

TEL & FAX [052] 735-7785

第一種研究会開催案内

岡本 淳 (NTT)

TEL [0422] 59-6526, FAX [0422] 59-6364

E-mail: cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は, CQ 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

九州支部における開催

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 上田哲史 副委員長 池口 徹

幹事 高坂拓司・神野健哉 幹事補佐 坪根 正・木村貴幸

日時 7月5日 (木) 12:30~16:35

6日 (金) 9:20~13:25

会場 鹿児島県産業会館 3階会議室 (鹿児島市名山町 9-1.)

<http://sangyoukaikan.ec-net.jp/contact.html>

議題 一般

5日

1. 遅延フィードバック制御法の Pade 近似に関する考察

〇青野周平・土居伸二 (京大)

2. 線形予測とリストを用いたハイブリットカオス制御

〇宮地佑典・伊藤大輔・上田哲史 (徳島大)

3. しきい値の摂動を用いたカオス制御の実験的検討

〇山本吉彦・麻原寛之 (大分大)・伊藤大輔・

上田哲史 (徳島大)・合原一幸 (東大)・高坂拓司 (大分大)

4. マルチエージェントネットワークにおける代数的連結度計算のための新しい連続時間アルゴリズム

〇深海竜也・

高橋規一 (九大)

5. マルチエージェントシステムに基づくイベント会場の参加者の流れのモデル

〇前沢郁哉・三堀邦彦 (拓殖大)

6. マルチエージェントシステムに基づく歩行者の流れのモデルに従うデジタル回路の設計

〇豊福貴士・三堀邦彦 (拓殖大)

7. 神経振動子の全域結合系における遅い同期振動について (II)

〇恒木亮太郎・土居伸二 (京大)

8. 特異摂動系におけるアヒル解の数値的考察

〇児玉貴大・土居伸二 (京大)

9. 拡張 BVP 発振器に見られる canard-induced MMOs の回路実験と 3-time scale system に見られる MMOs

〇稲葉直彦 (明大)・清水邦康 (千葉工大)・遠藤哲郎 (明大)

6日

1. ガルトンボードの予測不可能性について

〇新井賢一 (NTT)・原山卓久 (東洋大)・

砂田 哲 (金沢大)・ピータ デイビス (テレグニクス)

2. カオススパイク発振器のダイナミクスに基づく粒子群最適化手法の基礎検討

〇山仲芳和・坪根 正 (長岡技科大)

3. 二質量衝突振動系に生じる grazing 分岐の実験的検討

〇中土居克哉・麻原寛之 (大分大)・軽部 周 (大分高専)・

高坂拓司 (大分大)

4. 非負制約付き凸 2 次計画問題に対する修正乗法型更新アルゴリズムの全域収束性

〇片山慈朗・高橋規一 (九大)

5. 逐次的中期時系列予測—予測精度の評価—

〇平田祥人 (東大)・山田泰司・高橋 純 (あいら)・

鈴木秀幸 (東大)

6. Some properties of extremal points of solution curves for a class of nonlinear equations

〇Tetsuo Nishi・

Shin'ichi Oishi (Waseda Univ.)・
Norikazu Takahashi (Kyushu Univ.)

7. An Effective and Globally Convergent Newton Fixed-Point Homotopy Method for MOS Transistor Circuits

○Dan Niu・Ziming Zhao・Yasuaki Inoue (Waseda Univ.)

8. スマートグリッドシステムに対するリカレントニューラルネットワークを用いた最適化手法に関する一考察

○木村佳佑・木村貴幸 (日本工大)

9. 確率共鳴を応用した経路長変調ネットワーク系の有色雑音環境での考察

○田所幸浩 (豊田中研)・葛西誠也 (北大)・
一木輝久 (豊田中研)

【問合先】

高坂拓司 (大分大)

TEL [097] 554-7799, FAX [097] 554-7790

E-mail: takuji@oita-u.ac.jp

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲

幹事 小崎成治・梅原大祐

日時 7月12日(木) 8:45~17:30

13日(金) 8:30~12:50

会場 沖永良部島知名町中央公民館 (沖永良部空港からバス・タクシーで30分)

議題 次世代ネットワーク, アクセスネットワーク, ブロードバンドアクセス方式, 電力線通信, 無線通信方式, 符号化方式, 一般

12日午前

1. ZigBeeを用いた位置情報システムにおける位置推定法の一検討

○杉下卓也・高瀬浩史・平栗健史・
小川知将 (日本工大)

2. ZigBeeを用いた運動選手のバイタルデータ収集

○神田冬威・岡本 信・辻岡哲夫・原 晋介 (阪市大)

3. 捕捉効果を有する可変チップレート光直交符号の検討

辻岡哲夫 (阪市大)

4. 冗長化PONシステムにおける省電力制御と障害検出に関する一検討

○峯藤健司・菊澤隆司・向井宏明・
水落隆司 (三菱電機)

5. PONにおけるONUスリープ機能がTCP通信に与える影響の評価

○富樫 洸・西山大樹・加藤 寧 (東北大)・
氏川裕隆・鈴木謙一・吉本直人 (NTT)

6. TCP輻輳制御を考慮したONUスリープ技術—IEEE P1904.1 (SIEPON) 準拠10G-EPONへの適用—

○氏川裕隆・山田崇史・坂本 健・鈴木謙一・
吉本直人 (NTT)

7. 高速バースト制御技術を用いた10G-EPON多分岐化の検討

○庵原 晋・野田雅樹・吉間 聡・末廣 雄・白井 聡・
野上正道・有賀 博・中川潤一 (三菱電機)

8. 次世代アクセスネットワークに向けた波長可変型WDM/TDM-PON

○玉置真也・金子 慎・中村浩崇・
木村俊二・吉本直人 (NTT)

12日午後(13:30~)

9. [招待講演] 低遅延ループフリールーティングの検討—先着学習方式—

○宮崎啓二・西村和人・田中 淳 (富士通研)・
小田部 繁 (富士通九州社)

10. [招待講演] モバイルバックホール適用に向けた同期イーサ対応10G-EPONシステム

○田代隆義・吉田誠史・
深田陽一・坂本 健・吉本直人・梶山義夫 (NTT)

11. [招待講演] FFS認証においてDoS攻撃の影響を低減するために問題数を複数に分割した際の演算量及びトレードオフの評価

○豊田健太郎・笹瀬 巖 (慶大)

12. [招待講演] MIMO処理技術を用いた偏波多重光伝送方式における偏波変動追従速度の高速化に関する一検討

○竹島公貴・高橋英憲・釣谷剛宏・森田逸郎 (KDDI研)・
田中英明 (トヨタIT開発センター)

13. [特別招待講演] 国際化とグローバル化—日本のこれから—

浅谷耕一 (工学院大)

14. [特別招待講演] 大規模災害時の情報通信需要特性を考慮したレジリエントネットワーク方式の提案

坂野寿和 (NTT)

15. [特別招待講演] 沖永良部島の格差是正, 近代化の道のりと光ファイバ網整備への取り組み

前利 潔 (知名町教育委員会)

13日午前

1. GPS再放射アンテナを用いた屋内無線通信の同期性能評価

○福岡拓哉・梅原大祐 (京都市工大)・山本高至・
村田英一 (京大)・田野 哲 (岡山大)・守倉正博・
吉田 進 (京大)

2. 屋内GPS同期無線通信システムの5GHz帯伝送特性

○清水直樹・梅原大祐 (京都市工大)・山本高至・
村田英一 (京大)・田野 哲 (岡山大)・守倉正博・
吉田 進 (京大)

3. 物理層ネットワーク・LDPC符号化信号に対するBP復号の特性解析

○小畑祐一・梅原大祐 (京都市工大)・
山本高至・村田英一 (京大)・田野 哲 (岡山大)・
守倉正博・吉田 進 (京大)

4. 短パルスを用いたCANの高速・高多重化

○新田真吾・梅原大祐・若杉耕一郎 (京都市工大)・
石河伸一・坪内利康 (オートネットワーク技研)

5. 全球衛星測位システムを補完するパルス電力制御シェードライトの特性評価

高橋 賢 (広島市大)

6. 適応ピークキャンセラを用いたMIMO-OFDM信号のピーク電力低減に関する検討

○日野貴哉・牟田 修・
古川 浩 (九大)

7. MIMOベクトル符号化伝送における位相制御によるピーク電力抑圧の一検討

牟田 修 (九大)

8. 長距離通信における高効率ARQの一検討

○鈴木尋基・小川知将 (日本工大)・西森健太郎 (新潟大)・
平栗健史 (日本工大)

9. 無線LANにおけるマルチキャストパケット損失率の解析及び実験による評価

○小川知将・齋藤早永・神野健哉・
平栗健史 (日本工大)

10. kHz帯PLCへの適用を目的としたN-PE伝送方式の提案

○吉澤幸晃・都築伸二・山田芳郎 (愛媛大)

◎12日研究会終了後,懇親会を予定していますので御参加下さい。

場所:おきえらぶフローラルホテル内宴会場

会費:一般=4,000円,学生=2,000円(予定)

☆CS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月 休会

9月20日(木),21日(金) 東北大[7月16日(月)]テーマ:ポストIPネットワーク,新世代ネットワーク,ネットワークモデル,インターネットトラヒック,TCP/

IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW 安全性及び一般

10月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

小崎成治 (三菱電機)

TEL [03] 3218-6305, FAX [03] 3218-6454

梅原大祐 (京都工繊大)

E-mail : kanji2012@csken.org

◎最新情報は, CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

★ソフトウェア無線研究会 (SR)

専門委員長 眞田幸俊 副委員長 阪口 啓・藤井威生

幹事 有吉正行・亀田 卓

幹事補佐 田久 修・石津健太郎・矢野一人

日時 7月26日(木) 13:00~18:00

27日(金) 10:00~15:45

会場 屋久島離島開発総合センター (屋久島町宮之浦 1593)

http://www.yakushima-town.jp/?page_id=46 TEL [045] 566-1732 稲森真美子 (慶大)

議題 コグニティブ無線ネットワーク, ヘテロジニアスネットワーク, クロスレイヤ無線技術, パネル討論

26日 一般講演

- ヘテロジニアスネットワークにおけるホットスポットを考慮したピコセルパラメタの最適化 ○下平英和・タン ザ カン・阪口 啓・荒木純道 (東工大)・宮崎功旭・金子尚史・小西 聡・岸 洋司 (KDDI 研)
- 公衆移動通信網へのコグニティブ無線技術の適用に向けた周波数共用方法の提案と屋内実験系による動作検証 ○藤井啓正・三浦俊二・加山英俊 (NTT ドコモ)
- マルコフ連鎖モデルに基づくコグニティブ無線チャンネル選択手法における統計値誤差の影響 ○太田真衣・藤井威生 (電通大)
- フレキシブルワイヤレスシステムにおける複数バンド同時送信時のデジタルプリディストーション技術の検討 ○山田貴之 (NTT)・安藤生真・タン ザカン・荒木純道 (東工大)・加保貴奈・山口 陽・赤羽和徳・上原一浩 (NTT)

パネル討論

- 〔パネル討論〕 日本産業が世界で元気に活躍するために: 大学, 産業界, 国, 学会は何をなすべきか? 加藤修三 (東北大)
- 〔パネル討論〕 コミュニティ, 研究開発, 研究会 森川博之 (東大)
- 〔パネル討論〕 よりインタラクティブな学会活動をめざして 三瓶政一 (阪大)
- 〔パネル討論〕 未定 原田博司 (NICT)
- 〔パネル討論〕 大学の研究室と研究会 眞田幸俊 (慶大)
- 〔パネル討論〕 SR 研から始めよう発表すると楽しくなる研究会 阪口 啓 (阪大)
- 〔パネル討論〕 学会・研究会の活性化に向けて 上原一浩 (NTT)

12. 〔パネル討論〕 無線研究開発と SR 研究会への期待

有吉正行 (NEC)

13. 討論

27日午前 一般講演

- 時間変化に追従可能な高精度占有率測定法の最適設計 ○若尾悠太・田久 修 (信州大)・藤井威生 (電通大)・笹森文仁・半田志郎 (信州大)
- 多数チャンネル環境における学習型占有率測定法を用いたランデブチャンネル ○山北恭之・田久 修 (信州大)・藤井威生 (電通大)・笹森文仁・半田志郎 (信州大)
- 周期定常性を利用した複数信号の検出における周波数オフセット対策に関する研究 ○三浦昂史・梅林健太・鈴木康夫 (東京農工大)
- A Study on MIMO-based Spectrum Sharing ○Samuli Tiiri・Kenta Umebayashi・Yasuo Suzuki (Tokyo Univ. of Agric. and Tech.)

27日午後 一般講演

- Implementation of the IEEE 802.19.1 coexistence system ○Stanislav Filin・Tuncer Baykas (NICT)・Junyi Wang (Self)・Hiroshi Harada (NICT)
- Performance analysis of IEEE 802.19.1 based coexistence system in TV white space ○Tuncer Baykas・Stanislav Filin (NICT)・Junyi Wang (Self)・Hiroshi Harada (NICT)
- Computer Prediction of Broadcaster Contour and Service Areas for VHF/UHF Unlicensed White-Space Radio Systems ○Gabriel Porto Villardi・Hiroshi Harada (NICT)
- オーバーラップ FFT を用いた隣接チャンネルにおける信号検出確率の特性評価 ○佐藤顕裕・稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)
- アンテナ選択におけるアレーアンテナの素子配置に関する一検討 ○森本孝史・梅林健太・鈴木康夫 (東京農工大)
- Practical Relay Node Placement for MIMO Two-way Relay Networks in a U-Shaped Corridor Environment ○Namzilp Lertwiram・Gia Khanh Tran・Kei Sakaguchi・Kiyomichi Araki (Tokyo Inst. of Tech.)

☆SR 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月17日(水)~19日(金) 福岡大 [8月10日(金)] テーマ: 無線分散ネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

石津健太郎 (NICT)

TEL [046] 847-5098, FAX [046] 847-5110

E-mail : ishidu@nict.go.jp

◎最新情報は SR 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/sr/jpn/>

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月4日(木), 5日(金) 幕張メッセ [7月9日(月)]

テーマ: パターン認識によるインタフェースの未来

10月のPRMU 研究会は、「パターン認識によるインタフェースの未来」をテーマに開催致します。

インターネットをはじめとするサイバースペースでは、様々な情報が蓄積され、多種のサービスが展開されています。人がそれら情報や機能に効率良くアクセスするためには、実世界からサイバースペースへの窓口となるインタフェースが重要な役割を果たします。身近なインタフェースデバイスとしてはスマートフォンに代表されるモバイル情報端末が年々多岐にわたる製品として発売されており、またセンサとしても、カメラを筆頭に、タッチパネルや再び着目されている距離センサなどがあり、多様な人由来情報を計測することが可能となっております。ここでは「何を」「どのように」計測するかが重要となります。例えば人の顔・動き・声や更には情動といった内的状態をも計測・認識することで、より人との親和性の高いインタフェースが実現されるでし

う。また、どのような情報・サービスと結びつけていくのかもインタフェースを議論する上では必要です。近年隆盛なソーシャルメディアとの連携を考えることで新たなインタフェースが創出されるかもしれません。また一方で、情報提示としてのMR/ARといった人とのインタラクション技術もこれからのインタフェースを語る上では欠かせません。更に、食事や料理中の人間の行動解析や食事ログの認識ができれば、食と人を結びつける新しいインタフェースが創り出されるでしょう。このように、インタフェースに関する研究・技術分野は多岐にわたり、それらが融合していくことが重要となりますが、そこではパターン認識がコア技術の一つとなると考えられます。そこで、PRMU 研究会では、食メディア (CEA) 研究会に協賛頂き、「パターン認識によるインタフェースの未来」と題したテーマセッションを企画致しました。インタフェースに関する、未来を見据えた萌芽的な研究から応用研究まで幅広く募集致します。関連する様々な分野の研究者各位の御投稿・御参加をお願い申し上げます。

なお、テーマセッションに加えて一般セッションも開催致しますので、こちらへの御投稿も併せてよろしくお願い致します。更に、同一会場にて、最新のコンシューマデジタル技術に触れることができる CEATEC 2012 も開催されておりますので、多数の御投稿、御参加をお待ち申し上げます。

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

— 各種証明, 閲覧の手数料について —

電子情報通信学会では、各種の証明, 閲覧について、下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお、突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので、必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は、TEL [03] 3433-6692

種 類	内 容	料 金 (税 込)	備 考
証明手数料	特許証明	会 員 200 円/件 非会員 500 円/件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会 員 無 料 非会員 300 円/冊 コピー 10 円/枚	料金は 1 冊 (綴) ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は、非会員の料金となります。

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第13回フォトニックネットワークチュートリアル講演会

電子情報通信学会フォトニックネットワーク研究会は、超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会（PIF）と共催で、チュートリアル講演会（第二種研究会）を開催致します。

日時 平成24年7月27日（金） 14:00～17:00

会場 テレコム先端技術研究支援センター（SCAT）5階会議室（新宿区新宿1-20-2 小池ビル <http://www.scat.or.jp/scat/kotu.html>）

参加費 電子情報通信学会会員、PIF会員、及び学生は無料。一般の方は5,000円。（テキスト代別途3,000円）

定員 70名（定員になり次第締切りますのでお早めにお申し込み下さい。）

チュートリアル講演

1. 10ベタフロップスのスーパーコンピュータ「京」
渡辺 貞（理研）

2. クラウドコンピューティングの技術動向
小川 宏（NTTソフトウェアイノベーションセンター）

参加申込 <http://www.scat.or.jp/photonic/>より事前登録をお願い致します。当日は登録時の入力画面をプリントアウトして御持参願います。多数の方の御参加をお待ちしております。

【問合先】

品田 聡（NICT）

TEL [042] 327-5679, FAX [042] 327-7035

E-mail : sshinada@nict.go.jp

主催 フォトニックネットワーク研究専門委員会、超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会

●第3回デジタル信号処理による新しい光伝送技術—100G and Beyond—

委員長 石田 修（NTT）

副委員長 水落隆司（三菱電機）

日時 平成24年7月27日（金） 8:45～16:30

会場 ニューウェルシティ湯河原（熱海市泉107。JR東海道線：湯河原駅下車、タクシー（5分）、もしくはバスで不動滝行、奥湯河原行乗車、理想郷バス停下車（10分）。<http://www.welcity-yugawara.co.jp/>）

概要

デジタル信号処理を用いる光通信技術は、100Gbps級の伝送技術、光部品技術の成熟により、その実用化が進展していますが、今後更なるネットワークトラフィックの増加が予想され、チャネル当たりの高速化（400G・1Tbps/ch）や、周波数利用効率の増加（10bit/s/Hz）など、光通信技術の高度化に対する期待は、ますます膨らむものと予想されます。本研究会では、光伝送技術の基礎に関するチュートリアル講演（OCS Summer School）を2件開催し、光技術に関する基礎知識を習得／再確認頂くとともに、最新の光通信システム、光通信デバイス技術の研究・開発動向に関するセッションを開催し、デジタル信号処理による新しい光通信技術について、広く議論を行います。午前のOCS Summer Schoolで知りたかった技術をしっかりと学び、午後の

セッションで最新技術について大いに議論しましょう。

プログラム

第一部 OCS Summer School 2012

〔チュートリアル講演〕 光導波路の基礎と応用

岡本勝就（アイディ）

〔チュートリアル講演〕 光通信のための周波数領域等化技術

林 和則（京大）

午後

第二部 100G+Over 100G 光デバイス要素技術

〔招待講演〕 Beyond 100Gに向けたデジタルコヒーレント信号処理LSIの展開
尾中 寛（富士通）

〔招待講演〕 ハイブリッド型ポリマ光変調器

榎波康文（広島大）

〔招待講演〕 超100G伝送に向けた低損失、低非線形光ファイバ技術
平野正晃（住友電工）

第三部 100G+Over 100G 光システム要素技術

〔招待講演〕 光カー効果の補償技術

森 洋二郎・菊池和朗（東大）

〔招待講演〕 100Tb/s級大容量光トランスポートネットワークのための高次多値変調技術
小林孝行（NTT）

〔招待講演〕 空間位相制御技術を用いたモード励振・分離に関する研究
岡本 淳（北大）

参加資格 特に問いません。

参加費 一般 3,000円、学生無料

参加申込 申込み方法につきましては、ホームページを御参照願います。<http://www.ieice.org/cs/ocs/jpn/>

前日7月26日に同会場にて第一種研究会を開催します。是非御参加下さい。

【問合先】 OCS研究会幹事

平野 章（NTT）

TEL [046] 859-8554, FAX [046] 859-5541

E-mail : hirano.akira-ocs@lab.ntt.co.jp

主催 光通信システム研究専門委員会

●第4回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 裏 升吾（京都工繊大）

副委員長 粕川秋彦（古河電工）

日時 平成24年7月27日（金） 13:00～17:40（予定）

会場 東京大学本郷キャンパス工学部2号館3階電気系会議室1（文京区本郷7-3-1。 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03_j.html）

テーマ 「大容量短距離光通信用集積デバイスとその応用、その他集積光デバイス一般」

第4回研究会を下記の内容で開催します。長距離通信インフラに大きな市場を開拓してきた光技術は、徐々に短距離用途への展開が始まっています。近年では特に、電気配線における配線の複雑さや伝送速度などの限界を乗り越えるために電気配線を光で置き換える「光インターコネクション」と呼ばれる分野の研究が盛んです。光インターコネクション分野では、光ファイバ・光導波路などの伝送路、送受信光モジュール、光源・変調用などの光デバイスに対し高性能化、高信頼性化、低コスト化が強く求められています。第4回集積光デバイスと応用技術研究会では、このような大容量短距離光通信用集積デバイスとその応用に関し、以下のような御講演をお願いすることになりました。活発な議論ができますよう、多数の方々の御参加をお待ちしております。

プログラム予定

[招待講演 1] 光インターコネクタ技術のサーバへの応用

山本 毅 (富士通研)

[招待講演 2] 1060 nm VCSEL を用いた並列光モジュール

那須秀行・石川陽三・根角昌伸・伊澤 敦・上村寿憲・
長島和哉・吉原正和・池永賀彦 (古河電工)

[招待講演 3] 導波路集積基板を用いた高密度光マルチチップモ
ジュール

中川 茂 (日本 IBM)

[招待講演 4] レンズ集積光デバイスとポリマー光導波路を用い
たチップ間高速光回路実装ボード

松岡康信 (日立)

[招待講演 5] 100 GbE 短距離伝送用 25.8 Gbps 直接変調 DFB
レーザ

境野 剛 (三菱電機)

[招待講演 6] OUT4 対応高速直接変調 DFB レーザ

山崎靖夫・甲斐田憲明・竹内辰也・長谷川太郎・岡田亘正・
秋山 幹・千船外史・大西 裕・上坂勝己・生駒暢之・
藤井卓也・中林隆志 (住友電工)

[招待講演 7] チップ間/チップ内光インターコネクション用
フォトニック結晶レーザ

松尾慎治 (NTT)

フリーディスカッション (18:00~)

参加資格 特に問いません。

参加申込 研究会開催当日、会場にて受け付けます (事前申し込
み不要)。

参加費 一般参加者 5,000 円, 学生 1,000 円

[研究会に関する問合せ] [第 4 回研究会担当委員]

石川卓哉 (古河電工)

TEL [045] 311-2293, FAX [045] 314-5190

E-mail: ishikawa.takuya@furukawa.co.jp

[その他の研究会一般に関する問合せ先] [幹事]

大儀義孝 (NTT フォトニクス研)

TEL [046] 240-3282, FAX [046] 240-4345

E-mail: ohiso@aecl.ntt.co.jp

山下兼一 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7423, FAX [075] 724-7400

E-mail: yamasita@kit.ac.jp

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

●第 25 回 回路とシステムワークショップ

第 25 回 回路とシステムワークショップ実行委員長

田中 聡 (村田製作所)

第 25 回「回路とシステムワークショップ」を昨年に続き、真夏の淡路島で開催致します。本ワークショップは、回路とシステムに関連した分野の研究者や技術者が集い、招待論文や投稿論文、パネル討論を通じて、分野内だけでなく分野間にまたがる境界領域の課題解決と将来の研究分野の探求を目的としています。今回は、荒 宏視氏 (日立中研) により特別招待講演「センサ活用による行動変革」をはじめ、12 件の招待講演を含む多彩なプログラムを用意しております。研究者間の技術交流の場として、また最先端の研究に接する絶好の機会ですので、皆様奮って御参加下さい。

ホームページ: <http://www.ieice.org/ess/kws/>

期日 平成 24 年 7 月 30 日 (月), 31 日 (火)

会場 淡路夢舞台国際会議場 (淡路市夢舞台 1. TEL [0799] 74-1020)

会場受付 7 月 29 日 (日) 17:30~19:00

ウエスティンホテル淡路 2 階ロビー

30 日 (月) 8:30~, 31 日 (火) 8:30~

淡路夢舞台国際会議場 3 階

特別招待講演: 「センサ活用による行動変革」 荒 宏視 (日立)

招待講演: 下記の招待講演などを企画しています。

「ポストカオス制御に向けた取り組み」 上田哲史 (徳島大)

「複雑系数理モデル学の通信ネットワーク応用研究における新しいアプローチ」 長谷川幹雄 (東京理科大)

「CMOS 技術による生体埋め込み対応バイオデバイス」

徳田 崇 (奈良先端大)

「医療・ヘルスケア応用のための生体情報センシングシステム～信頼性向上とエネルギー削減手法～」

今井正治・武内良典 (阪大)

「時間分解能型オールデジタル AD 変換器 TAD」

渡辺高元 (デンソー)

「学生向け音声信号処理チュートリアル」 川村 新 (阪大)

「画像フィルタリング, 変換, スパース表現」

村松正吾 (新潟大)

「遅延ばらつき適応回路: 遅延ばらつき状況下での高性能回路」

高橋篤司 (東工大)

「震災関連 (仮題)」

林出吉生 (ルネサエレクトロニクス)

「多面体木工の幾何学」 中川 宏 (科学協力学際センター)

「ハイブリッドダイナミクスに基づく行動解析とその応用」

鈴木達也・奥田裕之 (名大)

参加費 早期申込期限 (7 月 4 日 (水)) までに申し込みされた場合、参加費が下記のとおり異なります。7 月 4 日 (水) までに、システムによる参加申込と振込が完了している場合に早期申込の扱いとします。

7 月 4 日 (水) まで 7 月 5 日 (木) から開催期間中

会員 20,000 円 23,000 円

非会員 25,000 円 28,000 円

学生 10,000 円 11,000 円

※送金手数料は、各自御負担下さい。

※領収書は開催期間中の受付にてお渡しします。

※参加費には論文集代、懇親会費を含みます。

※同伴者の懇親会費用は、学生 3,000 円、一般 6,000 円となっています。

※会員とは、電子情報通信学会、電気学会または IEEE の個人会員のことです。

参加申込方法 参加申込はワークショップのホームページよりお願いします。会場の受付で参加申込することも可能です。

参加費払込先 ゆうちょ銀行 (郵便局) の窓口等に置かれている「払込取扱票」にて 7 月 10 日 (火) まで (早期申込の場合は 7 月 4 日 (水) までに) に次の口座にお振込み下さい。

口座番号: 01320-7-108297

加入者名 (漢字): 回路とシステムワークショップ

加入者名 (カナ): カイロトシステムワークショップ

「払込取扱票」の通信欄には必ずシステムが発行した参加登録番号、氏名及び金額を記載して下さい。複数の費用をまとめて払込む場合は、全員の情報を明記して下さい。また、ゆうちょ銀行以外の金融機関 (一部を除く) から振込可能です。その場合、下記を指定して下さい。ただし、手数料はゆうちょ銀行で振り込むより高くなる場合があります。また、参加登録番号及び複数の費用をまとめる場合にはその内訳が確認できるように工夫して下さい。

店名 (店番): 一三九 (イチサンキュウ) 店 (139)

預金種目: 当座 口座番号: 0108297

氏名：カイロシステムワークショップ
振込方法の詳細はホームページを参照して下さい。
参加に関する問合せ先：

山口真之介（参加担当幹事）
〒820-8502 飯塚市川津 680-4
九州工業大学情報工学部
TEL [094] 829-7572

E-mail：kws-25regist@mail.ieice.org

交通：高速バスを使って、関西空港、伊丹空港から 90 分～120 分、新神戸駅から 60 分、三ノ宮駅（神戸）から 45 分かかります。新神戸駅発（三ノ宮駅に停車）の高速バスは、1 時間に 1, 2 本あります。

詳細は下記を御参照下さい。

- * 淡路夢舞台国際会議場の案内ページ
<http://www.yumebutai.org/access/access.html>
- * 隣接するウェスティンホテル淡路の案内ページ
(時刻表があります)
<http://www.westin-awaji.com/guide/access/>

宿泊：会場に隣接するウェスティンホテル淡路に特別料金（通常宿泊料金の半額）で宿泊できるプランを用意しています。

* お一人様一泊の料金（朝食付き、税・サービス料込）は以下のとおりです。

利用人数	お一人様の料金
1 名利用	1 名 13,500 円
2 名利用	1 名 9,000 円
3 名利用	1 名 7,500 円（1 名はエクストラベット）

- * 部屋はデラックスツイン 42 平米で、全室オーシャンビューです。
- * 御家族の御利用も可能です。また、上記料金は開催前日、翌日等（日曜日～木曜日の平日）にも適応されます。これらの曜日以外については、下記担当者に御連絡下さい。
- * お一人の場合でも「2 名利用」を選択可能です。この場合、旅行代理店で部屋割をアレンジすることになります。
- * 一部屋 3 名利用はグループで申し込まれる場合に限りです。
- * 子供料金について

1. お子様ベッドを使用する場合
大人と同額の宿泊料金がかかります。
2. お子様ベッドを使用しない（親が添い寝する）場合
ルームチャージは無料
朝食代：未就学児 無料 小学生 1,500 円

* このケースでの朝食代の支払い、部屋付けもしくはレストランでの支払いで精算することになります。

3. ベビーベッドを使用する場合（お子様が幼児である場合に限定されます）
ベビーベッドは無料、ルームチャージ無料、朝食代無料

* ベビーベッドは台数に限りがあるため、必要な場合はあらかじめ下記担当者に御連絡下さい。

- * 取消料 お申込後、参加者の御都合で予約を取り消しされる場合は、1 名様につき下記の取消料を頂きます。
- | | |
|--------------|------|
| 宿泊日の 8 日前以前 | 無料 |
| 7 日前～2 日前 | 20% |
| 前日 | 40% |
| 当日 | 50% |
| 旅行開始後の取消／無連絡 | 100% |

* 申し込み方法 オンラインシステムで開催 10 日前まで受け付けます。本ワークショップホームページからアクセスして下さい。オンサイトでも受付可能ですが、空きがなければ御希望

に沿えないことがあります。

- * 宿泊申し込み締切日
宿泊申込締切は 7 月 18 日（水）となっております。
締切日以降の変更・取消につきましては、メールまたは FAX にて下記(株)JTB 西日本 MICE センター第 25 回回路とシステムワークショップ係までお申し出下さい。

宿泊に関する問合せ先

高島康裕（会場・宿泊担当幹事）
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1-1
北九州市立大学国際環境工学部情報メディア工学科
TEL [093] 695-3729

E-mail：kws-25local@mail.ieice.org

株式会社 JTB 西日本 MICE センター
第 25 回 回路とシステムワークショップ係
TEL [06] 6252-2861, FAX [06] 6252-2862
E-mail：westec_op2@west.jtb.jp

営業時間：9：30～17：30（土・日・祝祭日は休業）

プログラム

30 日

セッション An1-1 分岐解析（9：40～10：30）

座長：荒井伸太郎（香川高専）

1. 濾波されたベース信号を有する分岐ニューロンの解析
桐川翔太・斎藤利通（法政大）
2. 離散化次元マップの分岐現象について
堀本成俊・斎藤利通（法政大）

セッション An1-2 複雑系におけるカオス制御（10：45～12：00）

座長：上手洋子（徳島大）

3. [招待] ポストカオス制御に向けた取り組み
上田哲史（徳島大）
4. 周期的な境界を有する衝突振動系に対する安定性解析手法の提案
麻原寛之（大分大）・Soumitro Banerjee
(Indian Inst. of Science Education and Research)
・高坂拓司（大分大）
5. 6 個の硬発振器の環状結合系におけるスイッチング準周期解の分岐
神山恭平（明大）・小室元政（帝京科学大）
遠藤哲郎（明大）

セッション An1-3 カオスとその応用（13：15～14：30）

座長：山中脩也（早大）

6. カオス暗号のランダム性改善と処理の高速化に関する研究
栗山脩平・吉田大希・佐藤泰智・渡辺大貴・中山有洋・
田畑健太・鎌田弘之（明大）
7. カオス暗号システムを固定小数点演算により実現した場合付与される特性とその評価に関する研究
田畑健太・
渡辺大貴・佐藤泰智・中山有洋・吉田大希・栗山脩平・
鎌田弘之（明大）
8. 環状結合カオス回路で観測される 3 周期解とカオス解の衝突
上手洋子・西尾芳文（徳島大）

セッション An1-4 非線形回路（15：00～16：15）

- 座長：坪根 正（長岡技科大）
9. カオスのスパイク発振器が呈するスパイク列の解析
四辻和希（法政大）・三堀邦彦（拓殖大）・斎藤利通（法政大）
10. 粒子群最適化法による単相 PWM DC-AC インバータのスイッチングタイミング最適化
進藤卓也・
神野健哉（日本工大）
11. Wavelet Method to Calculate Steady-State Periodic Solution in Power Electronics Circuits
Seiichiro Moro (Univ. of Fukui)

- セッション Ba1-2 [招待講演] (10:45~12:00)
 座長:堀田正生(東京都市大)
12. [招待] 時間分解能型オールデジタル AD 変換器 TAD
 渡辺高元(アソウ)
- セッション As1-3 医工連携 I (13:15~14:15)
 座長:吉田 毅(広島大)
13. [招待] CMOS 技術による生体埋め込み対応バイオデバイス
 徳田 崇(奈良先端大)
- セッション Ba1-4 アナログ回路とテスト技術 (15:00~16:15)
 座長:傘 昊(東京都市大)
14. サブスレシヨルドのみで動作する極低電圧アナログ回路向け
 0.5V 動作温度補償回路 原田知親・森 隆司(山形大)
15. スタガ増幅回路設計に関する検討
 ニコデムスレディアン(東工大)
16. Two-Tone Signal Generation for Testing of Communication
 Application Devices Keisuke Kato・Fumitaka Abe・
 Kazuyuki Wakabayashi・Chuan Gao・Takafumi Yamada・
 Haruo Kobayashi(群馬大)・Osamu Kobayashi(STARC)・
 Kiichi Niitsu(群馬大)
- セッション Bd1-1 基礎信号処理 (9:30~10:30)
 座長:中本昌由(広島大)
17. 位相スペクトルの差の確率的変動の位相限定相関関数に対す
 る影響の解析 伊藤理人・八巻俊輔・阿部正英・
 川又政征(東北大)
18. 実信号の位相スペクトルの差の確率的変動にともなう位相限
 定相関関数のふるまい 八巻俊輔・阿部正英・
 川又政征(東北大)
19. An Adaptive Comb Filter with Flexible Notch Gain for
 Extracting Wideband Desired Signal Yosuke Sugiura・
 Arata Kawamura・Youji Iiguni(Osaka Univ.)
- セッション Bd1-2 画像処理 I (10:45~12:05)
 座長:黒崎正行(九工大)
20. PCA と SVM によるクレーター検出法の評価 本田翔平・
 武田好明・青山典史・田名網敬大・田畑健太・
 鎌田弘之(明大)
21. 混成 DirLOT を利用した ISTA に基づく画像復元
 相澤夏希・村松正吾・湯川正裕(新潟大)
22. 携帯端末を考慮した印刷画像からの情報検出手法の高速度化
 日山 文・玉置公寿・棟安実治・花田良子(関西大)
23. 鍵の解析攻撃に耐性のある画像電子透かし法 藪木直人・
 中本昌由(広島大)・棟安実治(関西大)・大野修一(広島大)
- セッション Bd1-3 [招待講演 I] (13:15~14:30)
 座長:伊藤康一(東北大)
24. [招待] 学生向け音声信号処理チュートリアル
 川村 新(阪大)
- セッション Bd1-4 フィルタ設計 (15:00~16:20)
 座長:八巻俊輔(東北大)
25. 逐次射影法による複素係数を有する FIR デジタルフィル
 タの一設計法 宮田統馬・寺本光佑・相川直幸(東京理科大)
26. StPSO による CSD 係数 FIR フィルタ設計のための近傍解生
 成法の一検討 齋藤一幾・陶山健仁(東京電機大)
27. SOA による IIR フィルタ設計のための初期値検討
 伊東洋祐・陶山健仁(東京電機大)
28. システム同定に基づく安定な IIR フィルタの非反復設計法
 清水尚之・中本昌由・山本 透(広島大)
- セッション C1-2 動作合成 (11:10~12:00)
 座長:原 祐子(奈良先端大)
29. 剰余 SD 数の非零桁数を削減する変換アルゴリズム
 田中勇樹・魏書 剛(群馬大)
30. 高集積かつ高周波な回路に対応した複数電源電圧指向の高位
 合成手法 阿部晋矢・柳澤政生・戸川 望(早大)
- セッション C1-3 レイアウト設計とタイミング解析 (13:15~
 14:30)
 座長:澁谷利行(富士通研)
31. 2 線 RSL メモリ方式を用いた耐タンパ暗号回路設計手法
 —CLEFIA 暗号への適用と面積評価— 柴谷 恵・
 岩井克彦・汐崎 充・藤野 毅(立命館大)
32. 臨界制動特性を持つ電源網による電源変動の抑制
 久保元樹・藤井秀行・小林義法・御堂達也・大塚史記・
 小林遼太・須藤俊夫(芝浦工大)
33. 一般同期方式における最適 2 クラスタ分割手法
 小平行秀(会津大)・高橋篤司(東工大)
- セッション C1-4 [招待講演 I] (15:00~16:00)
 座長:小林和淑(京都工繊大)
34. [招待] 遅延ばらつき適応回路:遅延ばらつき状況下の高性
 能回路 高橋篤司(東工大)
- セッション D1-1 アルゴリズム I (9:15~10:15)
 座長:相田 慎(豊橋技科大)
35. Compact Codes of Rooted Trees
 Katsuhisa Yamanaka(Iwate Univ.)
36. スライス構造型フロアプランの列挙 越前俊一・
 高橋俊彦(新潟大)
- セッション D1-2 アルゴリズム II (10:30~12:00)
 座長:中山慎一(徳島大)
37. ネットワーク制御系のための Self-Triggered モデル予測
 制御 小林孝一・平石邦彦(北陸先端大)
38. 点の非隣接性を考慮したグラフの最小重み点カバー問題解決
 山崎雄太・田岡智志・渡邊敏正(広島大)
39. フローネットワーク故障耐性のための頂点容量割り当て法の
 性能強化 坂本達哉・田岡智志・渡邊敏正(広島大)
- セッション D1-3 特別セッション:幾何学的な図形の数理
 (13:30~14:30)
 座長:山中克久(岩手大)
40. [招待] 多面体木工の幾何学
 中川 宏(科学協力学際センター)
- セッション D1-4 特別セッション:ハイブリッドダイナミクス
 とその応用 (15:00~16:00)
 座長:小中英嗣(名城大)
41. [招待] ハイブリッドダイナミクスに基づく行動解析とその
 応用 鈴木達也・奥田裕之(名大)
- セッション SP [特別招待講演] (16:30~17:30)
 座長:田中 聡(村田製作所)
42. [招待] センサ活用による行動変革 荒 宏規(日立)
- 31 日
- セッション An2-1 学習と最適化 (9:15~10:30)
 座長:松下春奈(香川大)
1. 簡素な動的バイナリニューラルネットワークの学習機能
 上月良太・斎藤利通(法政大)
2. 連続法の離散化に基づく強度変調放射線治療計画法の収束性
 田中義浩・藤本憲市・吉永哲哉(徳島大)
3. 多目的最適化における内挿/外挿的な領域での遺伝的多段階
 交叉の有効性 谷 拓夢・花田良子・棟安実治(関西大)

セッション An2-2 複雑コミュニケーションサイエンス (10:45~12:00)

座長: 青森 久 (中京大)

4. [招待] 複雑系数理論モデル学の通信ネットワーク応用研究における新しいアプローチ 長谷川幹雄 (東京理科大)
5. A Routing Strategy with Load-Balancing Effects by Chaotic Neural Networks Takayuki Kimura (Nippon Inst. of Tech.)・Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)
6. ノンコヒーレントカオス通信システムのためのカオスダイナミクスの分離を利用した誤り訂正手法の評価 荒井伸太郎 (香川高専)・西尾芳文 (徳島大)・山里敬也 (名大)

セッション An2-3 粒子群最適化法 (13:30~14:45)

座長: 木村貴幸 (日本工大)

7. 鈍感な決定論的粒子群最適化法 丸山一紀・佐野亮介・齊藤利通 (法政大)
8. 自立心を持つ粒子群最適化の最適パラメータ設定法の提案 松下春奈 (香川大)
9. PSOにおける収束粒子の多様な再初期化に関する検討 井瀧悠平・神尾武司・藤坂尚登・生岩量久 (広島市大)

セッション As2-1 医工連携 II (9:15~10:30)

座長: 土谷 亮 (京大)

10. [招待] 医療・ヘルスケア応用のための生体情報センシングシステム—信頼性向上とエネルギー削減手法— 今井正治・武内良典 (阪大)

セッション Ba2-2 電源回路 (10:45~12:00)

座長: 松野隼也 (東芝)

11. デジタル選択方式スイッチトキャパシタ電源の出力抵抗の一般解析 荅邦 寛・寺田晋也 (熊本高専)・江口 啓 (福岡工大)・大田一郎 (熊本高専)
12. SIBO DC-DC Converter の電流モード制御回路の実現 高井伸和・岡田孝志・岩瀬浩之・小林春夫・小堀康功 (群馬大)・小田口貴宏・中西 功・根本謙治 (AKMテクノロジー)・松田順一 (旭化成東光パワーデバイス)
13. 任意位相シフトアナログフィルタの自動合成の検討 高井伸和・新井直樹・小林春夫 (群馬大)

セッション As2-3 低消費・信頼性解析 (13:30~14:45)

座長: 黒川 敦 (弘前大)

14. 超低消費電力 STT-RAM を Magnetic キャッシュに用いた Run-time Normally-off Processor 野村久美子・野口絃希・安部恵子・藤田 忍 (東芝)
15. 混合モデルを用いた多層電源プレーン的高速過渡解析 渡邊貴之 (静岡県立大)
16. 回路の最小動作電圧改善とその予測精度向上の一検討 川島潤也・越智裕之・筒井 弘・佐藤高史 (京大)

セッション As2-4 解析技術 (15:00~16:15)

座長: 渡邊貴之 (静岡大)

17. 一般化線形相補性理論と整数計画法を用いた区分的線形抵抗回路の完全解析 加藤弘之・山村清隆 (中大)
18. フリップフロップのNBTI信頼性性能解析 渡邊眞之・星 誠 (弘前大)・宮崎 浩・小野信任・蜂屋孝太郎 (ジグット)・黒川 敦 (弘前大)
19. 伝熱材料を評価するシステムの検討 斎藤靖弘・小室貴紀 (神奈川工科大)

セッション Bd2-1 音声信号処理 I (9:30~10:30)

座長: 相川直幸 (東京理科大)

20. PSOを用いた複数解探索による音源追尾法の提案

大森征一・前田隼一朗・松本拓也・陶山健仁 (東京電機大)

21. スペクトル包絡の相互相関を用いたパラメトリックスピーカの復調度測定 生藤大典・中山雅人・西浦敬信 (立命館大)
22. Log-TSPを用いたパラメトリックスピーカの2次高調波歪測定 益永翔平・生藤大典・森勢将雅・中山雅人・西浦敬信 (立命館大)

セッション Bd2-2 画像処理 II (10:45~12:05)

座長: 久保田 彰 (中大)

23. ステレオ法に基づく立体視デジタルビジョンチップの検討 山田秀磨・大谷真弘 (奈良高専)
24. ステレオ動画像のための画像セグメンテーションと画像対応付けの組み合わせによる視差マップ生成手法の検討 佐々木満春・伊藤康一・青木孝文 (東北大)・石上智英・西村明夫 (パソナ)
25. 動画像符号化方式 VP8 のイントラ予測モード検出の高速化 藤田 玄・福住哲平・三浦哲史 (阪電通大)
26. 暗号領域での認証を用いた JPEG 2000 画像無線伝送システムの実装に関する一検討 伊東 亮・松尾宗明・宮岡佑弥 (九工大)・井上昂治・江口翔馬 (久留米高専)・黒崎正行・尾知 博 (九工大)・黒木祥光 (久留米高専)・宮崎明雄 (九州産大)

セッション Bd2-3 [招待講演 II] (13:30~14:45)

座長: 伊藤康一 (東北大)

27. [招待] 画像フィルタリング, 変換, スパース表現 村松正吾 (新潟大)

セッション Bd2-4 音声信号処理 II (15:00~16:00)

座長: 川村 新 (阪大)

28. 動電型間接スピーカを用いた残響時間制御に基づく三次元音場再生システム 辻井秀弥・中山雅人・西浦敬信 (立命館大)
29. 登録語から生成するガーベジモデルのモデル構造に関する実験的検討 廣田秀一朗・早坂 昇・飯國洋二 (阪大)
30. スペクトル積とフレーム時間方向フィルタによる実環境下音声区間検出 若杉淳一郎・早坂 昇・飯國洋二 (阪大)

セッション C2-1 組込みマルチコアシステム (9:15~10:30)

座長: 高瀬英希 (京大)

31. OSの電力管理下におけるラスト・レベル・キャッシュのリーク削減手法の比較 有間英志・薦田登志矢・三輪 忍 (東大)・野口絃希・野村久美子・安部恵子・藤田 忍 (東芝)・中村 宏 (東大)
32. 動的再構成可能なセルアレイプロセッサ DRCAP2 の開発 森下賢幸・古賀健一・小椋清孝・伊藤信之 (岡山県立大)
33. 複数のキャッシュ構成を同時に表現するデータ構造とこれを用いた高速で正確な2コアキャッシュシミュレーション 多和田雅師・柳澤政生・戸川 望 (早大)

セッション C2-2 [招待講演 II] (10:45~11:45)

座長: 佐藤高史 (京大)

34. [招待] (仮) 震災関連 林出吉生 (ルネサスエレクトロニクス)
- セッション C2-3 [特別セッション] GPGPU による VLSI 設計及び高信頼性設計 (13:30~15:10) 座長: 中武繁寿 (北九州市大)

35. ゲート回路シミュレーションにおける GPGPU を利用したアサーション自動抽出 小野翔平・松本剛史・藤田昌宏 (東大)
36. クリロフ部分空間法を用いた電源回路網解析の GPU 実装による高速化 森下拓海・筒井 弘・越智裕之・佐藤高史 (京大)

37. モンテカルロシミュレーションによるソフトエラー耐性ラッチ, SRAM の信頼性評価 矢野 憲・林田隆則・佐藤寿倫 (福岡大)
38. ハミング符号に基づく AES の SEU 訂正可能回路の設計 関根 翔・木村晋二 (早大)
- セッション D2-1 システムバイオロジー (9:15~10:15)
座長: 宮本俊幸 (阪大)
39. 状態推移シミュレーションによる時計遺伝子機構のシステム解析 森 渉・Adrien Faure・松野浩嗣 (山口大)
40. 大腸菌 2 遺伝子欠失による生育影響と転写データベース照合による新関連性発見の試み 相原大輝 (山口大)・竹内力也・森 浩慎 (奈良先端大)・松野浩嗣 (山口大)
- セッション D2-2 グラフ理論 (10:30~12:00)
座長: 間島利也 (広島国際大)
41. 2 部グラフの細分の (d, 3) トラックレイアウト 宮内美樹 (NTT)
42. 5-正則グラフの連結支配集合への分割の NP-困難性について 森本崇恭・山田敏規 (埼玉大)
43. カーネルセット問題における極小決定セット発見手法の提案 中田 充・高地くるみ・葛 崎偉 (山口大)

●光応用電磁界計測 (PEM) 時限研究専門委員会第 1 回研究会

委員長 陳 強 (東北大)

本時限研究専門委員会は、急速に進化・変貌を遂げつつある電磁界環境を正確に評価・計測するために、電磁界と光・物質との多彩な応答を利用した、新しい電磁界計測技術を追求することを目標としています。アンテナや電磁両立性等の電磁界計測分野と光センサ・光デバイス等の応用光学分野の専門家がコアメンバーです。対象とする電磁界は、アンテナや高周波回路だけでなく、プラズマ電磁界、宇宙到来電磁波など、人工及び自然発生電磁界全般を含みます。また、それらと関連性の深い各種の現象についても議論します。光・電磁界・マイクロ波・アンテナ等の様々な最先端研究分野を有機的かつ横断的に結びつけた新しい研究領域を開拓して、その成果を社会へ還元することを目指します。

第 1 回の研究会を下記日程で開催します。一般講演も募集します。多数のお申込み、御参加をお待ちしております。

期日 平成 24 年 8 月 23 日 (木), 24 日 (金)

会場 東北大学大学院工学研究科電子情報システム・応物系南講義棟 103 号室 (仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05)

テーマ: 光応用電磁界計測技術の現状と今後の展開

23 日 13:30~

[特別講演] LiNbO₃ を用いた電界センサの歴史と今後の課題
桑原伸夫 (九工大)

講演 黒川 悟 (産総研)・大西輝夫 (NTT ドコモ) 他

24 日 10:00~

光応用電磁界計測技術意見交換会 (仮称)

各委員のショートプレゼンテーション他

一般講演

産総研電磁界クラブ 電磁界計測セミナー

参加費 (資料代金) 2,000 円

一般講演申込締切 7 月 13 日 (金) 詳細は研究会ホームページを御覧下さい。

[申込・問合せ先]

村田博司 (阪大大学院基礎工学研究科)

TEL [06] 6850-6306

E-mail: murata@ee.es.osaka-u.ac.jp

都甲浩芳 (NTT マイクロシステムインテグレーション研究所)

TEL [046] 240-2070

E-mail: togo.hiroyoshi@lab.ntt.co.jp

主催 光応用電磁界計測時限研究専門委員会

●アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ (第 44 回) —プリントアンテナの基礎と設計—

実行委員長 鈴木康夫 (東京農工大)

アンテナ・伝播研究専門委員会では、関連する研究専門委員会と連携して、1994 年度から第二種研究会として「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」を開催して参りました。これは、アンテナ・伝播研究者や技術者を主たる対象に、設計・解析力の向上を図ることを目的とするもので、これまでにモーメント法及び FDTD 法によるアンテナ解析、アレーアンテナの適応信号処理及び高分解能到来波推定法、移动通信における多重波伝搬理論、人体ファントムとアンテナ評価技術、無線タグ用アンテナ設計、メタマテリアルの基礎などをテーマに、これまで 43 回のワークショップを企画し好評を頂いております。

今回の第 44 回ワークショップでは、「プリントアンテナの基礎と設計」をテーマとします。本講義では、プリントアンテナの基本構成、平面型伝送線路、給電方式を総括し、実際の設計手順を追いながら、パッチアンテナ及びプリントダイポールアンテナの基本設計、そのアレー化技術について習得することを目的とします。

講師 山本 学 (北大)

講義内容 以下の内容に沿って講習を進める予定です。

- (1) アンテナ特性量の基礎
- (2) プリントアンテナの基礎
- (3) プリントアンテナの基本設計
- (4) アレー化技術の基礎

上記の講習内容は、若干変更することもございますので御了承下さい。なお、テキストは受講者に約 3 週間前に配布され、予習して頂くことを前提としています。

日時 平成 24 年 10 月 11 日 (木) 9:30~17:00

会場 東京工業大学大岡山キャンパス西 9 号館デジタル多目的ホール (目黒区大岡山 2-12-1。東急大井町線: 大岡山駅下車徒歩 2 分。http://www.titech.ac.jp/about/campus/index.html)

受講定員 100 名

受講料 テキスト代金を含む

一般/会員 15,000 円, 非会員 25,000 円

学生/会員 5,000 円, 非会員 10,000 円

申し込み受け付け後、事務局から受講受付番号と受講料振り込み案内をお送りしますので、それに従って受講料をお支払い下さい。なお、会員価格での受講を希望される方は、受講申込書に会員番号の記載が必要になりますので、御注意下さい。また、学会への入会手続き中の方は、学会へ提出した入会申込書のコピー等、入会を確認できる資料の提出をお願いします。会員/非会員の受講料の差額は、一般の方については電子情報通信学会年会費のほぼ 3/4 に相当し、学生の方については年会費を上まわっております。非会員の方には、この機会に、電子情報通信学会への入会をお勧め致します。入会に関する情報は下記の URL を御参照下さい。

電子情報通信学会入会案内：

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

受講申込期間 7月2日(月)～9月14日(金)

(先着順：満員になり次第締め切ります。期日前の申し込みは無効です。)

受講申込方法 下記 URL からお申し込み下さい。なお受講申込後1週間以内に事務局からの回答がない場合には事務局へ申込受付確認の連絡をお願い致します。

<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.php?ws/ws44>

【受講申込問合先】

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ第44回実行委員会事務局 長尾圭子(東工大大学院電気電子工学専攻安藤研究室気付)

E-mail: workshop@antenna.ee.titech.ac.jp

【上記以外問合先】

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ第44回実行委員会総務担当幹事

石井 望(新潟大)

TEL & FAX [025] 262-7472

E-mail: nishii@eng.niigata-u.ac.jp

主催 アンテナ・伝播研究専門委員会

協賛 IEEE AP-S Japan Chapter

第三種 技術者教育と優良実践研究会

委員長 横田光広(宮崎大)

幹事 中野敬介(新潟大)・稲垣 宏(豊田高専)

日時 平成24年8月3日(金) 13:00～16:30

会場 機械振興会館 6階61号室

(<http://www.ieice.org/jpn/about/syozai.html>)

このたびの研究会では「技術者教育における優良実践例の紹介」に関する数件の通常講演を予定しております。正式プログラムは研究会 Web ページ (<http://www.ieice.org/ess/eegp/>) で公開します。また、研究会終了後、午後5時から懇親会(会費制)を予定しています。研究会参加希望者は、懇親会に参加希望かどうかを含めて、幹事の稲垣(inagaki@toyota-ct.ac.jp)まで御連絡下さい。

本会発行図書案内

言葉に代わる新しいコミュニケーション手段

ブレインコミュニケーション
——脳と社会の通信手段——

相良和彦・田中靖人・竹市博臣・山下宙人・
長谷川良平・岡部達哉・前田太郎 共著
A5判上製 定価 4,200円(税込)

情報通信技術の進展により、あらゆる情報を即時に入手することが可能となり、人間にとってストレスの少ないコミュニケーション手段を実現することが重要となっている。一方、脳機能計測技術の進展に伴い、生体信号を利用して機械を操作したり、感覚データを伝達して人間の行動を制御したりすることも可能となっている。本書では、このような時代背景を踏まえ、ブレインコミュニケーションに関する技術全般を体系的に解説している。具体的には、基礎編で、脳波やMRIなどの計測技術、実験計画法、統計解析手法について述べ、応用編で、意思伝達技術、ロボット操作技術、感覚情報利用技術などについて詳しく記述している。これから脳計測技術と情報通信技術をつなげた新しい分野の研究を目指す大学生や大学院生、また現役の研究者にとって格好の図書である。

《内容目次》神経活動の計測技術／心理実験技術／統計解析技術／意思決定の脳内機構と認知型BMIへの応用／運動出力型ブレイン・マシンインタフェース技術／身体情報応用技術

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費500円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**

● 2012年ソサイエティ大会開催案内 ●

本ソサイエティ大会は、基礎・境界、通信、エレクトロニクスの3ソサイエティが合同で開催する大会です。奮って参加されま
すようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2012年9月11日(火)~14日(金)
会 場 富山大学(富山市)
(会場内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)
交 通 富山地铁市内線「大学前駅」から構内まで、徒歩5分。
または「富山大学前」バス停から構内まで、徒歩1分。

2012年ソサイエティ大会ホームページ
http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html

主なイベント内容：上記ホームページにて(7月上旬)公開予定
です。

◎聴講参加・冊子講演論文集予約申込みについては、上記から
Web登録をお願い致します。(7月5日公開)

※ソサイエティ大会に引続き団体・機関の図書館等の法人向けに
継続購入の申込募集を行います。法人には法人用DVDを大会
終了後、2週間後に御送付致します。

<予約申込期限>
8月13日(月)締切厳守(電話による予約は不可)

事前予約されますと、予約物を8月28日~8月30日までに請
求書を同封して発送致します。

また、9月3日(月)までに予約物が届いていない場合には必
ず御連絡下さい。大会終了後では対応できない場合があります
(発送・請求関係連絡先：tk-tyoko@ieice.org)。

<予約のお勧め(DVD)>
大会講演発表の申込み・投稿の電子化、講演論文集・プログラ
ムのDVD化により、講演内容等の必要情報の入手が一段と便利
になります。聴講者におかれましても、是非このDVDの機能を
有効に活用するため、事前予約をお勧め致します。

御予約頂きますと、8月28日~8月30日までに索引機能を充
実したDVD(全講演・プログラム)を発送致しますので、聴講
の下調べ等にお役立て下さい。

なお、大会会場でも当日参加を受け付けておりますが、当日
DVDを活用する設備がございませんので、その旨御了承下さい。

◎ 聴講参加・冊子講演論文集予約について(予定)

<聴講参加>(本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)

☆本大会から、学生の聴講参加費を値下げ致しました。学生の皆
様、奮って御参加下さい。

☆2010年総合大会から、事前聴講申込者に対する参加費の割引
制度を実施致しております。事前申込みの割引制度を御利用頂
くと当日申込みより2割引の参加費で大会聴講が可能となりま
す。御利用の上、奮って御参加下さい。

[事前申込み(DVD含む)]

会 員	名誉員・正 員	8,000 円
	学生員(DVD購入)**	2,400 円
	60歳以上の会員***	2,400 円
非会員	社会人	16,000 円
	学生(DVDなし)	2,400 円
	学生(DVD購入)	4,800 円

[当日申込み(DVD含む)]

会 員	名誉員・正 員	10,000 円
	学生員(DVDなし)*	無料
	学生員(DVD購入)**	3,000 円
	60歳以上の会員***	3,000 円
非会員	社会人	20,000 円
	学生(DVDなし)	3,000 円
	学生(DVD購入)	6,000 円

※凡 例

* DVDを必要とされない「学生員」は無料で聴講できますの
で事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂
ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きます
ので御持参下さい。)

** 会場で会員証を提示して下さい。

***年金以外の収入がない方が対象となります。

[法人価格申込み]

1. DVD1枚(合本付)	75,000 円
2. DVD1枚	60,000 円

☆この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。

☆電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の
会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いと
なります。

<冊子講演論文集>

論文集の内容は多少変わることもございますので、御了承下
さい。冊子講演論文集は、予約部数に基づいて論文集を作成して
おりますので、予約期限を過ぎますとお求めになれない場合があ
りますので、くれぐれも御注意下さい。

(発行日：平成24年8月28日/価格は消費税込み)

各分冊講演論文集の内容・価格については、上記ホームページを
御覧下さい(7月5日公開)。

<支払方法>

予約物に同封して請求・納品・見積・振込用紙をお送り致しま
すので御利用頂き、送金をお願い致します(振込先口座等は請求
書に記載)。

申込みの問合せ先
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
電子情報通信学会 大会担当
TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659
E-mail : taikai@ieice.org
発送・請求の問合せ先 E-mail : tk-tyoko@ieice.org

今回のソサイエティ大会では男女共同参画委員会の活動の一環
として予約・有料制の託児所を開設します。詳細は下記URLに
案内を掲示しますので御利用下さい。

(http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html) (8月上旬を予定)

FIT(情報科学フォーラム)2012の開催案内は下記を御覧下さい。
<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/index.html>

●…………… 支 部 大 会 ……………●

——平成 24 年度信越支部大会——

期 日 平成 24 年 10 月 13 日 (土)
会 場 新潟大学 (新潟市西区五十嵐 2 の町 8050)
●一般講演申込について
講演内容 最近行った研究, 調査, 計画及び工事報告, 現場調査, 試験報告, 技術報告など
講演方法 口頭発表, ポスター発表
応募資格 講演者または連名者には少なくとも 1 名の本会会員, 電気学会会員もしくは IEEE 会員が含まれること。ただし入会申請中の者も認める。
講演申込 信越支部大会 HP で申込みを行う。
<http://www.ieice.org/shinetsu/>
申込期限, 原稿作成・提出方法, 原稿提出期限等は, HP にて確認すること。
●問合せ先 支部実行委員会 shibutakai24@shinetsu.ieice.org
主 催 電子情報通信学会信越支部

——平成 24 年電気関係学会関西連合大会——

期 日 平成 24 年 12 月 8 日 (土), 9 日 (日)
会 場 関西大学千里山キャンパス 100 周年記念会館 (吹田市山手町 3-3-35)
講演形式 特別講演, パネルディスカッション, ポスター講演。ただし, 一般からの募集はポスター講演のみとします。また各ポスター講演論文について, 2 分間の概要口頭発表を行います。口頭発表用のパワーポイント, PDF ファイルを御用意下さい。口頭発表会場の PC・プロジェクターを用いて説明を行って頂きます。
一般講演の募集要領
一般講演のセッション
G1. 電気理論・電気物理・レーザ応用 (電気学会)
G2. 計測・センサ・マイクロマシン (電気学会)
G3. 制御・システム (電気学会)
G4. 電気機器・産業応用/パワーエレクトロニクス (電気学会)
G5. 電力・エネルギー (電気学会)
G6. 電気電子材料・デバイス (電気学会・電子情報通信学会共催)
G7. 電磁波・アンテナ・伝搬・無線通信システム・無線通信ネットワーク (電子情報通信学会)
G8. 光エレクトロニクス・光通信システム・光通信ネットワーク (電子情報通信学会)
G9. 電子回路・集積回路・ハードウェア設計 (電子情報通信学会)
G10. 情報基礎・通信基礎・アルゴリズム (電子情報通信学会)
G11. 情報処理システム (電子情報通信学会)
G12. 照明 (照明学会)
G13. 画像処理技術 (映像情報メディア学会)
G14. 映像メディア関連技術 (映像情報メディア学会)
G15. 電気設備 (電気設備学会)

支部大会

講演時間 2 分間の概要口頭発表と 90 分間のポスターセッション。

講演者の資格 講演者は, 主催学会会員 (准員・学生員を含む) に限ります。(ただし, 留学生については非会員でもよいこととします。) 共著者として会員以外の方を含んでも構いません。

講演内容 最近の研究成果で, 学術的に価値のある未発表のものに限ります。

応募上の制限 講演は, 一人 1 件に限ります。同一人が数件の応募論文の共著者となることは構いませんが, 内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することは認められません。

申込みの取扱い

- (1) プログラム委員会で内容が不適当と認めた場合は, 採択しません。指定した書式 (投稿の手引き参照) と著しく異なる論文も, 採択しないことがあります。
- (2) プログラム構成上の都合によっては, 講演形式及びセッションを変更することがあります。

著作権の取扱い 上記 G1~G12 と G15 のセッションについては, 担当学会に著作権を譲渡する必要があります。詳細は, 大会 Web サイトを御覧下さい。

講演申込費等

- ・講演申込費 (大会参加費を含む)
正会員 6,000 円, 准員・学生員・留学生 4,000 円
 - ・大会参加費 (事前登録)
正会員 4,000 円, 准員・学生員・留学生・非会員の学生・院生 3,000 円, 非会員 (学生等除く) 6,000 円
 - ・大会参加費 (当日受付)
正会員 6,000 円, 准員・学生員・留学生・非会員の学生・院生 4,000 円, 非会員 (学生等除く) 8,000 円
- 大会参加費にはプログラム・講演論文集 (CD) の代金が含まれます。論文不採択の場合, 講演申込金は返金します。発表取消しの場合は, 返金致しません。プログラム・講演論文集 (CD) のみの購入や追加購入の詳細は, 大会 Web サイトを御覧下さい。

投稿の手続き, 送金方法及び原稿の提出

- (1) 「投稿の手引」等の配布及び「講演申込」の手続き, 「論文原稿」の投稿は下記の大会 Web サイト経由でお願いいたします。論文原稿は Web サイトから PDF ファイルにて電子投稿 (アップロード) して下さい。詳細については大会 Web サイトを御覧下さい。
大会 Web サイト <http://kjcicee.org/kjcicee2012/>
- (2) 講演申込みは大会 Web サイトの「講演申込み」から行って下さい。講演申込は, 9 月 3 日 (月) を締切とします。
- (3) 論文原稿 (PDF) は, A4 サイズ 2 ページ以内とし, 日本語または英語で作成して下さい。
- (4) 論文原稿の投稿 (PDF のアップロード) は, 9 月 3 日 (月) までとします。アップロード受付期間内であれば何度でも修正・差替え (アップロード) が可能です。なお, 業務処理を円滑に行うため, 講演申込内容のうち, タイトル, 講演者氏名, 所属を変更する場合は, Web サイト上で, 講演申込内容を, 講演論文の内容と一致するように修正して下さい。
- (5) 講演申込費は, 郵便局備付けの振込用紙 (青色) を使用して 9 月 6 日 (木) までに所定の口座までお振込み下さい。期日までに振り込まれない場合, 講演取り消しとなる場合があります。

告 47

ります。口座番号等、詳細については大会 Web サイトを御覧下さい。

問合せ 平成 24 年電気関係学会関西連合大会係
info2012@kjciece.org

表彰 会員の育成と当該学会の発展を目的として、優秀な講演発表に対し下記の賞を贈呈します。

- (1) 連合大会奨励賞
- (2) 電気学会優秀論文発表賞
- (3) 電子情報通信学会関西支部優秀論文発表賞
- (4) 映像情報メディア学会関西支部優秀論文発表賞
- (5) 照明学会関西支部優秀論文発表賞

なお、(1)については全ポスター講演を対象とし、(2)～(5)については各関係学会のポスター講演を対象とします。また(1)、(2)、(5)については、講演発表時に 35 歳未満の方を対象とします。各賞の詳細については大会 Web サイトを御覧下さい。

参考

- (1) 採択された講演論文は、CD-ROM に収録してプログラム・講演論文集 (CD) として発行します。
- (2) 論文採択通知及び発表日時は、大会 HP 上に公開し、ハガキ・メール等による講演者への個別通知は行いません。
- (3) プログラム・講演論文集 (CD)、大会参加章及び領収書等は、当日会場にてお渡しします。事前の郵送は行いません。
- (4) 講演申込者は、申込み時に発行される登録番号、パスワードを用いて会期の約 10 日前から大会 Web サイトを通じて、事前に論文を閲覧することができます。
- (5) 聴講のみの大会参加も大会 Web サイトから申込みできます。申込受付期間は、11 月 14 日 (水) までとします。事前登録には割引価格が適用されます。申込受付期間に大会参加費の払い込みも済まされますと、論文の事前閲覧が可能になります。口座番号等、詳細については大会 Web サイトを御覧下さい。なお、従来どおりの当日受付も行います。

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会・電気設備学会各関西支部

協賛 IEEE 関西支部

——平成 24 年度電気関係学会

四国支部連合大会——

実施日 平成 24 年 9 月 29 日 (土)

会場 四国電力(株)総合研修所 (高松市屋島西町 1850-1)

講演資格 講演者は、講演申込時に下記主催学会の会員 (学生会員を含む) であること。ただし、企業からの発表についてはこの限りではない。留学生については、国内外の電気関連学会の会員であれば講演資格を有する。また、申込み時に入会手続き中である場合は、発表時には入会手続きを完了していること。

講演部門 「基礎」、「放電物理」、「電力」、「電気機器」、「パワーエレクトロニクス」、「照明・電熱」、「計測」、「制御」、「電子回路」、「計算機」、「材料」、「通信」、「映像メディア・画像処理」、「医用生体工学」、「情報処理基礎」、「情報処理応用」、「情報システム」、「その他」(ただし、発表部門は実行委員会において変更する場合があります。)

講演内容 最近行った主催学会に関連ある研究、調査、設計、開

発、工事報告、現地試験報告などで、学術的価値があるものとする。既に発表済みのもの、あるいは発表予定の内容と著しく類似するものは受理しない。

講演件数 講演は一人 1 件に限る。ただし、同一人が数件の投稿論文の共著者になることは差し支えない。

講演形態 口頭発表 (質疑応答を含め 10 分間)。事務局が液晶プロジェクタを準備するので、発表者はパソコン等を用意すること。

講演論文 実行委員会指定の「論文原稿見本」に従うこと。図面、写真等を含めて A4 判用紙 1 ページの原稿を、ワープロ等を用いて作成すること。指定の様式から外れた原稿は受理しない (特に、A4 判用紙であること、上端 30 mm、下端 25 mm、左右各々 18 mm の余白を残すこと、講演題目の左に講演番号を挿入するための余白を 50 mm 以上確保することに注意)。

講演申込 講演申込方法は、下記の連合大会 HP にて案内する。講演申込費の振込期限は下記投稿期限と同日とし、その振込確認をもって講演申込完了とする。

投稿期限 投稿は、平成 24 年 7 月 27 日 (金) 17 時まで以下記 HP から投稿すること。投稿期限後の変更・訂正は一切応じない。

講演言語 論文及び発表言語は、日本語または英語とする。

諸費用等 講演申込費 (大会参加費及び論文集 (CD-ROM) 代を含む) は、郵便局備え付けの振替用紙により送金すること。振替手数料は申込者負担とする。振替用紙の通信欄には、講演申込受付メールに記載の受付番号を記入すること。複数名同時に送金する場合は、全員の氏名及び受付番号を記入すること。

・講演申込費 (大会参加費・CD-ROM 代を含む)

正会員 3,000 円、非会員 3,500 円

学生会員 (留学生を含む) 1,000 円

・送金先 加入者 平成 24 年度電気関係学会四国支部連合大会 口座番号 01600-4-76841

問合せ TEL [050] 8801-3706 (政岡)

[050] 8801-3721 (馬場)

FAX [087] 825-3025

sjciece2012@yonden.co.jp

〒760-8573 高松市丸の内 2-5

四国電力(株)電力輸送本部系統運用部内

平成 24 年度電気関係学会四国支部連合大会実行委員会事務局担当

ホームページ <http://sjciece.ymw.ne.jp/>

一般講演、特別講演、懇親会等の詳細及び連合大会事務局からの連絡は、随時 HP を通じて行う。

その他 優秀論文発表に対して次の表彰がある。

・電気関係学会四国支部連合大会 優秀発表賞及び英語発表奨励賞

・電気学会論文発表賞 B (35 歳以下の電気学会会員対象)

主催 電子情報通信学会、電気学会、情報処理学会、照明学会、映像情報メディア学会、計測自動制御学会、IEEE、電気設備学会各四国支部

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

関西支部

●IEICE 関西支部 ICT 基礎講座「画像処理講座」・「統計的学習理論講座」

近年の情報通信関連開発では、必要とされる基礎技術の多様化と開発期間の短縮により、若手技術者がOJTを通して基礎知識や基礎技術を習得することが難しくなっていると指摘されています。また、情報通信技術が予想を越えた分野で実用化されるなど、大学・大学院教育で身に付けた技術分野を超えて多彩な技術を取得する必要性も高まっています。

このような状況を鑑み、電子情報通信学会関西支部では、情報通信に関する様々な技術を集中講義形式で学習できる講座「IEICE 関西支部 ICT (Information and Communication Technology) 基礎講座」を開講しています。幸いなことに、受講生からは大変高い評価を頂いております。

本講座では、基礎知識、基礎技術に重点を置きながら、基礎から展開して最先端技術へ至る流れを講義/実習するため、各講座の受講者数を最大15名の少人数クラスとして講師との双方向コミュニケーションを実現し、短期間で先端技術の基礎を習得して頂きます。本講座の「画像処理講座」と「統計的学習理論講座」を下記のとおり開講致します。

皆様の積極的な受講をお待ちしております。

日時 「画像処理講座」：平成24年8月2日、3日の2日間

(両日共9:40~16:50の予定)

「統計的学習理論講座」：平成24年8月30日、31日の2日間

(両日共9:40~16:50の予定)

会場 中央電気倶楽部 215号室 (大阪市北区堂島浜 2-1-25, ドージマ地下センター南詰を右側に上がり、右へ約50m, 左側のレンガ造り建物)

内容 シラバスは下記 URL から御覧頂けます。

<http://www.ieice.org/kansai/ict.html>

講師 「画像処理講座」：浦西友樹, 中島悠太 (奈良先端大)

「統計的学習理論講座」：池田和司 (奈良先端大)

受講料 「画像処理講座」:

会員: 10,000円, 学生: 3,000円, 非会員: 25,000円

「統計的学習理論講座」:

会員: 10,000円, 学生: 3,000円, 非会員: 25,000円

募集人数 各講座とも5名以上, 最大15名程度 (開講2週間前までに申込み人数が5名に達しない場合, 不開講となることもあります。)

申込方法 関西電気関連学会事務センターに電子メールで申込み下さい。

問合せ 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25

中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534

denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会関西支部

●電子情報通信学会関西支部中高生向け講演会「コンピュータの内部について学ぼう!!」

パーソナルコンピュータ (パソコン) は、現在、一般家庭にも広く普及し、我々の日常生活になくてはならないものになりました。一方で、余りに一般的になったため、ソフトウェアを勉強する人でも、基本的な仕組みや、実際の内部構成についてはよく知

らないということも起きております。大阪府立大学工業高等専門学校・総合工学システム学科では、パソコンの組み立てを通し、コンピュータの基礎知識を深める講座を開講致します。

日時 平成24年8月7日 (火) 10:00~16:00

会場 大阪府立大学工業高等専門学校 専門棟1・情報技術実習室 (1階)

募集対象者 中学生・高校生

募集人員 8グループ (1グループは1~3名)

参加費 無料

プログラム

9:30~10:00 受付

10:00~10:05 開会挨拶 梅本敏孝 (阪府大高専)

10:05~11:00 コンピュータについての説明&パソコン組み立てのガイダンス

早川 潔・重井宣行・青木一弘 (阪府大高専)

11:00~12:00 パソコン組み立て前半

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~15:45 パソコン組み立て後半 (完成), OS のインストール

15:45~16:00 修了証書授与・閉会挨拶

電子情報通信学会関西支部

申込方法 電子メールで下記項目を御記入の上、申し込んで下さい。 e-kouza@osaka-pct.ac.jp

※①受講代表者の住所、氏名 (ふりがな)、性別、年齢、学校名・学年、電話番号、参加人数、②受講者 (受講代表者以外の全員) の氏名 (ふりがな)、性別、年齢をお書き下さい。(年齢については、保険申請のため開催日時点のものをお願いします。) 件名は「コンピュータの内部」として下さい。

申込期限 平成24年7月20日 (金) 必着

受講希望グループが定員を超えた場合は、先着順で選ばせて頂きます。

問合せ先 (担当者) 大阪府立大学工業高等専門学校・総合工学システム学科・電子情報コース 福嶋茂信

fukusima@osaka-pct.ac.jp, TEL [072] 820-8514

主催 電子情報通信学会関西支部, 大阪府立大学工業高等専門学校

●電子情報通信学会関西支部中高生向け講演会「e-Gadget-TT を用いたロボット制御」

ロボット制御には、ハードウェア、ソフトウェアに関するマイコン技術やセンサ技術などの幅広い知識と、それらを用いてものを組み上げる技術が必要です。このため、ロボットの制御プログラムを学ぶためには、かなりの基礎知識を習得する必要があります。e-Gadget-TT ((株)ダイセン電子工業社製) は、自律型のロボット製作キットで、比較的初心者でも実際に動かしながら制御プログラムを学ぶことができます。大阪府立大学工業高等専門学校・総合工学システム学科では、この e-Gadget-TT を教材として、ロボット制御を体験する講座を開講致します。

日時 平成24年8月9日 (木) 10:00~16:00

会場 大阪府立大学工業高等専門学校 図書館ゼミナール室 (2階)

募集対象者 中学生・高校生

募集人員 15名

参加費 無料

プログラム

9:30~10:00 受付
10:00~10:05 開会挨拶 梅本敏孝(阪府大高専)
10:05~11:00 e-Gadget-TTのガイダンス
金田忠裕(阪府大高専)
11:00~12:00 e-Gadget-TTを動かしてみよう(前半)
12:00~13:00 昼食休憩
13:00~15:45 e-Gadget-TTを動かしてみよう(後半)
15:45~16:00 修了証書授与・閉会挨拶

電子情報通信学会関西支部

申込方法 電子メールで下記項目を御記入の上、申し込んで下さい。 e-kouza@osaka-pct.ac.jp

※受講希望者の氏名(ふりがな)、性別、学校名・学年、住所、電話番号、開催日時点の年齢をお書き下さい(保険手続きが必要となります)。件名は「e-Gadget」として下さい。

申込期限 平成24年7月20日(金)必着

受講希望者が定員を超えた場合は、先着順で選ばせて頂きます。

問合先(担当者) 大阪府立大学工業高等専門学校・総合工学システム学科・電子情報コース 福嶋茂信

fukusima@osaka-pct.ac.jp, TEL [072] 820-8514

主催 電子情報通信学会関西支部, 大阪府立大学工業高等専門学校

●電気四学会関西支部講演会「スマートな社会・都市デザインのための電子情報通信技術」

エネルギー効率を高め、環境配慮を徹底したスマートな社会・都市である「スマートシティ」実現に向けた取組みが進められています。その中では、エネルギー、水、交通、生活など、あらゆる面で多くの最新電子情報通信技術が開発・利用されています。

本講演会では、昨今のエネルギー事情と蓄電システムや電気自動車(EV)充電インフラ、健康を支えるネットワークヘルスケアやホームメディカルケア、来春街開きする「うめきた」を中心とした都市デザイン/サービスのそれぞれの観点から、最新の動向とそこで使われている電子情報通信技術を御講演頂きます。奮って御参加下さい。

日時 平成24年8月29日(水) 14:00~17:00

会場 中央電気倶楽部513号室(交通等前掲参照)

講師・題目

- (1) 開講の挨拶 電子情報通信学会関西支部
- (2) スマートエネルギー領域を支える情報通信インフラと市場動向 石井健一(NEC)
- (3) 近未来の健康を支えるネットワークヘルスケア/ホームメディカルケアの最新動向 中嶋 宏(オムロン)
- (4) 「うめきた」でのユビキタスサービスの展開 西尾信彦(立命館大)
- (5) 閉講の挨拶 電子情報通信学会関西支部

聴講料 無料(会員以外の方でも参加できます)

定員 80名(定員になり次第、締め切らせて頂きます)

申込方法 電子情報通信学会関西支部のHP(<http://www.ieice.org/kansai/>)からお申込み下さい。なお、ハガキ、FAX、E-mailでも受け付けますので、講習会題目、開催日、会員種別、氏名、連絡先(会社、学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号)を下記の申込先まで御連絡下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25

中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534

denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

——— 本会・ソサイエティ

研究専門委員会等主催・共催———

●2012年度画像符号化シンポジウム(PCSJ2012)

2012年度映像メディア処理シンポジウム(IMPS2012)

画像符号化シンポジウム(PCSJ)と映像メディア処理シンポジウム(IMPS)は、昨年度に引き続き湯河原にて、以下のように開催することとなりました。また、シンポジウムでの発表を中心に、電子情報通信学会和文論文誌Dにおいてレター特集号を計画しておりますので、是非御投稿、御参加頂きたく御案内申し上げます。

期日 平成24年10月24日(水)午後~26日(金)

会場 ニューウェルシティ湯河原(熱海市泉107 TEL[0465]63-3721 <http://www.welcity-yugawara.co.jp/>)

交通 東海道線:湯河原駅から車で5分若しくは路線バスで10分

講演内容

(1) 画像符号化シンポジウム

~画像符号化に関する口頭発表・ポスター発表等。

符号化基礎/画質評価、静止画像符号化、動画画像符号化、標準方式関連技術、動き補償、可変長/エントロピー符号化、領域分割/特徴抽出、オブジェクトベース/モデルベース符号化、ステレオ/多眼/三次元画像符号化、インターネットビデオ、ワイヤレスビデオ、符号化ハードウェア/ソフトウェア、新しい符号化、符号量制御、その他

(2) 映像メディア処理シンポジウム

~映像メディア処理に関する口頭発表・ポスター発表等。

映像処理基礎、三次元画像技術、高精細画像技術、人工現実感、複合現実感、映像データベース、ネットワーク映像技術、映像生成/CG/制作、人物画像の処理/認識、擬人化エージェント、HCIのための画像処理/認識、映像処理VLSI、インテリジェントセンサ、画像再構成/復元、動画処理、色彩処理、ITS、電子透かし、その他

(3) 特別講演、パネル討論等

申込締切 講演を申し込まれる場合 8月6日(月)

割引料金※で聴講参加される場合 10月15日(月)

※10月16日以降の聴講申込は若干高額となります。

原稿締切 9月21日(金)(予定)(講演希望者には、申込締切後に実行委員会より投稿案内をお送りします。)

問合先 NTTサイバースペース研究所画像メディア通信プロジェクト 藤井 寛

〒239-0847 横須賀市光の丘1-1 Y-517A

pcsj-imps2012@lab.ntt.co.jp

なお、詳細な開催案内、申込方法などに関する情報を以下のWebサイトで提供する予定です。

<http://www.pcsj-imps.org/>

主催 電子情報通信学会画像工学研究専門委員会

共催 映像情報メディア学会;メディア工学研究委員会、画像電子学会、情報処理学会;オーディオビジュアル複合情報処理研究会

— 本 会 が 協 賛 等 の も の —

(※は参加費割引あり)

第18回結晶工学スクール(2012年)(※)

期 日 平成24年8月6日(月)~8日(水)
会 場 産業技術総合研究所臨海副都心センター(東京都江東区)
問合先 応用物理学会事務局分科会担当 岡本
TEL [03] 5802-0863, FAX [03] 5802-6250
divisions@jsap.or.jp

2012年度夏休み科学教室

期 日 平成24年8月9日(水)
会 場 明治大学生田キャンパス(川崎市)
問合先 明治大学理工学部 西井・南口
TEL [044] 934-7566 sst@mics.meiji.ac.jp
http://www.meiji.ac.jp/sst/

女子中高生のための情報・メディア工房

期 日 平成24年8月21日(火), 23日(木)(計2日)
会 場 津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス(東京都渋谷区)
問合先 津田塾大学 女性研究者支援センター
TEL & FAX [042] 342-5142
http://cwr.tsuda.ac.jp

はんだ強度評価法の講習会「鉛系および非鉛系はんだ接合材のクリープおよびクリープ疲労」—接合試験片の試験方法/FEM解析/寿命評価/金属間化合物観察—(※)

期 日 平成24年8月24日(金)
会 場 日本材料学会(京都市)
問合先 日本材料学会同講習会係 TEL [075] 761-5321
FAX [075] 761-5325 jimu@jsms.jp

第8回サマーセミナー「次世代ディスプレイに向けた技術開発および基礎技術」

期 日 平成24年8月27日(月), 28日(火)
会 場 東レ総合研修センター(三島市)
問合先 SID日本支部同セミナー事務局(茂原アテックス内)
担当 河野 sid-secretariat@atecs.co.jp
TEL [0475] 23-1150, FAX [0475] 25-7703
http://www.sidchapters.org/japan/

第17回知能メカトロニクスワークショップ IMEC2012(※)

期 日 平成24年8月30日(木), 31日(金)
会 場 広島工業大学五日市校舎(広島市)
問合先 広島工業大学工学部電子情報工学科 浅野敏郎
TEL [082] 921-4284 tasano@cc.it-hiroshima.ac.jp

第4回「役に立つ真空技術入門講座」(※)

期 日 平成24年8月30日(木), 31日(金)
会 場 大阪電気通信大学寝屋川駅前キャンパス(寝屋川市)
問合先 日本真空学会関西支部事務局 担当 深沢
TEL [06] 6397-2279, FAX [06] 6397-1171
hiroyuki_fukasawa@ulvac.com

第30回レーザセンシングシンポジウム

期 日 平成24年9月6日(木), 7日(金)
会 場 オリビアン小豆島(香川県)

問合先 同シンポジウム実行委員会 杉本
TEL [070] 5516-9649, FAX [087] 844-9244
lss30@lidar.nies.go.jp
http://www-lidar.nies.go.jp/lss30/

第34回第2種ME技術実力検定試験

期 日 平成24年9月9日(日)
会 場 札幌医学技術福祉歯科専門学校(札幌市), ほか
問合先 ME技術実力検定試験事務局
TEL & FAX [03] 3813-5521 jimu@megijutu.jp
http://megijutu.jp

第36回静電気学会全国大会(※)

期 日 平成24年9月13日(木), 14日(金)
会 場 八戸工業大学(八戸市)
問合先 静電気学会事務局
TEL [03] 3815-4171 iesj@iesj.org

マイコン回路デザインコンテスト2012

期 日 平成24年9月16日(日), 11月24日(土)(計2回)
会 場 神奈川工科大学(厚木市)
問合先 中津原克己(神奈川工科大学工学部電気電子工学科中神研究室) TEL & FAX [046] 291-3276
knakatsu@ele.kanagawa-it.ac.jp

2012年度ニューガラス大学院(※)

期 日 平成24年10月2日(火)~19日(金)(計4日間)
会 場 笹川記念会館(東京都港区)
問合先 ニューガラスフォーラム企画部 丸山
TEL [03] 6279-2605, FAX [03] 5389-5003
tsutomu-maruyama@ngf.or.jp
http://www.newglass.jp

第29回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム(※)

期 日 平成24年10月22日(月)~24日(水)
会 場 北九州国際会議場, 西日本総合展示場(北九州市)
問合先 同シンポジウム事務局
TEL [03] 3346-8007, FAX [03] 3346-8002
info@sensorsymposium.org

第32回エレクトロセラミックス研究討論会(※)

期 日 平成24年10月26日(金), 27日(土)
会 場 東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)
問合先 日本セラミックス協会電子材料部会
http://www.ceramic.or.jp/bdenshi/index_j.html

第32回LSIテストシンポジウム(LSITS2012)

期 日 平成24年11月7日(水)~9日(金)
会 場 千里ライフサイエンスセンター(豊中市)
問合先 LSIテスト学会事務局 三浦克介・御堂義博
(大阪大学大学院情報科学研究科)
TEL [06] 6879-7813, FAX [06] 6879-7812
LSITS@ist.osaka-u.ac.jp
http://www-LSITS.ist.osaka-u.ac.jp/

●…………… 国 際 会 議 ……………●

光メモリ国際シンポジウム 2012 (ISOM '12)

期 日 2012年9月30日(日)~10月4日(木)
会 場 日本科学未来館(東京都江東区)
問合先 ISOM事務局(アドスリー内)担当 近藤
TEL [03] 5925-2913, FAX [03] 5925-2913
secretary@isom.jp

ADMETA^{Plus} 2012

期 日 2012年10月22日(月)~25日(木)
会 場 東京大学弥生講堂(東京都文京区)
問合先 ADMETA事務局 担当 吉田
TEL [03] 6801-5685, FAX [03] 6801-5686
jimukyoku@admeta.org

第34回ドライプロセス国際シンポジウム (DPS2012) (※)

期 日 2012年11月15日(木), 16日(金)
会 場 東京大学武田先端ビル(東京都文京区)
問合先 DPS2012事務局 一木隆範(東京大学大学院工学系研究科)
TEL & FAX [03] 5841-1180
dps2012@bionano.t.u-tokyo.ac.jp
<http://www.dry-process.org/2012/>

第21回 AE 国際シンポジウム

期 日 2012年11月27日(火)~30日(金)
会 場 沖縄県市町村自治会館(那覇市)
問合先 東京大学大学院工学系研究科 榎 学
TEL [03] 5841-7129, FAX [03] 5841-7181
info@iaes21.org

シーグラフアジア 2012

期 日 2012年11月28日(水)~12月1日(日)
会 場 Singapore EXPO Convention & Exhibition Centre
問合先 東北大学電気通信研究所 北村喜文
kitamura@riec.tohoku.ac.jp
<http://www.icd.riec.tohoku.ac.jp>

第19回ディスプレイ国際ワークショップ/アジアディスプレイ 2012 (IDW/AD '12)

期 日 2012年12月4日(火)~7日(金)
会 場 国立京都国際会館(京都市)
問合先 IDW/AD '12事務局(バイリンガル・グループ内)
TEL [03] 3263-1345, FAX [03] 3263-1264
idw@idw.ne.jp

ITU Kaleidoscope Conference 2013

期 日 2013年4月22日(月)~24日(水)
会 場 京都大学百周年時計台記念館(京都市)
問合先 松本充司 早稲田大学大学院国際情報通信研究科
TEL & FAX [03] 5292-7897
mmatsumoto@waseda.jp
<http://www.itu.int/ITU-T/uni/kaleidoscope/2013/>

第13回統合ネットワークとサービスマネジメント国際会議 (IM2013)

期 日 2013年5月27日(月)~31日(金)
会 場 ベルギー ゲント(会場未定)
問合先 NTTネットワークサービスシステム研究所 笹山浩二
TEL [0422] 59-6557, FAX [0422] 59-4945
sasayama.koji@lab.ntt.co.jp

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——平成24年度(第36回)丹羽保次郎記念論文賞——

受賞者の資格: 情報工学等の関連分野を含む, 広い意味の電子通信工学関係者のうち次に該当する者。

- (1) 大学院学生(修士課程及び博士課程)
- (2) 大学院修了または満期退学後2年(応募時において)以内の者
対象となる論文: 次の条件を満足するもの。

- (1) 掲載期間 平成22年9月1日~平成24年8月31日
- (2) 著 者 応募者の単著, または共著の場合には本人の寄与が大部分のもの。
- (3) 次のような学会誌に掲載された1論文を対象とします。
電子情報通信学会, 電気学会, 映像情報メディア学会, 日本音響学会, 情報処理学会, 応用物理学会, 日本物理学会, IEEE等国内外の学会の学会誌及び論文誌等

推 薦: 推薦者は大学院研究科委員長あるいはそれに準ずる職の方。

表賞及び件数: 本賞と副賞, 2名以内。

締切日: 平成24年9月14日(金)必着

問合先: 東京電機大学 丹羽保次郎記念論文賞事務局
担当 伊藤・河野
TEL [03] 5284-5230, FAX [03] 5284-5246
kenkyu-k@jim.dendai.ac.jp
<http://www.dendai.ac.jp/kikin/niwa/>

——平成25年度科学技術分野の文部科学大臣表彰
「科学技術賞」及び「若手科学者賞」受賞候補
者の推薦について——

標記の件につきまして, 文部科学省研究振興局長あて平成24年7月17日(火)までに, 推薦方よろしくお取り計らい願います。特に女性の研究者・技術者及び科学技術賞理解増進部門への積極的な推薦をお願い致します。推薦にあたっては, 文部科学省HPの公募情報に掲載されている「平成25年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者の推薦について」を参照して下さい。

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/index.htm

問合先 文部科学省研究振興局振興企画課奨励室
水野・秋田
TEL [03] 6734-4071 sinsyore@mext.go.jp

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合せ先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●芝浦工業大学

公募人員 デザイン工学科メカトロニクスシステム・組込みソフトウェア分野 教授、准教授または助教1名
専門分野 デザイン工学を指向するソフトウェア工学
応募締切 平成24年7月25日(水) 必着
問合せ先 デザイン工学部長 篠崎道彦
sinozaki@sic.shibaura-it.ac.jp
詳細 本学ホームページ <http://www.shibaura-it.ac.jp> の「採用情報」を参照のこと

●芝浦工業大学

公募人員 工学部情報工学科 教授、准教授、または助教1名
専門分野 オペレーティングシステム(リアルタイムOS、並列分散OS、セキュアOS等)
担当科目 オペレーティングシステム、組込みシステム、システムプログラミング、等
応募締切 平成24年8月22日(水) 必着
問合せ先 工学部情報工学科 平川 豊
TEL [03] 5859-8509, hirakawa@shibaura-it.ac.jp
詳細 <http://www.shibaura-it.ac.jp/recruit/professor/index.html>

●山形大学

公募人員 大学院理工学研究科 教授または准教授2名
専門分野 情報科学全般
応募資格 博士の学位を有し、教育・研究に熱意のあること
着任時期 平成24年10月1日以降のなるべく早い時期
応募締切 平成24年7月25日(水) 必着
問合せ先 〒992-8510 米沢市城南4丁目3-16
山形大学工学部情報科学専攻長 平中幸雄
TEL [0238] 26-3322, zioi@yz.yamagata-u.ac.jp
詳細 <http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/openposi/>

●筑波大学

公募人員 システム情報系(システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻) 助教(テニュアトラック)1名
専門分野 情報通信分野。例えば、Web コンピューティング、コンピュータネットワーク、モバイルネットワーク
応募資格 博士学位、優れた研究業績、教育担当への意欲
着任時期 決定後できるだけ早い時期
応募締切 平成24年7月27日(金) 必着
問合せ先 コンピュータサイエンス専攻長 北川博之
TEL [029] 853-5522, kitagawa@cs.tsukuba.ac.jp
詳細 http://www.cs.tsukuba.ac.jp/koubo/CS_koubo_201204.pdf

●筑波大学

募集人員 テニュアトラック助教1名
分野 社会工学、情報工学、知能機能工学、構造エネルギー工学のいずれか
応募締切 平成24年7月27日(金) 当日消印有効
連絡先 〒305-8573 つくば市天王台1-1-1
筑波大学システム情報系教授 阿部 豊
tenure-track@esys.tsukuba.ac.jp
詳細 <http://ttweb.sec.tsukuba.ac.jp/koubo.html>

●有明工業高等専門学校

公募人員 電子情報工学科 准教授若しくは助教1名
専門分野 情報工学、ソフトウェア工学
担当科目 人工知能、データベース、情報系実験・演習など
応募資格 博士の学位を有する者または近い将来学位を取得見込みの者で、教育・研究及び学生指導に熱意がある者
着任時期 平成25年4月1日
応募締切 平成24年7月31日(火) 必着
問合せ先 電子情報工学科長 菅沼 明
TEL [0944] 53-8725, suga@ariake-nct.ac.jp
詳細 <http://www.ariake-nct.ac.jp/5/k20120406.pdf>

●長岡技術科学大学

公募人員 テニュア・トラック教員 准教授または講師1名
所属 産学融合トップランナー養成センター
専門分野 情報通信システム工学、知能・知識情報工学、情報融合創成工学
応募資格 博士の学位取得後10年以内の者で、上記の専門分野に該当する領域において、研究を推進している方
着任時期 平成24年10月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切 平成24年7月31日(火) 必着
問合せ先 センター長 古川 清, toprun@vos.nagaokaut.ac.jp
詳細 <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/annai/NUT-toprun/koubo.html>

●長岡技術科学大学

公募人員 助教1名(常勤 任期なし)
専門分野 広い意味での電子デバイス・フォトニクス工学分野
提出書類 <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/jouhou/kyokan.html> 参照
着任時期 平成25年4月1日
応募締切 平成24年9月28日(金) 必着「簡易書留」
問合せ先 電気系長 大石 潔, TEL [0258] 47-9525
ohishi@vos.nagaokaut.ac.jp

●群馬工業高等専門学校

公募人員 電子メディア工学科 助教または講師1名
専門分野 通信工学関連分野
応募資格 博士の学位を有し、教育・研究・学生指導及び各種校務に熱意を持って当たれる方
着任時期 平成24年9月10日以降のなるべく早い時期
応募締切 平成24年8月3日(金) 必着
問合せ先 電子メディア工学科長 渡辺直寛
TEL [027] 254-9165, watanabe@elc.gunma-ct.ac.jp
詳細 <http://www.gunma-ct.ac.jp/>

●高知工業高等専門学校

公募人員 電気情報工学科 教授または准教授1名
 専門分野 電気工学, 電子工学, または情報工学のいずれか
 担当科目 電気電子情報工学系科目, 学生実験等
 応募資格 博士の学位を有する方
 学生の教育・指導に熱心で, 研究と両立可能な方
 着任時期 平成24年10月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成24年8月20日(月) 必着
 問合先 電気情報工学科長 今井一雅
 imai@ee.kochi-ct.ac.jp
 詳細 <http://www.jm.kochi-ct.ac.jp/kobo/>

●米子工業高等専門学校

公募人員 助教1名
 専門分野 情報・ネットワーク(デジタル信号処理(専攻科)
 工学実験実習, 特別実験(専攻科)等を担当)
 応募資格 博士の学位 着任時30歳以下の方
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年8月20日(月) 必着
 問合先 電子制御工学科長 山本英樹
 TEL [0859] 24-5139, h.yama@yonago-k.ac.jp
 詳細 米子高専ホームページ・採用情報を御覧下さい

●早稲田大学

公募人員 理工学術院 電気・情報生命工学科及び電気・情報生命専攻 教授または准教授1名
 専門分野 電子・電気材料, 電子・電気物性に関連する分野
 担当講義 電磁気学及び専門に関する科目
 応募資格 博士の学位を有すること, 国籍は問わない
 着任時期 平成25年4月以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成24年8月20日(月) 必着
 問合先 電気・情報生命工学科主任 小林正和
 TEL [03] 5286-3006, office@eb.waseda.ac.jp
 詳細 http://www.eb.waseda.ac.jp/top/news/20120321_recruit.html

●茨城大学

公募人員 助教または准教授1名
 所属 工学部情報工学領域
 専門分野 情報工学・情報科学分野, ソフトウェアやネットワークシステムを専門とする方
 応募資格 博士学位(取得見込み含む), 教育・研究への意欲
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年8月31日(金) 必着
 問合先 工学部情報工学領域 羽瀧裕真
 TEL [0294] 38-5147, habuchi@mx.ibaraki.ac.jp
 詳細 <http://www.ibaraki.ac.jp/employment/>

●神奈川大学

公募人員 情報科学科 教授, 准教授, 助教のいずれか1名
 担当科目 ソフトウェア設計関連, プログラミング関連科目など
 応募資格 博士の学位を有し, 卒業研究・大学院も担当可能
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年8月31日(金) 当日消印有効
 提出先 〒259-1293 平塚市土屋 2946
 神奈川大学理学部長 齊藤光實
 照会先 情報科学科 後藤智範, gotout01@kanagawa-u.ac.jp

詳細 http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/pdf/h12_2.pdf

●成蹊大学

公募人員 理工学部情報科学科 准教授または専任講師1名
 専門分野 コンピュータネットワーク分野または組込みソフトウェア分野
 応募資格 博士の学位を有し, C++プログラミングの授業が可能で, 大学院の授業担当・研究指導ができる方
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年8月31日(金) 必着
 問合先 情報科学科主任教授 神田芳文
 TEL [0422] 37-3791, kanda@st.seikei.ac.jp
 詳細 <http://www.seikei.ac.jp/university/>

●兵庫県立大学

公募人員 大学院工学研究科電気系工学専攻 教授1名
 専門分野 レーザ, ビーム, 放射光等を利用した材料形成・評価, 及びそのデバイス応用について基礎的立場から研究
 応募資格 着任時に博士の学位を有し, 研究を積極的に推進する意欲があり, 電気系工学の基礎科目を担当できる方
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年8月31日(金) 必着
 問合先 電気系工学専攻教授 中村龍哉
 TEL [079] 267-4867, koubo143@eng.u-hyogo.ac.jp
 詳細 <http://www.u-hyogo.ac.jp/koubo/uh/index.html>

●北見工業大学

公募人員 工学部電気電子工学科 教授または准教授1名
 専門分野 電気電子応用工学(計測工学, 制御工学, システム工学等)
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年9月21日(金) 当日消印有効
 問合先 電気電子工学科長 谷本 洋
 TEL [0157] 26-9278, htanimot@mail.kitami-it.ac.jp
 詳細 <http://www.kitami-it.ac.jp/news/koubo.html>

●法政大学

公募人員 情報科学部デジタルメディア学科 教授または准教授1名
 専門分野 情報科学・情報工学(特に, CG, 仮想現実感等)
 応募資格 博士の学位を有し, 専門分野での研究業績があり, 学部・大学院の教育と研究を担当できる方
 着任時期 平成25年4月1日
 応募締切 平成24年9月28日(金) 必着
 問合先 情報科学部長 雪田修一
 TEL [042] 387-4558, yukita@hosei.ac.jp
 詳細 <http://www.hosei.ac.jp/saiyo/index.html>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 9月号掲載分 平成24年7月25日(水) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページにも掲載しておりますので, 併せて御覧下さい。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

●…………… お 知 ら せ ……………●

——銀行・郵便局口座自動引落しの
割引特典のお知らせ——

銀行／郵便局の口座からの会費の自動引落しを選ばれますと、
次年度基本会費から、5%割引になる特典がございます。

手続きの詳細は下記の URL を御参照下さい。

—<http://www.ieice.org/jpn/service/kaihishiharai/koza.html>

なお、新規にお申込みを希望される方、また口座の変更を行う
方は 10 月 1 日までに依頼書を事務局宛てに御送付下さい。

——平成 24 年 7 月号及び 8 月号
和・英論文誌特集・小特集テーマ——
和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

7 月号 [和文] 電子情報通信分野における萌芽的研究

8 月号 [和文] Image Media Quality
(通信ソサイエティ)

7 月号 [和文] 若手研究者のためのフロンティア

7 月号 [英文] Future Internet Technologies against Present
Crises

8 月号 [英文] Networking Technologies for Cloud Services
(エレクトロニクスソサイエティ)

7 月号 [英文] ・Recent Trends of Microwave Systems and Their
Fundamental Technologies
・Recent Progress in Active Photonic Device
Technologies

8 月号 [和文] LSI と高密度実装から見た異種機能集積技術への
期待と課題招待論文特集

8 月号 [英文] Heterostructure Microelectronics with TWHM
2011

(情報・システムソサイエティ)

7 月号 [英文] Machine Vision and its Applications

8 月号 [和文] 画像の認識・理解

——「産・官・学共同研究」募集のお知らせ——

下記機関では「共同研究、受託研究」のテーマ等を、広く社会
から募集しています。

関心をお持ちの方は記載の URL にて詳細を御確認下さい。
(大学等にて募集案内の掲載を希望される場合は、事務局サービ
ス事業部 (service@ieice.org) まで原稿をお送り下さい)

・機関名：産業連携への窓 (全国版)

URL : <http://zeus.crc.uec.ac.jp/model/>

(国立大学 56 校の共同研究センターの情報を掲載)

・機関名：早稲田大学理工学総合研究センター

URL : <http://www.rise.waseda.ac.jp/>

・機関名：中央大学理工学研究所

URL : <http://www.ise.chuo-u.ac.jp/TISE/index-j.htm>

・機関名：立命館大学産官学交流事業推進室 BKC リエゾンオ
フィス

URL : <http://www.ritsumei.ac.jp/jimu/bkc-liaison/index.html>

・機関名：明治大学知的資産センター

URL : <http://www.meiji.ac.jp/jigyoka/tloindex.htm>

・機関名：東京電機大学産官学交流センター

URL : <http://www.dendai.ac.jp/crc/>

・機関名：関西大学先端科学技術推進機構

URL : <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/>

・機関名：愛知工業大学総合技術研究所

URL : <http://aitech.ac.jp/res/>

・機関名：東京大学国際・産業共同研究センター

URL : <http://www-db.ccr.u-tokyo.ac.jp>

・機関名：東京大学空間情報科学研究センター

URL : http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/research_activities/joint-research.html/

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開
を開始しております。一般公開は、会員限定β版
での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが
対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ (トップ
ページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」
または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



——離散数学とその応用小特集号

(英文論文誌 A) 論文募集——

離散数学とその応用小特集編集委員会

英文論文誌 IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences では、離散数学とその応用小特集号 (Special Section on Discrete Mathematics and Its Applications) を 2013 年 6 月号に掲載します。この小特集号の目的は、今後ますます重要性を高めつつある離散数学とその電子情報工学分野への応用に関連する最新の研究成果を集積することにより、同分野の発展に貢献することです。下記対象分野に関するオリジナルの論文を募集しますので、奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

次に挙げる分野及びそれに関連する分野：

- ・アルゴリズム, データ構造, 計算の複雑さ
- ・並列アルゴリズム, 分散アルゴリズム
- ・確率アルゴリズム, 数論アルゴリズム
- ・ペトリネット, 並行システム
- ・量子計算, 量子アルゴリズム, 量子暗号
- ・グラフ, ネットワーク, マトロイド
- ・計算幾何, 計算代数
- ・線形計画, 数値計画
- ・計算生物学, 生物情報学
- ・組合せ最適化
- ・符号理論, 暗号の基礎数論
- ・離散数学の応用
- ・アルゴリズム工学

2. 論文の執筆と取扱い

原則として、PAPER は刷り上がり 8 ページ以内、LETTER は 2 ページ以内とします。論文スタイルなどの詳細については、Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuj_ess.html) を御参照下さい。本小特集号では、論文スタイルから著しく逸脱したものやページ数を超過したものは、そのことを理由に採録しないことがあります。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載される場合があります。投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなくてはなりません。採録された場合、掲載別刷代をお支払い頂くこととなりますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿要領

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1：オンライン投稿システム https://review.ieice.org/regist_e.aspx により、2012 年 9 月 20 日 (木) までに御登録・御投稿下さい。その際、“Type of Issue (Section)/Category of Transactions” の項目で、“[Special-EA] Discrete Mathematics and Its Applications” を選択して下さい。“[Regular-EA] Fundamentals” や他の特集号を選択しないように御注意下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。

手順 2：“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と

“Confirmation Sheet of Manuscript Registration” に必要事項を御記入の上、2012 年 9 月 24 日 (月) までに、下記宛てに電子メール、FAX、郵送のいずれかの手段でお送り下さい。郵送の場合、封筒には「Special Section on DMA」と朱書願います。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 2012 年 9 月 24 日 (月) 必着

5. 原稿送付先及び問合せ先

送付先：古賀久志

〒182-8585 調布市調布ヶ丘 1-5-1

電気通信大学大学院情報システム学研究所

TEL [042] 443-5601, FAX [042] 443-5601

E-mail : koga@is.uec.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長/ゲストエディタ 古賀久志 (電通大)

幹事 宮野英次 (九工大), 浅野泰仁 (京大)

委員 石井利昌 (北大), 泉 泰介 (名工大), 河内亮周 (東工大), 河村彰星 (東大), 来嶋秀治 (九大), 小柴健史 (埼玉大), 塩浦昭義 (東北大), 渋谷哲朗 (東大), 田岡智志 (広島大), 玉置 卓 (京大), 垂井 淳 (電通大), 西新幹彦 (信州大), 藤澤克樹 (中大), 藤原洋志 (豊橋技科大), 牧野和久 (東大), 水木敬明 (東北大), 森山園子 (東北大), 山崎浩一 (群馬大), Francois Le Gall (東大)

——回路とシステム, コンピュータ技術小特集号

(英文論文誌 A) 論文募集——

回路とシステム, コンピュータ技術小特集編集委員会

回路とシステム, コンピュータ産業におけるアジアの競争力は、ますます大きくなっています。この競争力拡大の源には学術研究があり、その主要な国際会議の一つに電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティとアジアの学会が毎年共同開催している International Technical Conference on Circuits/Systems, Computers and Communications (ITC-CSCC) があります。今年も 7 月 15~18 日、札幌市において第 27 回の会議 (ITC-CSCC 2012) が開催されます。

そこで回路とシステム, コンピュータ技術に関する最新の理論や応用を世界に発信することを目的として、フルペーパー論文を募集する小特集 (平成 25 年 6 月) を企画しました。特に ITC-CSCC 2012 や本トピックに関連する電子情報通信学会主催の国際会議・研究会等にて発表したものを更に発展させた論文を歓迎しますが、それらに限定するものではありません。皆様の積極的な御投稿をお願いします。

1. 対象分野

1. 回路とシステム

- (1-1) アナログ回路
- (1-2) コンピュータ支援設計
- (1-3) 高度道路交通システムと技術
- (1-4) 線形/非線形システム
- (1-5) 医用電子工学と回路
- (1-6) RF 回路
- (1-7) 半導体素子と技術
- (1-8) 電力工学と回路
- (1-9) 現代制御

- (1-10) ニューラルネットワーク
- (1-11) VLSI 設計
- (1-12) 検証とテスト
- (1-13) グラフとネット理論
- (1-14) システム設計への形式的アプローチ

2. コンピュータ

- (2-1) 人工知能
- (2-2) バイオコンピューティング
- (2-3) コンピュータシステムと応用
- (2-4) コンピュータビジョン
- (2-5) パターン認識
- (2-6) 画像符号化と解析
- (2-7) 画像処理
- (2-8) インターネット技術と応用
- (2-9) モーション解析
- (2-10) マルチメディアサービスと技術
- (2-11) 物体抽出と技術
- (2-12) セキュリティ
- (2-13) 電子透かし

2. 論文の形式

フルペーパー論文のみ受け付けます。なお論文の標準的な長さは刷り上がり 8 ページです。

3. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の英文論文と同一とします。詳細は「投稿のしおり」
http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html を御参照下さい。
- ・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は https://review.ieice.org/regist_e.aspx で行えます。なお、登録の際、“Type of Issue (Section)/Category of Transactions” については “[Special-EA] Special Section on Circuit, System, and Computer Technologies” を選択して下さい。 “[Regular-EA]” を選択しないよう御注意願います。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を論文投稿締切日までに下記送付先（幹事）まで E-mail, FAX, 郵送のいずれかの手段でお送り下さい。郵送の場合、封筒には「回路とシステム、コンピュータ技術小特集号」と朱書して下さい。
- ・本小特集号に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも 1 名は電子情報通信学会の会員である必要があります。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。また、全ての著者が会員であることを推奨致します。入会につきましては下記 URL を参照下さい、<http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

4. 論文に不備がある（例えば、論文の長さがフルペーパーとして短すぎる、論文の分野が本小特集号の対象外など）場合、標準的な審査を行わずに返戻することがあります。

5. 査読後の再提出（条件付採録）の期間が通常の 60 日以内よりも短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。採録論文数が多くなった場合には、一部次号に掲載される可能性があります。なお、論文採録の場合は掲載別刷代が必要となります。

6. 論文投稿締切日 平成 24 年 9 月 20 日（木）必着

7. 問合せ先（ゲストエディタ）

葛 崎偉 山口大学教育学部
〒753-8513 山口市吉田 1677-1
TEL [083] 933-5401, FAX [083] 933-5403
E-mail : gqw@yamaguchi-u.ac.jp

8. 送付先（幹事）

山口真悟 山口大学大学院理工学研究科
〒755-8611 宇部市常盤台 2-16-1
TEL [0836] 85-9510, FAX [0836] 85-9501
E-mail : ieice_csct_secretary@ieice.org

9. 小特集編集委員会

ゲストエディタ 葛 崎偉（山口大）

幹事 山口真悟（山口大）

編集委員 名嘉村盛和（琉球大）、伊藤靖朗（広島大）、磯部祥尚（産総研）、太田 淳（愛知県立大）、粕谷英人（愛知県立大）、黒崎正行（九工大）、笹岡直人（鳥取大）、徐 海燕（福岡工大）、肖 業貴（県立広島大）、田岡智志（広島大）、高橋篤司（阪大）、戸川望（早大）、豊嶋伊知郎（東芝）、中静 真（阪大）、仲地孝之（NTT）、中村祐一（NEC）、舟阪淳一（広島市大）、平林 晃（山口大）、松野浩嗣（山口大）、松原行宏（広島市大）、宮本俊幸（阪大）、Dae-Sik Hong (Yonsei Univ., Korea)、HyunWook Park (KAIST, Korea)、Byung-Gook Park (Seoul National Univ., Korea)、Prayoot Akkaraekthalin (KMUTNB, Thailand)、Kosin Chamnongthai (KMUTT, Thailand)、Apinunt Thanachayanont (KMITL, Thailand)、Zuohua Ding (Zhejiang Sci-Tech Univ., China)

——震災復興や新興国の近未来に役立つ 情報ネットワーク技術特集号

（和文論文誌 B）論文募集——

震災復興や新興国の近未来に役立つ
情報ネットワーク技術特集編集委員会

ICT 先進国の日本では、様々な ICT サービスが利用されています。東日本大震災でも、電話に代わりツイッターなどのインターネットを活用した通信の活躍が報じられました。しかし、被災地域ではバックアップを用意した ICT システムでさえ多重故障により通信が途絶しました。直接の被災を免れた ICT 装置も、長時間停電などの影響で動作不能に陥りました。このため、災害対策や復興に向けた ICT 研究開発は重要課題と認識されています。また、最近海外でも多くの災害が報じられており、通信サービスも含めた BCP（事業継続プラン）への注目度が高まっています。新興国の辺境地域などでは、安定した通信サービスの提供自体が大きな課題となっています。

このような背景から、省電力技術や高信頼技術にとどまらず、新たな通信アプリケーション技術やソーシャルネットワーク技術なども含めた幅広いテーマで情報ネットワーク技術の研究結果を論文として発表して頂き、震災復興や新興国の近未来に貢献することを目的として、本特集号（2013 年 6 月号）を企画致しました。多くの皆様からの御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

信頼性技術、省電力技術、経済化技術、セキュリティ技術、多様化技術、IP ネットワーク、モバイルネットワーク、アドホックネットワーク、ソーシャルネットワーク、プライベートネットワーク（VPN）、新サービス提供技術、トラフィック制御、品質（QoS）制御、ふくそう制御、ネットワーク管理、リソース管理

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切：2012 年 10 月 1 日（月）厳守
初回判定通知予定：2012 年 11 月下旬頃
最終判定通知予定：2013 年 2 月下旬頃
発行月：2013 年 6 月号

4. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification of completion for Temporary Registration）が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿（原稿のアップロード）画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

郵送物送付先：

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

5. 特集編集委員会

編集委員長 鈴木 光（NTT コミュニケーションズ）
編集幹事 石田賢治（広島市大）、船越裕介（NTT）
編集委員 阿多信吾（阪市大）、石橋孝一（三菱電機）、井戸上彰（KDDI 研）、川原憲治（九工大）、橘 拓至（福井大）、田中亮一（日立）、中村信之（OKI）、流田理一郎（ATR）、松澤茂雄（東芝）、村瀬 勉（NEC）

6. 連絡先

船越裕介
NTT サービスインテグレーション研究所
次世代ネットワーク方式 SE プロジェクト
〒1180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11
TEL [0422] 59-7839, E-mail : in-wb2013@m.ieice.org

——次世代セルラシステムのための

ヘテロジニアスネットワーク小特集号

（英文論文誌 B）論文募集——

次世代セルラシステムのための
ヘテロジニアスネットワーク小特集編集委員会

近年、新世代無線デバイスの登場等に後押しされ、特にホットスポットや屋内環境においてデータトラヒックの爆発的増大が起

きています。このような膨大なトラヒックを低コストで収容するために、リレー局や分散アンテナ、ピコセル・フェムトセルを従来のマクロセルラシステムにオーバレイするヘテロジニアスネットワークへの注目が集まっています。ヘテロジニアスネットワークの実現には、従来のセルラシステムにない新しい無線通信技術や信号処理が必要とされています。例えば、ヘテロジニアスネットワークにより新たに生じる干渉のコーディネーションや回避、キャンセル技術が挙げられます。また、ヘテロジニアスネットワークではノード間での分散制御及び自動制御が望まれます。このような、ヘテロジニアスネットワークで新たに生じる課題を解決する最新技術を広く内外から集め、今後の研究開発を促進する目的で本特集号（平成 25 年 6 月号掲載）を企画致します。

1. 対象分野

次世代セルラシステムのためのヘテロジニアスネットワークに関する以下の分野を対象とします。

- ・ヘテロジニアスネットワークにおける上下リンクの物理/MAC 層方式・構成
- ・ヘテロジニアスネットワークにおける干渉コーディネーション、干渉回避・キャンセル技術
- ・ヘテロジニアスネットワークにおける分散無線リソース・電力割当
- ・フェムト・ピコセルにおける無線アクセス制御
- ・ヘテロジニアスネットワークにおけるリレー伝送
- ・ヘテロジニアスネットワークにおける省電力化技術
- ・ヘテロジニアスネットワークにおけるモビリティサポート、接続セル選択、ハンドオーバ
- ・ヘテロジニアスネットワークにおけるセルフオーガナイゼーションネットワーク

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、刷り上がり 8 ページを標準とします（レター論文の投稿は受け付けておりません）。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1： https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EB] Heterogeneous Networks for Future Cellular Systems を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順 2：登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 10 月 12 日（金）必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

須山 聡

東京工業大学大学院理工学研究科集積システム専攻
〒152-8550 目黒区大岡山 2-12-1 S3-49
TEL [03] 5734-3770, FAX [03] 5734-3770
E-mail : rcs_ac-hetnet@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 樋口健一 (東京理科大)
幹事 Tony Q.S. Quek (Inst. for Infocomm Research), 須山 聡 (東工大)
委員 青木亜秀 (東芝), 浅井孝浩 (NTT ドコモ), 石井直人 (NEC), 衣斐信介 (阪大), 岡本英二 (名工大), 小西 聡 (KDDI 研), 田久 修 (信州大), 星野正幸 (パナソニック), 三上 学 (ソフトバンクモバイル), 山本高至 (京大), Wenyi Zhang (Univ. of Science and Tech. of China), Hung-Yu Wei (National Taiwan Univ.), Wei Peng (Tohoku Univ.)

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——若手研究者のためのブラッシュアップ特集号 (和文論文誌 B) 論文募集——

若手研究者のためのブラッシュアップ特集編集委員会

日々発展し高度化する通信技術の世界で、日本の技術力を維持・発展させていくためには、学位取得や職場でのスキルアップを目指す若手研究者をバックアップしていくことが重要です。和文論文誌 B では昨年、若手研究者に論文執筆の契機を与え、和文論文誌がこれまで以上に若手研究者の活躍の場となるべく、若手研究者のための特集を企画したところ多くの反響を得ました。そこで、今年も和文論文誌 B 編集委員会の特別企画として、若手研究者による論文の特集号 (2013 年 7 月) を発行し、若手研究者に論文発表の場を提供することと致しました。

特集テーマは、技術分野を絞ることなく和文論文誌 B が対象とする技術全般を対象とし、論文の筆頭著者を 40 歳以下の若手研究者・学生に限定することにより、日本における研究開発活動をより活発化させられる人材の育成・拡充の一助となることを目指すものとします。

特に、優れた研究成果が得られているものの論文投稿の経験がない方、あるいは少ない方々には、是非、この機会を利用し論文発表されることを期待致します。多くの御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野 (和文誌 B が対象としている全技術分野)

【技術領域：基盤】

電子通信エネルギー、伝送方式・機器

【技術領域：光】

光ファイバ、光ファイバ伝送

【技術領域：ネットワーク】

ネットワークシステム、ネットワーク、インターネット、ネッ

論文特集号原稿募集

トワーク管理・オペレーション

【技術領域：無線】

アンテナ・伝搬、電磁環境・EMC、無線通信技術、地上無線通信、放送技術、衛星通信

【技術領域：無線システム】

計測、探査、航行・誘導・制御方式、宇宙利用システム

【技術領域：マルチメディアシステム】

マルチメディアシステム

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切：2012 年 10 月 30 日 (火) 厳守

初回判定通知予定：2012 年 12 月下旬頃

最終判定通知予定：2013 年 3 月下旬頃

発行月：2013 年 7 月号

4. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification of completion for Temporary Registration) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

郵送物送付先：

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

5. 特集編集委員会

委員長 高橋応明 (千葉大)

幹事 佐波孝彦 (千葉工大)

委員 通信ソサイエティ和文論文誌編集委員

6. 問合せ先

佐波孝彦 (千葉工大)

TEL [047] 478-0532, E-mail : saba@m.ieice.org

——集積光デバイス技術小特集号 (英文論文誌 C) 論文募集——

集積光デバイス技術小特集編集委員会

集積光デバイス技術の進展は目覚ましく、現在も急速に増加を続ける通信トラヒックを支える大きな原動力となっています。光通信の適用範囲は、超高速性と省電力伝送の要請から拡大を続け

ており、従来の長距離の光ファイバ伝送だけにとどまらず、メタル伝送が中心とされていた、通信機器のボード間・チップ間からLSIのチップ内といった極短距離の通信までをターゲットとするようになってきています。更にこれらの技術は、光記録、医療や環境センシングなど、多岐にわたる応用分野を有しています。

本小特集号では、重要性を増している、これらの光集積デバイス及びその周辺技術（光集積回路、光電子融合集積回路、小形モジュール化技術、高周波実装）に焦点を当て、集積光デバイス技術の最新成果を紹介し、この分野の研究開発を一層進展させることを目的として、「集積光デバイス技術」小特集号（平成25年7月号）を企画致しました。国際会議 OECC2012 でのインパクトの高い論文を含め、光集積デバイス・モジュール・プラットフォーム技術に関する論文を募集します。

1. 対象分野

集積光デバイスに関する論文を広く募集します。主な分野は以下のとおりですが、これに限定するものではありません。

光電子集積回路／集積技術／ハイブリッド実装／光モジュール／光インタコネクション／光スイッチ・変調器／フォトニック結晶／シリコンフォトニクス／光制御／光計測

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として刷り上がり8ページを標準とします（本特集では Brief Paper は募集しません）。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuj_i_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1：https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず、掲載希望の分冊（[Special-EC] Special Section on Recent Advances in Integrated Photonic Devices）を選択して下さい。[Regular-EC]を決して選択しないで下さい。

手順2：登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成24年10月31日（水）必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

植之原裕行

東京工業大学精密工学研究所

〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259 R2-43

TEL [045] 924-5038, FAX [045] 924-5038

E-mail : uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 清水健男（古河電工）

幹事 植之原裕行（東工大）

委員 橋本俊和（NTT）、小川憲介（フジクラ）、中川剛二（富士通研）、加藤友章（NEC）、佐川みすず（日立）、阿久津剛史（古河電工）、西川智志（三菱電機）、宮本

智之（東工大）、福田浩（NTT）、賀川昌俊（OKI）、石川光映（NTT）

7. 付記

*締切日を厳守して下さい。

*招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代（別刷50部含む）が必要となります。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——インターネット技術とその応用特集号

（和文論文誌D）論文募集——

インターネット技術とその応用特集編集委員会

インターネットは、様々なサービスや活動の基盤として、これまで力強く発展してきました。更には、昨今多発する大規模災害等において重要なライフラインの役割も果たすなど、なくてはならない社会基盤としての地位を確立しています。その一方で、例えば最近のスマートフォンに代表されるサービスの新たな多様化／高機能化や予測不能な外部挙動による破綻を回避し、豊かな社会生活や新しい産業の創出に向けた社会システム基盤としての責務を果たすため、従来の枠組に捉われない新たな安定性・発展性・経済性についての取組みも重要な課題になっています。インターネットを持続的に発展させ、これら社会的課題に応えることを目的として、インターネット技術とその応用に関連する最新のアイデアや取組み／成果を集め、広く共有して議論すべく「インターネット技術とその応用」特集（平成25年6月号）を企画致しました。皆様からの積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

以下のようなテーマを含め、これらに限らず広くインターネット技術とその応用に関連する分野の論文を積極的に御投稿頂きたく、期待しております。

- ・インターネットの計測・分析・評価と管理
- ・ネットワーク構築・運用・管理手法
- ・ネットワークアーキテクチャ・プロトコルと制御
- ・モバイル／ユビキタス／アドホックネットワーク技術
- ・オーバーレイネットワーク技術とアプリケーション
- ・ネットワークエージェント技術
- ・コラボレーション技術、グループウェア、テレプレゼンス
- ・分散・グリッド・クラウドコンピューティング技術、仮想化技術
- ・リッチクライアント、マッシュアップ技術
- ・デジタルコンテンツ流通基盤としてのインターネット関連技術
- ・マルチメディア通信技術、QoS管理技術
- ・インターネットにおけるセキュリティ対策技術と運用
- ・認証基盤技術とその応用
- ・インターネットを活用した環境保護
- ・教育、医療、福祉、災害対策、地球環境保全などの社会的活動に関わるインターネット活用手法
- ・流通／経済インフラとしてのインターネット活用手法
- ・インターネットの応用と情報倫理

- ・その他インターネット技術とその応用に関連する分野

2. 論文の執筆と取扱い

- ・論文（通常の一般論文）及びサーベイ論文を募集致します。それぞれのページ数など詳細な規定に関しては「和文論文誌投稿のしおり」http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.htmlを御参照下さい。特にサーベイ論文に関しては、積極的な御投稿をお待ちしております。
- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があること、また採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

【電子投稿】 下記 URL から登録を行って下さい。本特集号では電子投稿のみ受け付けます。投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。仮登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

https://review.ieice.org/regist_j.aspx

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification registration completion）が送信されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿（ファイルアップロード）」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-dl@ieice.org

4. 投稿締切日 平成 24 年 9 月 3 日（月）厳守

5. 問合せ先

山本 寛
長岡技術科学大学電気系
TEL [0258] 47-9510, FAX [0258] 47-9521
E-mail: ia-jd2012-sec@mail.ieice.org

6. 特集編集委員会

委員長 地引昌弘（NICT）
幹事 山本 寛（長岡技科大）、吉田健一（筑波大）
委員 秋山豊和（京都産業大）、池永全志（九工大）、石橋圭介（NTT）、宇式一雅（富士通研）、岡村耕二（九大）、片山喜章（名工大）、金岡 晃（筑波大）、敷田幹文（北陸先端大）、島岡政基（セコム）、菅沼拓夫（東北大）、高倉弘喜（名大）、中山雅哉（東大）、橋本浩二（岩手県立大）

本会発行図書案内

通信ネットワークの信頼性評価技術が分かる！

実践 通信ネットワークの信頼性評価技術 ——基礎から R を用いたプログラミングまで——

船越裕介 著

A5 判上製 定価 3,360 円(税込)

通信ネットワークの信頼性の確保は、通信事業者にとって重要課題である。これは、信頼性を適切に測る技術と表裏一体の関係にある。信頼性工学はこのような分野を扱うが、従来の方法では運用中に装置台数やユーザ数が変動するという条件に対応できるとは限らないため、通信ネットワークの信頼性評価にそのまま適用することが困難な場合がある。本書では、通信ネットワークの信頼性を、フリーの統計解析ソフトウェア R を用いて評価する方法を解説している。具体的には、まず信頼性工学の概略を説明し、次いで R を用いた実際の評価方法を、サンプルコードを交えて詳細に説明する。通信ネットワークの保守運用に携わる企業の方々だけでなく、信頼性工学を学ぶ大学生にとっても格好の書である。なお、本書は通信ネットワークのみならず、広く社会基盤の信頼性評価にも応用が可能である。

《内容目次》信頼性工学／信頼性評価の基礎技術／通信ネットワークの信頼性評価／通信ネットワークの信頼性管理

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 電子情報通信学会

論文特集号論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
ビッグデータ時代を支えるセキュリティ・プライバシー保護技術小特集	・24年7月6日(金) ・和文誌 A 25年4月号	中西 透：岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻情報通信システム学講座 TEL [086] 251-8249, FAX [086] 251-8255 E-mail : nakanisi@cne.okayama-u.ac.jp	4月号	A分冊 4～6月号
Special Section on Advances and Applications in Nonlinear Time Series Methods	・24年7月10日(火) ・NOLTA 25年4月号	Tomomichi Nakamura : Graduate School of Simulation Studies, University of Hyogo FAX [078] 303-1985 E-mail : nolta.timeseries@gmail.com	5月号	
ネットワーク制御システムの基礎理論と応用小特集	・24年8月10日(金) ・英文誌 A 25年5月号	阪口 啓：東京工業大学電気電子工学専攻 TEL [03] 5734-3910 E-mail : ncs-submission@mobile.ee.titech.ac.jp	5月号	A分冊 5～7月号 EA分冊 5～7月号
周波数発生・制御デバイスの新展開特集	・24年9月5日(水) ・和文誌 A 25年6月号	藤井 知：千葉大学産学連携・知的財産機構 TEL [043] 290-3994 E-mail : s_fujii@faculty.chiba-u.jp	6月号	A分冊 6～8月号
Special Section on Circuit, System, and Computer Technologies	・24年9月20日(木) ・英文誌 A 25年6月号	Shingo YAMAGUCHI : Graduate School of Science and Engineering, Yamaguchi University FAX [0836] 85-9501 E-mail : ieice_csct_secretary@ieice.org	7月号	A分冊 7～9月号 EA分冊 7～9月号
離散数学とその応用小特集	・24年9月24日(月) ・英文誌 A 25年6月号	古賀久志：電気通信大学大学院情報システム学研究科 TEL [042] 443-5601, FAX [042] 443-5601 E-mail : koga@is.uec.ac.jp	7月号	A分冊 7～9月号 EA分冊 7～9月号

◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
多様化する電磁環境におけるEMC対策設計・評価技術特集	・24年7月19日(木) ・和文誌 B 25年4月号	馬杉正男：立命館大学工学部電気電子工学科 TEL [077] 599-4192 E-mail : masugi@fc.ritsumei.ac.jp	4月号	B分冊 4～6月号
震災復興や新興国の近未来に役立つ情報ネットワーク技術特集	・24年10月1日(月) ・和文誌 B 25年6月号	船越裕介：NTT サービスインテグレーション研究所次世代ネットワーク方式SEプロジェクト TEL [0422] 59-7839 E-mail : in-wb2013@m.ieice.org	7月号	B分冊 7～9月号
次世代セルラシステムのためのヘテロジニアスネットワーク小特集	・24年10月12日(金) ・英文誌 B 25年6月号	須山 聡：東京工業大学大学院理工学研究科集積システム専攻 TEL [03] 5734-3770, FAX [03] 5734-3770 E-mail : rcs_ac-hetnet@mail.ieice.org	7月号	B分冊 7～9月号 EB分冊 7～9月号
若手研究者のためのブラッシュアップ特集	・24年10月30日(火) ・和文誌 B 25年7月号	佐波孝彦：千葉工業大学 TEL [047] 478-0532 E-mail : saba@m.ieice.org	7月号	B分冊 7～9月号

◎エレクトロニクスサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
集積回路設計技術に関する小特集	・24年7月23日(月) ・英文誌C 25年4月号	石黒仁揮：慶應義塾大学理工学部電子工学科 TEL [045] 566-1815, FAX [045] 566-1529 E-mail : ishikuro@elec.keio.ac.jp	4月号	C分冊 4～6月号 EC分冊 4～6月号
先端半導体デバイスの基礎と応用小特集	・24年8月25日(土) ・英文誌C 25年5月号	宮崎誠一：名古屋大学大学院工学研究科電子情報システム専攻 TEL [052] 789-3588, FAX [052] 789-3168 E-mail : miyazaki@nuee.nagoya-u.ac.jp	6月号	C分冊 6～8月号 EC分冊 6～8月号
エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展特集	・24年9月7日(金) ・和文誌C 25年6月号	平田晃正：名古屋工業大学大学院情報工学専攻 TEL [052] 735-7916, FAX [052] 735-7916 E-mail : ahirata@nitech.ac.jp	6月号	C分冊 6～8月号
アナログ回路技術とSoC向け混載技術に関する小特集	・24年10月5日(金) ・英文誌C 25年6月号	古田雅則：(株)東芝研究開発センターワイヤレスシステムラボラトリ TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806 E-mail : masanori.furuta@toshiba.co.jp	6月号	C分冊 6～8月号 EC分冊 6～8月号
集積光デバイス技術小特集	・24年10月31日(水) ・英文誌C 25年7月号	植之原裕行：東京工業大学精密工学研究所 TEL [045] 924-5038, FAX [045] 924-5038 E-mail : uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp	7月号	C分冊 7～9月号 EC分冊 7～9月号

◎情報・システムサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
データ工学と情報マネジメント特集	・24年7月2日(月) ・和英文誌D 25年5月号	【和文誌D】 鈴木伸崇：筑波大学図書館情報メディア系 E-mail : nsuzuki@slis.tsukuba.ac.jp 中島伸介：京都産業大学コンピュータ理工学部ネットワークメディア学科 E-mail : nakajima@cse.kyoto-su.ac.jp 【英文誌D】 春本 要：大阪大学大学院工学研究科 TEL [06] 6879-4221, FAX [06] 6889-4219 E-mail : harumoto@eng.osaka-u.ac.jp	3月号	D分冊 3～5月号 ED分冊 3～5月号
フォーマルアプローチ小特集	・24年7月18日(水) ・英文誌D 25年6月号	緒方和博：北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 FAX [0761] 51-1149 E-mail : fa-submit@jaist.ac.jp	5月号	D分冊 5～7月号 ED分冊 5～7月号
画像の認識・理解特集	・24年10月10日(水) ・和文誌D 25年8月号	大町真一郎：東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻 TEL [022] 795-7087, FAX [022] 795-7086 E-mail : machi@ecei.tohoku.ac.jp	6月号	D分冊 6～8月号
リコンフィギャラブルシステム小特集	・24年11月1日(木) ・英文誌D 25年8月号	佐野健太郎：東北大学大学院情報科学研究科情報基礎科学専攻 TEL [022] 795-4541, FAX [022] 795-4541 E-mail : kentah@caero.mech.tohoku.ac.jp	6月号	D分冊 6～8月号 ED分冊 6～8月号
インターネット技術とその応用特集	・24年9月3日(月) ・和文誌D 25年6月号	山本 寛：長岡技術科学大学電気系 TEL [0258] 47-9510, FAX [0258] 47-9521 E-mail : ia-jd2012-sec@mail.ieice.org	7月号	D分冊 7～9月号



通信ソサイエティマガジン B-plus 年間購読申込用紙 (21号~24号)

今後の特集号予定 21号(2012年6月):デジタルメディアと電子書籍
22号(2012年9月):ホームICTの新たな展開
23号(2012年12月):今時のアマチュア無線
24号(2013年3月):標準化で世界を歩く!
※特集号名は変更される場合があります。

申込及び支払方法

通信ソサイエティマガジンでは、年間購読を受け付けております。年間購読を御希望の方は、本用紙に必要な事項を記入の上、下記までファクシミリ若しくは電子メールの添付ファイル(PDF)にて学会事務局まで御送付下さい。請求書同封で冊子をお送り致します。お支払いは同封の請求書にてお願い致します。

通信ソサイエティマガジンの年間購読(4冊/年): 3,600円

申込者氏名	
見積書日付 年 月 日	請求書日付 年 月 日
納品書日付 年 月 日	
請求書宛名	
送付先 〒 (部課名, 研究室名まで御記入下さい)	
電話番号	電子メール
事務局への通信欄	

※購読を開始されましたら、文書による中止届出がない限り、次年度以降も自動的に継続されますので御注意下さい。

申込書送付先/連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
(社)電子情報通信学会 編集出版部 通信ソサイエティマガジン担当

FAX: 03-3433-6616

電話: 03-3433-6692 E-mail: b-plus@ieice.org